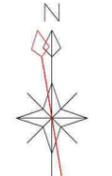


年度	令和5年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 小津町 地内 北浜東4工区 4ブロック
図面名称	防止工法平面図 1:200(A1) 縮尺 1:400(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査員 技術者
設計	設計者 技術者
図面番号	1/37

凡例
発注
計画

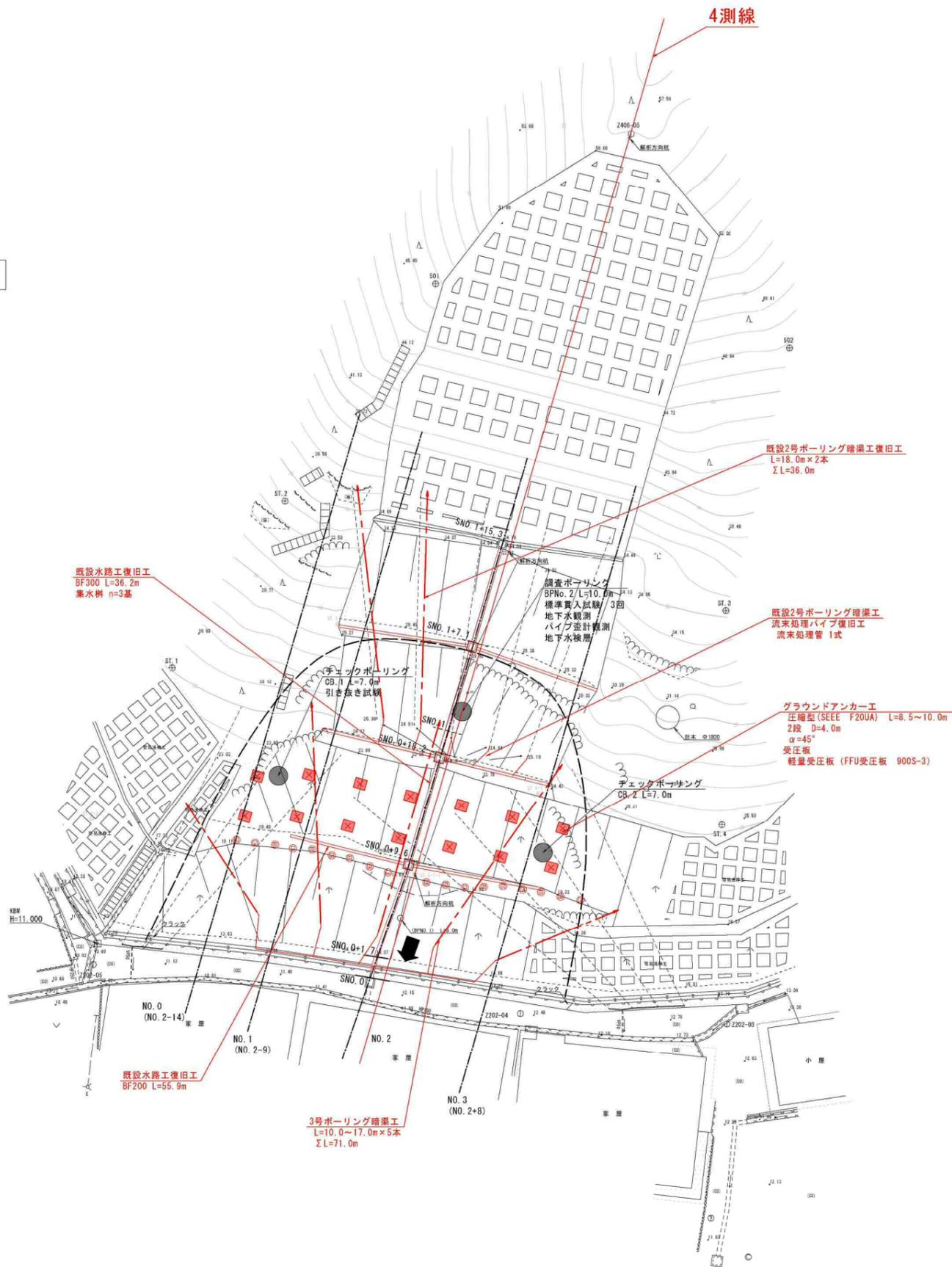
防止工法平面図 A1 S=1:200  
A3 S=1:400

Z406-06  
①



※磁北は9.35°西

山腹工 A=0.07ha



既設杭工座標

点名	X座標	Y座標	標高
KK1	-60089.056	53886.598	18.94
KK2	-60089.318	53888.036	19.03
KK3	-60089.428	53889.579	18.94
KK4	-60089.723	53890.959	18.86
KK5	-60089.798	53892.442	18.80
KK6	-60090.258	53893.948	18.74
KK7	-60090.461	53895.329	18.77
KK8	-60091.110	53896.876	18.71
KK9	-60091.571	53898.286	18.85
KK10	-60092.326	53901.237	18.77
KK11	-60092.512	53902.726	18.73
KK12	-60092.733	53904.208	18.80
KK13	-60092.675	53905.661	18.91
KK14	-60092.617	53907.142	18.95
KK15	-60092.885	53908.688	19.04
KK16	-60093.076	53910.072	18.95
KK17	-60093.420	53911.581	18.92
KK18	-60093.701	53913.098	18.97

防止工事施工諸元

第2号ボーリング暗渠工復旧工

ボーリング番号	掘進長	掘進方位	孔口間隔(現況地盤)	勾配	孔口標高(現況地盤)
NO.1	18.00m	N 4.0° E	2.90m	+5°	25.06m
NO.2	18.00m	N 11.0° E			24.91m
ΣL= 36.00m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)					

※掘進方位は磁北とする

防止工事施工諸元

第3号ボーリング暗渠工

ボーリング番号	掘進長	掘進方位	孔口間隔(現況地盤)	勾配	孔口標高(現況地盤)
NO.1	10.00m	N 23.7° W	5.00m	+5°	15.55m
NO.2	17.00m	N 7.0° E			
NO.3	17.00m	N 25.6° E			
NO.4	17.00m	N 44.4° E			
NO.5	10.00m	N 76.8° E			
ΣL= 71.00m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)					

※掘進方位は磁北とする

防止工凡例

防止工事
ボーリング暗渠工
アンカー工
水路工

凡例

踏査結果
滑動ブロック
地すべり方向
滑落段差・崩壊
亀裂
押し出し
沈下
湧水
調査計画
解析測線
調査ボーリング

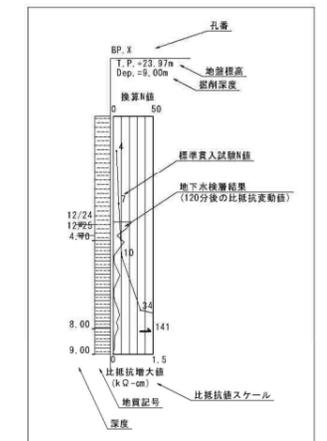
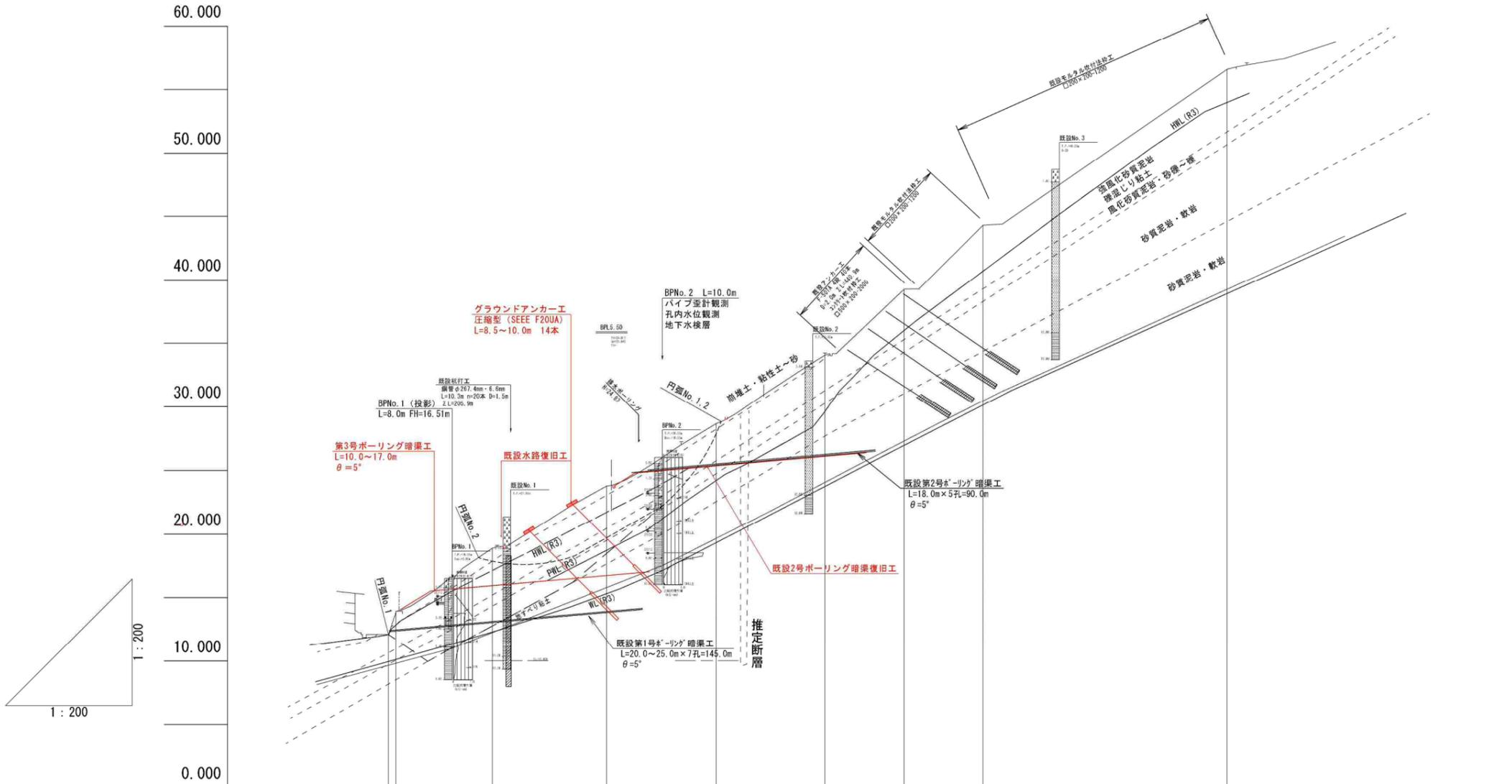
年度	令和5年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	鳥根県 出雲市 小津町 地内
図面名称	北浜東4工区 4ブロック 防止工法縦断面図
縮尺	1:200(A1) 縮尺 1:400(A3)
会社名	会社及び責任者
測量	測量技術者
設計	設計技術者
図面番号	2/37

凡例
発注
計画

防止工法縦断面図 A1 S=1:200  
A3 S=1:400

北浜東4工区 安全率一覧表

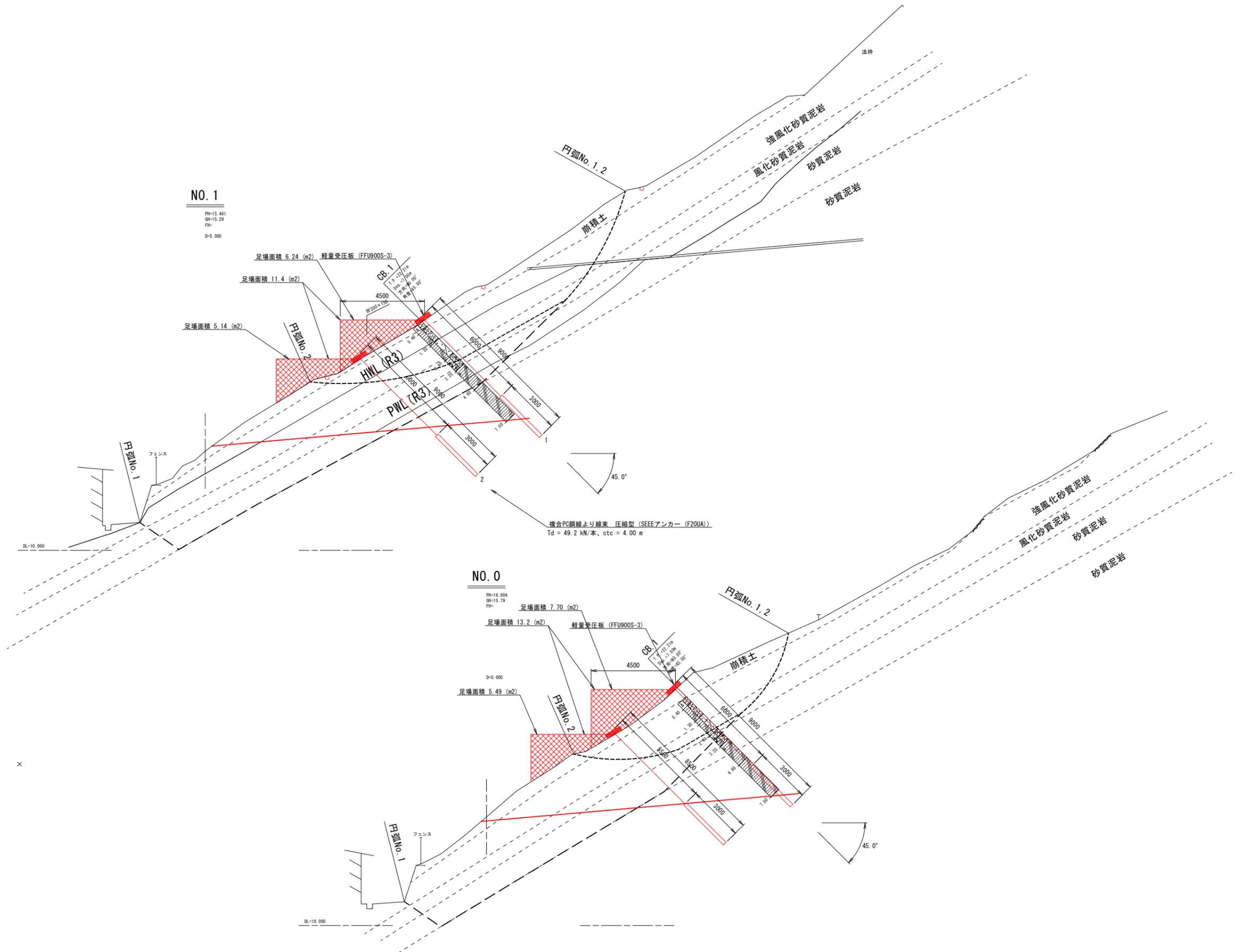
円弧No.	平常水位		最高水位		対策工事						目標安全率	土質定数
	WL	Fs	HWL	Fs	PHWL	ボーリング暗渠工	Fs	PHWL	グラウンドアンカー工	Fs		
R1	BPNo. 1 GL-5.16m	1.41	BPNo. 1 GL-0.99m	1.00	BPNo. 1 GL-0.99m	第3号ボーリング暗渠工 L=17.0m×3本 10.0m×2本 Σ=71.0m θ=+5.0°	1.21	BPNo. 1 GL-0.99m	グラウンドアンカー工 SEEE F20UA L=8.5~10.0m 7本×2段=14本 D=4.0m α=45° 受圧板 FFU受圧板 900S-3	—	1.20	γt=18.00 kN/m <sup>3</sup> γsat=18.00 kN/m <sup>3</sup> C= 19.25 kN/m <sup>2</sup> φ= 25.0°
R2	BPNo. 2 GL-8.89m	1.16	BPNo. 2 GL-2.06m	1.00	BPNo. 2 GL-4.81m		BPNo. 2 GL-4.81m	1.16		BPNo. 2 GL-4.81m		



測点	No.	NO.0	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	NO.6	NO.7	NO.8
水平距離	m	0.000	0.604	7.582	8.979	8.648	8.571	6.222	6.208	19.250
追加水平距離	m	0.000	0.604	8.196	17.175	25.823	34.394	40.616	46.824	66.074
地盤高	m	12.05	13.93	18.89	23.79	28.67	34.07	39.25	44.31	56.60
山腹勾配	度	72°	33°	31°	31°	33°	43°	45°	35°	

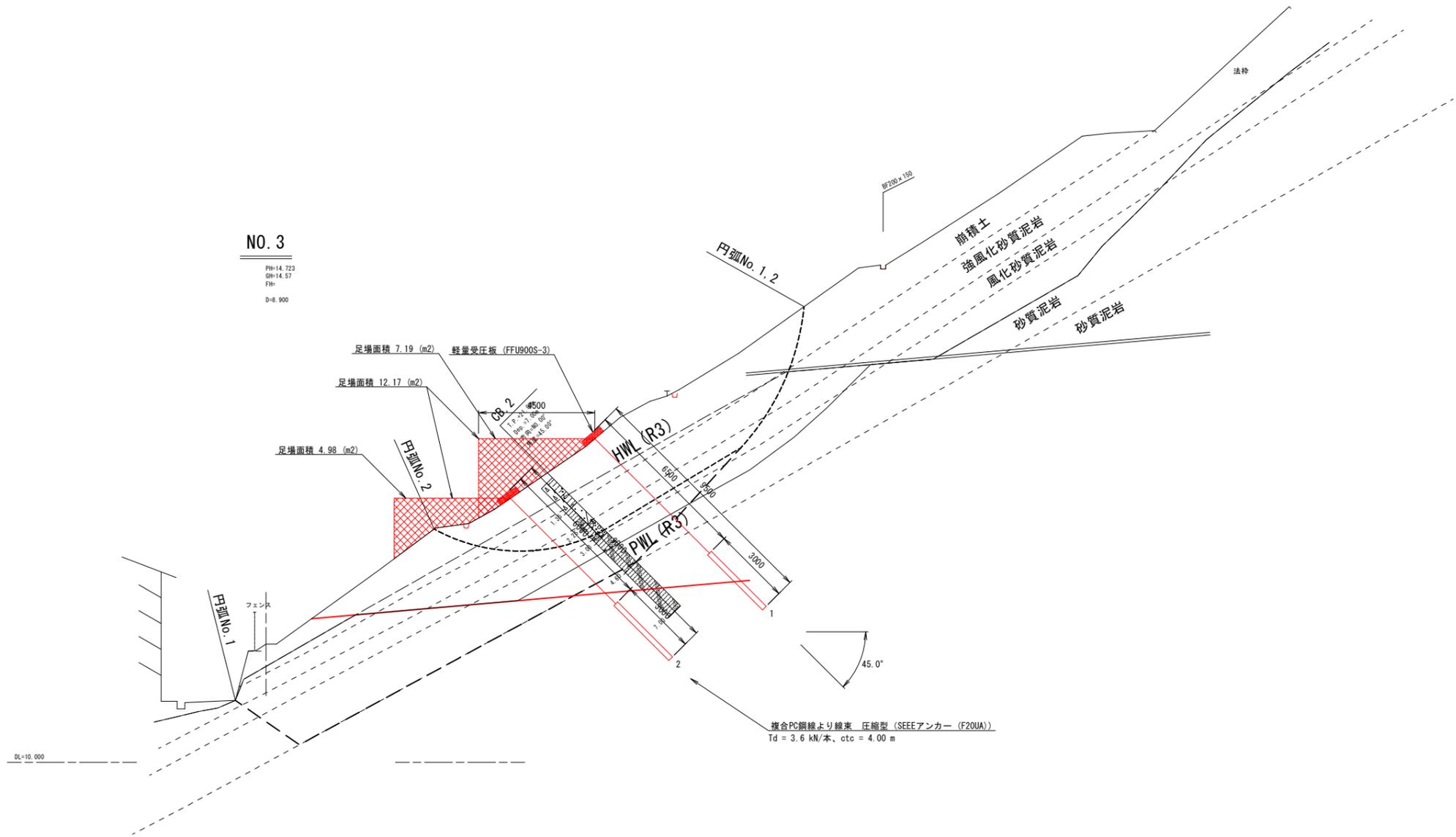
年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区) 外
施工箇所	島根県 出雲市 小津町 地内
図面名称	北浜東4工区 4ブロック アンカー工横断面-1 (No.0、1横断面図) 縮尺 1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
測量	測量 測量 測量
設計	設計 設計 設計
図面番号	3/37

凡例	
発注	発注
計画	計画



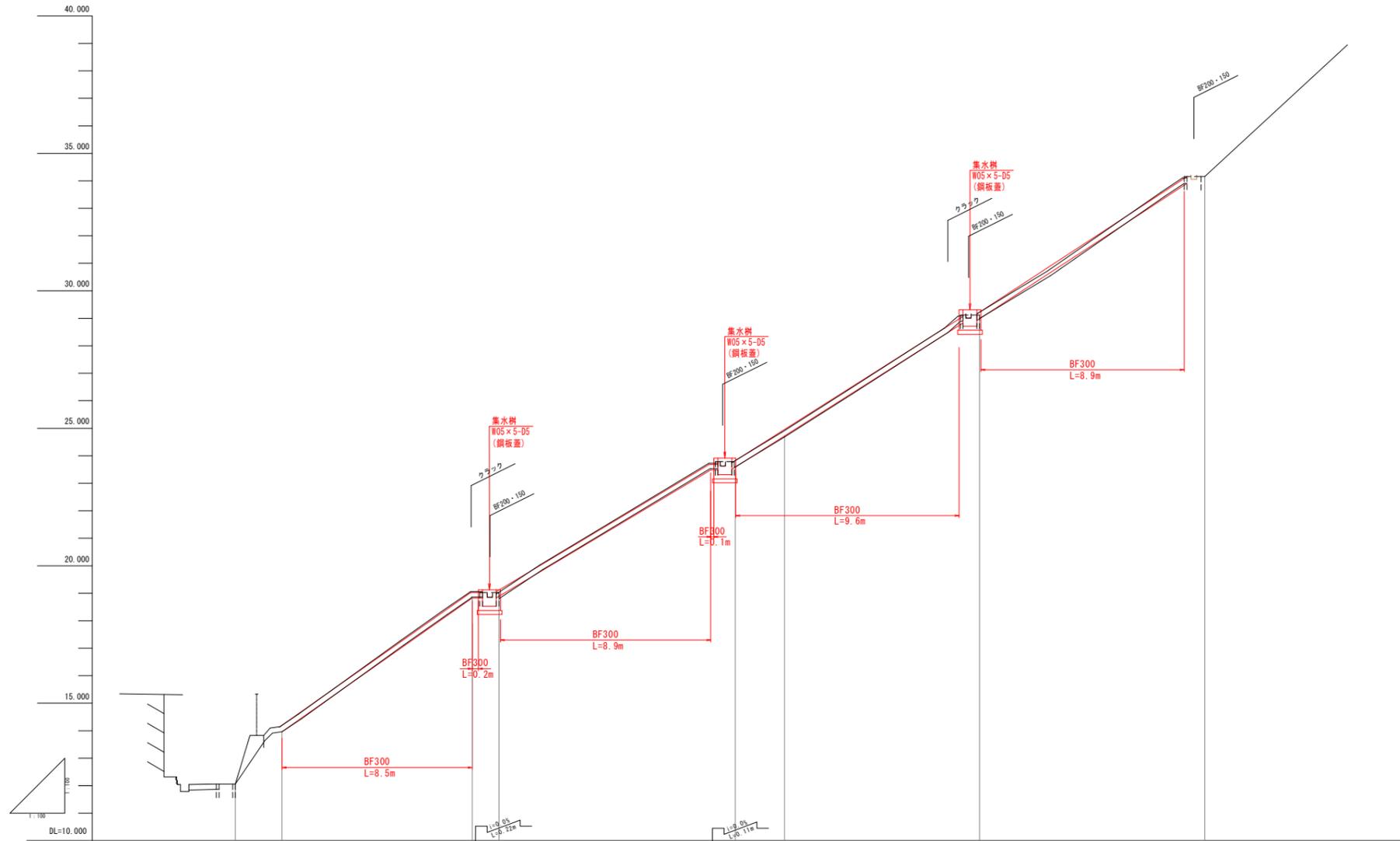
年度	令和 5 年度		
事業名	復旧治山事業		
箇所名	(北浜東4工区) 外		
施工箇所	島根県 出雲市 小津町 地内		
図面名称	北浜東4工区 4ブロック アンカー工横断面-2 (No. 3横断面図) 縮尺 1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)		
会社名	会社及び責任者		
測量	測量者	測量者	測量者
設計	設計者	設計者	設計者
図面番号	4/37		

凡例	
発注	赤い斜線
計画	黄色い斜線



年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区) 外
箇所名	島根県 出雲市 小津町 地内
図面名称	水路工 縦断面 縮尺 1:100 (A1) 縮尺 1:200 (A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査者
設計	設計者
図面番号	5/37

凡例
発注
計画



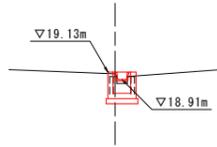
勾配	盛土										
	切土										
	水路底高		13.96	18.82	18.91	23.48	23.60	24.73	28.74	29.02	33.84
	地盤高	12.06	13.96	18.96	18.96	23.96	24.06	24.73	28.96	29.02	34.16
追加距離	0.000	1.700	9.600	18.200	20.000	27.100	35.300				
単距離	0.000	1.700	7.900	8.600	1.800	7.100	8.200				
測点	SNO.0	SNO.0+1.7	SNO.0+9.6	SNO.0+18.2	SNO.1	SNO.1+7.1	SNO.1+15.3				

年度	令和 5 年度		
事業名	復旧治山事業		
箇所名	(北浜東4工区) 外		
施工箇所	島根県 出雲市 小津町 地内		
図面名称	水路工 横断図		
	縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)		
会社名	会社及び責任者		
調査	調査技術者	調査技術者	
設計	設計技術者	設計技術者	
図面番号	6/37		

凡例
発注
計画

0+9.60

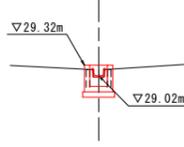
PIH=10.348  
GH=19.07  
FH=  
D=7.900



DL=15.000

1+7.10

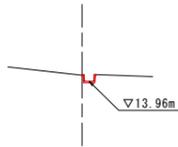
PIH=29.396  
GH=29.19  
FH=  
D=7.100



DL=25.000

0+1.70

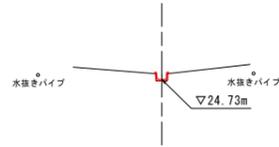
PIH=14.386  
GH=14.14  
FH=  
D=1.700



DL=10.000

SNO. 1

PIH=25.078  
GH=24.67  
FH=  
D=1.800



DL=20.000

SNO. 0

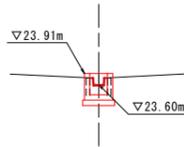
PIH=12.062  
GH=12.06  
FH=  
D=0.000



DL=10.000

0+18.20

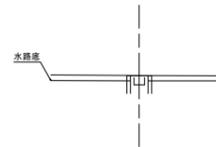
PIH=24.029  
GH=23.87  
FH=  
D=8.600



DL=20.000

1+15.30

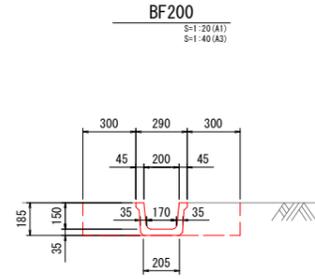
PIH=34.169  
GH=34.16  
FH=  
D=8.200



DL=30.000

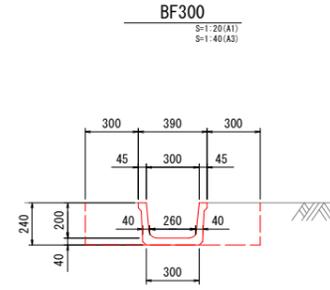
年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区) 外
箇所名	島根県 出雲市 小津町 地内
図面名称	北浜東4工区 4ブロック 水路工 構造図 縮尺 1:20 (A1) 縮尺 1:40 (A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査者 設計者
設計	設計者 監理者
図面番号	7/37

凡 例
発注
計画



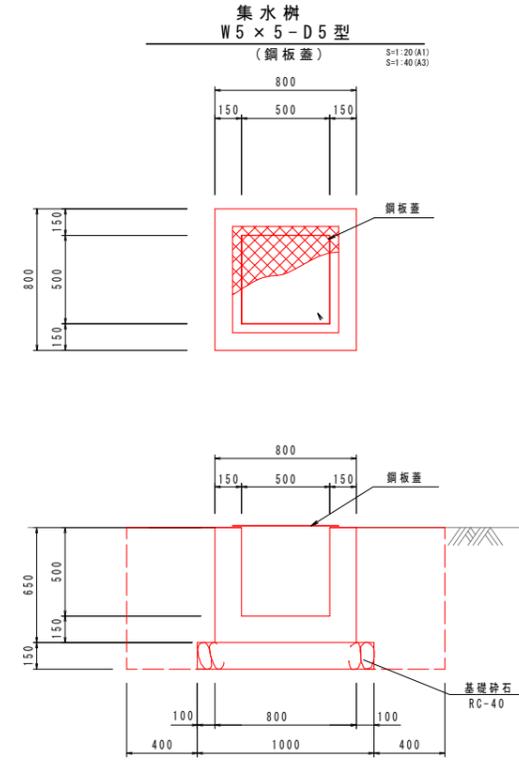
数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床 掘	土 砂	m <sup>3</sup>	1.6
埋 戻		m <sup>3</sup>	1.2
ベンチフリューム	BF200	m	10.0



数量表 10m当たり

名称	規格	単位	数量
床 掘	土 砂	m <sup>3</sup>	2.4
埋 戻		m <sup>3</sup>	1.5
ベンチフリューム	BF300	m	10.0



数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
床 掘	土 砂	m <sup>3</sup>	2.6
埋 戻	埋 戻 C	m <sup>3</sup>	2.0
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.291
型 枠		m <sup>2</sup>	3.38
基礎砕石	RC-40, t=150	m <sup>2</sup>	1.00
鋼 板 蓋	500×500用	枚	1

年度	令和5年度
事業名	復旧治山事業
場所	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 小津町 地内
図面名称	アンカー工構造図
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
測量	測量 測量 測量 測量
設計	設計 設計 設計 設計
図面番号	8/37

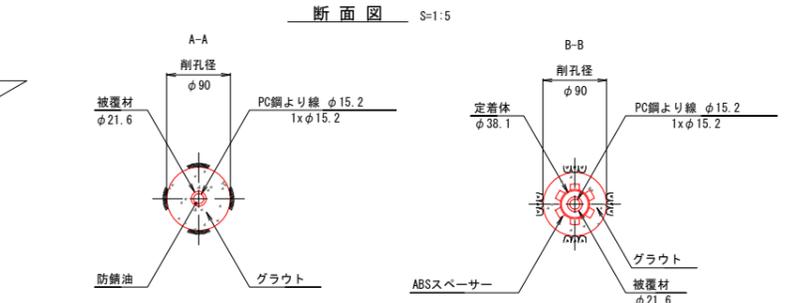
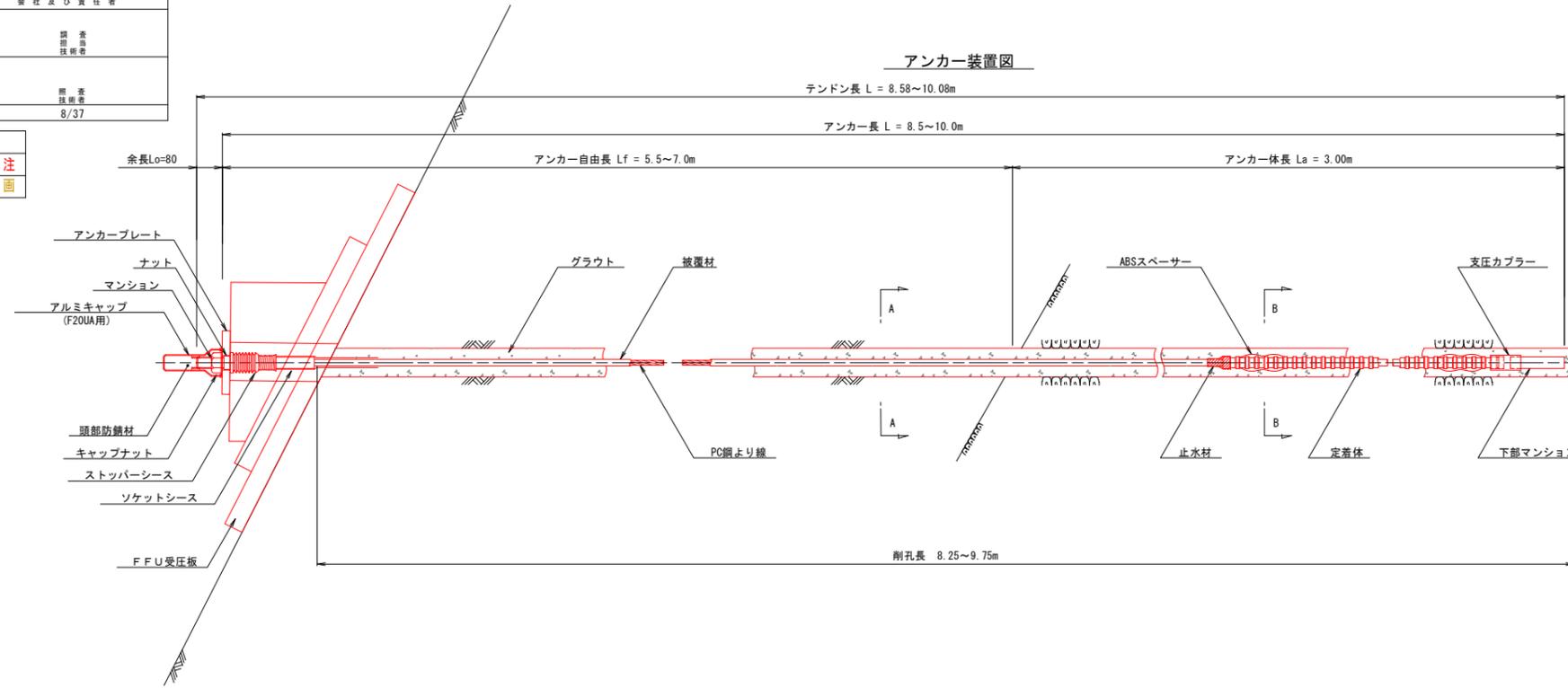
凡例
発注
計画

## グラウンドアンカー構造図 (受圧板:軽量受圧板-FFU受圧板)

A1 S=1:10  
A3 S=1:20

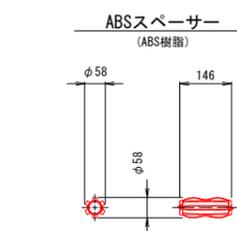
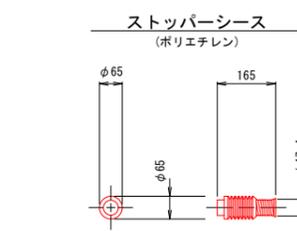
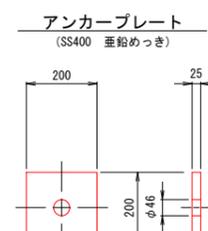
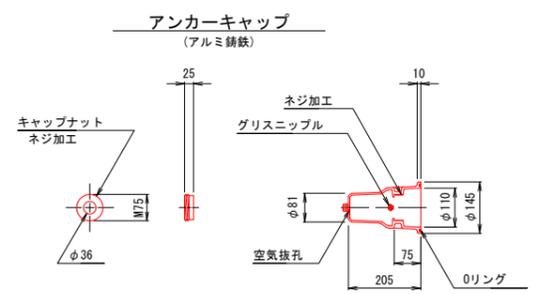
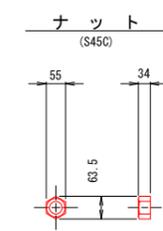
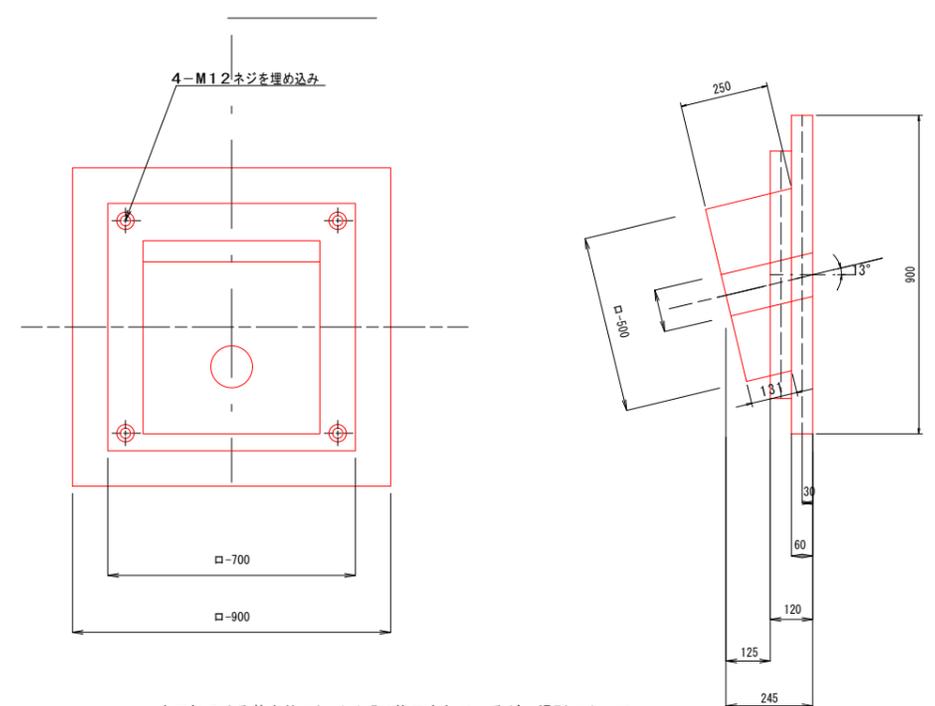
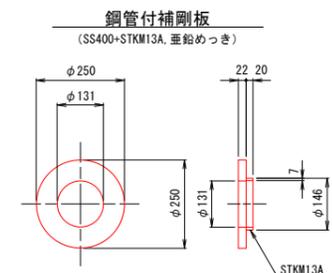
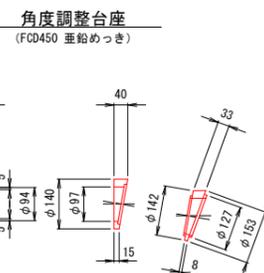
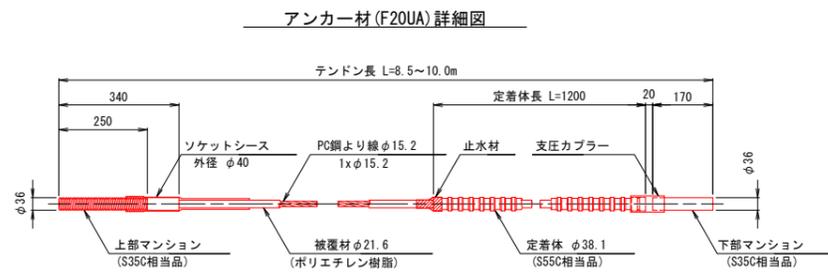
アンカー材料表

項目	規格	単位	数量	摘要
PC鋼より線ナット定着方式 (二重防食タイプ)	F20UA (1xφ15.2) L=8.5~10.0	組	1	ポリエチレン被覆 ソケットシース含
上部マンション	φ36 L=340	本	1	S35C相当品
下部マンション	φ36 L=170	本	1	S35C相当品
角度調整台座	ACD-SEC-A	組	1	FCD450, 垂鉛めっき
ナット	M36	個	1	S45C
アンカーキャップ	L=205	個	1	アルミ鑄鉄
アンカープレート	φ200x25, φ46	枚	1	SS400, 垂鉛めっき
鋼管付補剛板	φ250x22, φ131	枚	1	SS400+STKM13A, 垂鉛めっき
ストッパーシース	φ65 L=165	個	1	ポリエチレン
定着体	φ38.1 L=1200	本	1	S55C相当品 (支圧カブラー含)
ABSスペーサー	φ58 L=146	個	2	ABS樹脂
頭部防錆材	0.90kg	箇所	1	



軽量受圧板 (FFU受圧板) 構造図  
900S-3

A1 S=1:10  
A3 S=1:20



法面勾配は基本的にS=1:1.5で施工されているが、場所によって微妙に異なるため、アンカーの設置に当り受圧板のヘッド形状の微調整が必要である。

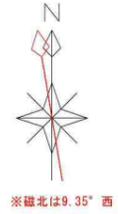
年度	令和5年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 小津町 地内
計画名称	仮設計画平面図(参考)
縮尺	1:200(A1) 1:400(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査技術者
設計	設計技術者
図面番号	9/37

凡例
発注
計画

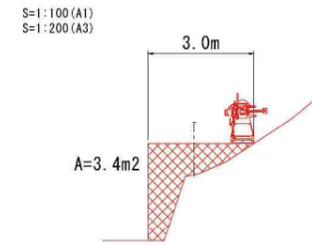
# 防止工法平面図

A1 S=1:200  
A3 S=1:400

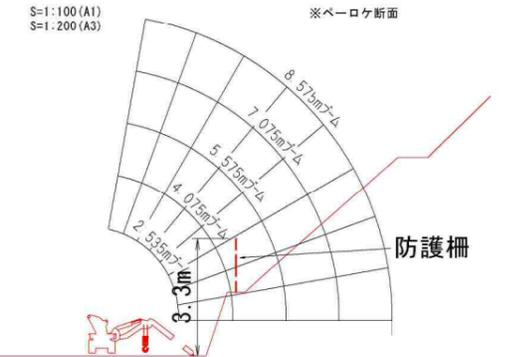
Z406-06  
①



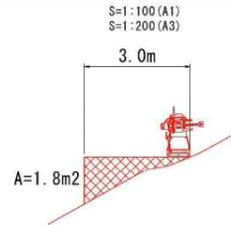
## 第3号ボーリング暗渠工足場 標準図



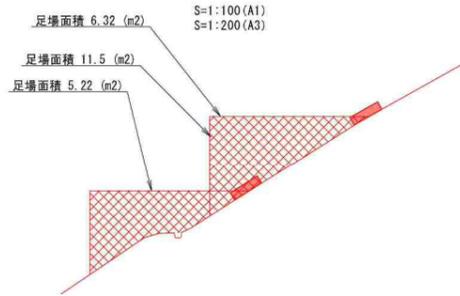
## カニクレーン搬入仮設図 標準図



## 既設第2号ボーリング暗渠工足場 標準図



## アンカー工足場 標準図



山腹工 A=0.07ha

既設水路復旧工箇所一部現地盤より高くなる箇所があるため雨土で高さの調整が必要である。

既設2号ボーリング暗渠工復旧工  
L=18.0m×2本  
ΣL=36.0m

既設2号ボーリング暗渠工  
流量処理パイプ付替え  
流量処理管 1式

グラウンドアンカー工  
圧縮型(SEE F20UA) L=8.5~10.0m  
2段 D=4.0m  
α=45°  
受圧板  
軽量受圧板 (FFU受圧板 900S-3)

クレーン搬入箇所は家屋、車庫等の建物があるため、搬入時は十分に注意が必要である。

地元(小林氏)から可能であれば切っ払いと要望のあった木。施工の支障とはならない。

クローラークレーン積み下ろし場所

搬入箇所付近には駐車場があり、地元住民とのトラブルに注意する必要がある。

クレーン搬入路は幅2.0m弱と狭いため、注意が必要である。

落石防護柵取り外し・設置  
L=51m

既設第2号ボーリング暗渠工足場の支障となる木。伐採が必要となる。

既設2号ボーリング暗渠工復旧工足場  
L=7.3m A=1.9m² V=13.1m³

グラウンドアンカー工足場  
L=28.0m A=11.4~13.2m² V=334.6m³

既設水路工復旧工  
BF200 L=55.9m

3号ボーリング暗渠工足場  
L=20m A=3.4m² V=68m³

3号ボーリング暗渠工  
L=10.0~17.0m×5本  
ΣL=71.0m

第3号ボーリング暗渠工足場の支障となる防護柵。足場仮設時は取り外しを行う。

調査ボーリング  
BPN. 2/L=10.0m  
標準貫入試験/3回  
地下水観測  
パイプ計測  
地下水検査

チェックボーリング  
CB-2 L=7.0m

チェックボーリング  
CB-1 L=7.0m  
引き抜き試験

断面

既設杭工位置の杭頭を測量し、第3号ボーリング暗渠工は杭工位置をかわして配置しているが、施工時は注意が必要である。

### 既設杭工座標

点名	X座標	Y座標	標高
KK1	-60089.056	53886.598	18.94
KK2	-60089.318	53888.036	19.03
KK3	-60089.428	53889.579	18.94
KK4	-60089.723	53890.959	18.86
KK5	-60089.798	53892.442	18.80
KK6	-60090.258	53893.948	18.74
KK7	-60090.461	53895.329	18.77
KK8	-60091.110	53896.876	18.71
KK9	-60091.571	53898.286	18.85
KK10	-60092.326	53901.237	18.77
KK11	-60092.512	53902.726	18.73
KK12	-60092.733	53904.208	18.80
KK13	-60092.675	53905.661	18.91
KK14	-60092.617	53907.142	18.95
KK15	-60092.885	53908.688	19.04
KK16	-60093.076	53910.072	18.95
KK17	-60093.420	53911.581	18.92
KK18	-60093.701	53913.098	18.97

### 防止工事施工諸元

#### 第2号ボーリング暗渠工復旧工

ボーリング番号	掘進長	掘進方位	孔口間隔(現況地盤)	勾配	孔口標高(現況地盤)
NO.1	18.00m	N 4.0° E	2.90m	+5°	25.06m
NO.2	18.00m	N 11.0° E			24.91m
ΣL= 36.00m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)					

※掘進方位は磁北とする

### 防止工事施工諸元

#### 第3号ボーリング暗渠工

ボーリング番号	掘進長	掘進方位	孔口間隔(現況地盤)	勾配	孔口標高(現況地盤)
NO.1	10.00m	N 23.7° W	5.00m	+5°	15.55m
NO.2	17.00m	N 7.0° E			
NO.3	17.00m	N 25.6° E			
NO.4	17.00m	N 44.4° E			
NO.5	10.00m	N 76.8° E			
ΣL= 71.00m (※孔口から2m間はストレーナ加工を設けない)					

※掘進方位は磁北とする

### 防止工凡例

#### 防止工事

- ボーリング暗渠工
- アンカー工
- 水路工

### 凡例

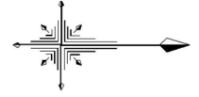
#### 踏査結果

- 滑動ブロック
- 地すべり方向
- 滑降段差・崩壊
- 亀裂
- 押し出し
- 沈下
- 湧水

#### 調査計画

- 解析測線
- 調査ボーリング

# 防止工法平面図



S=1:300 (A1)  
S=1:600 (A3)

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区) 外
施工箇所	鳥根県 出雲市 河下町 地内 報徳2ブロック
図面名称	防止工法平面図 1:300 (A1) 縮尺 1:600 (A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査員 主任技術者 主任技術者
設計	設計者 主任技術者 主任技術者
図面番号	37 - 10

凡 例	
<span style="background-color: red; color: white;">■</span>	免 注
<span style="background-color: yellow;">■</span>	計 画

山腹面積 A=0.09ha

**2-2号地山補強土工**  
 掘削 V=58.3m<sup>3</sup>  
 地山補強土工  
 SD345 D22 L=3.5m ΣN=25+4=29本  
 現場吹付法砕工(口300×300-1500)  
 A=166.7m<sup>2</sup>



**2-1号地山補強土工**  
 掘削 V=205.4m<sup>3</sup>  
 地山補強土工  
 SD345 D22 L=4.5m N=90本  
 現場吹付法砕工(口300×300-1500)  
 A=319.2m<sup>2</sup>(R5 121.8)  
 端止工 3箇所

凡 例	
	滑動ブロック
	地すべり方向
	滑落段差・崩壊
	押し出し
	亀 裂
	湧 水
調査事項	
	調査ポイント
	解析測線

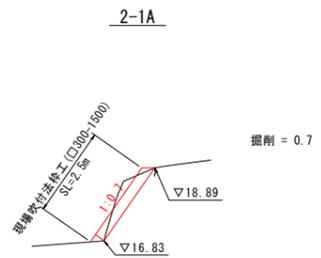
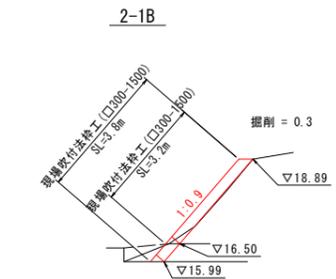
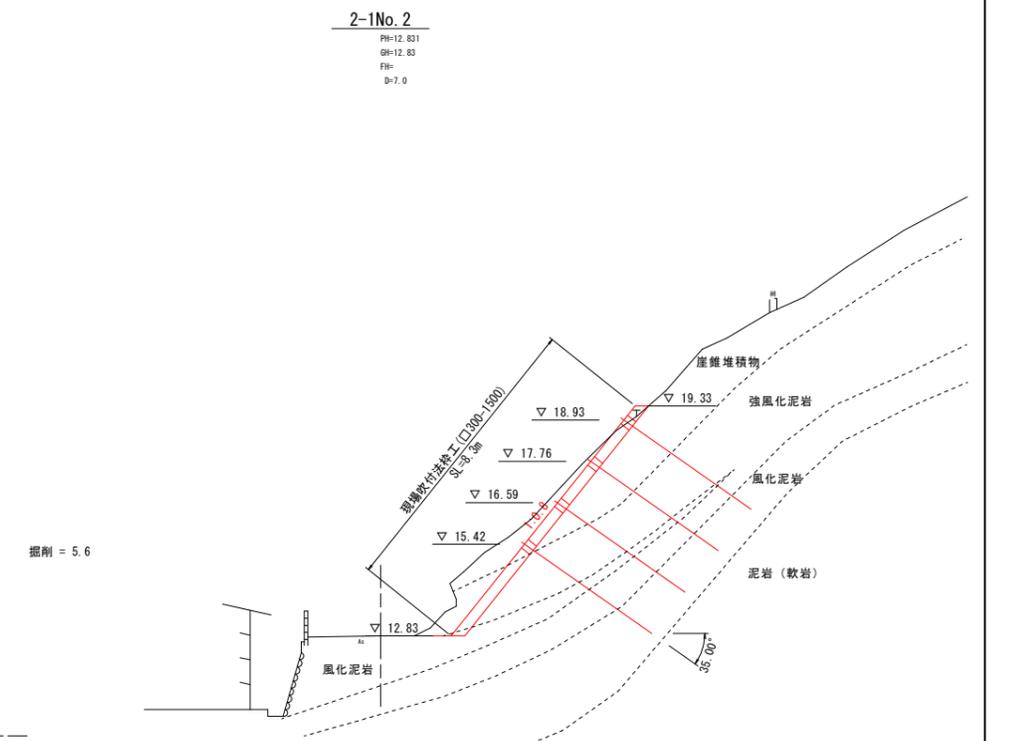
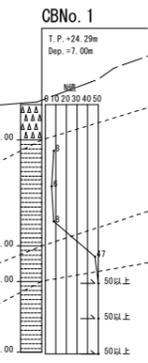
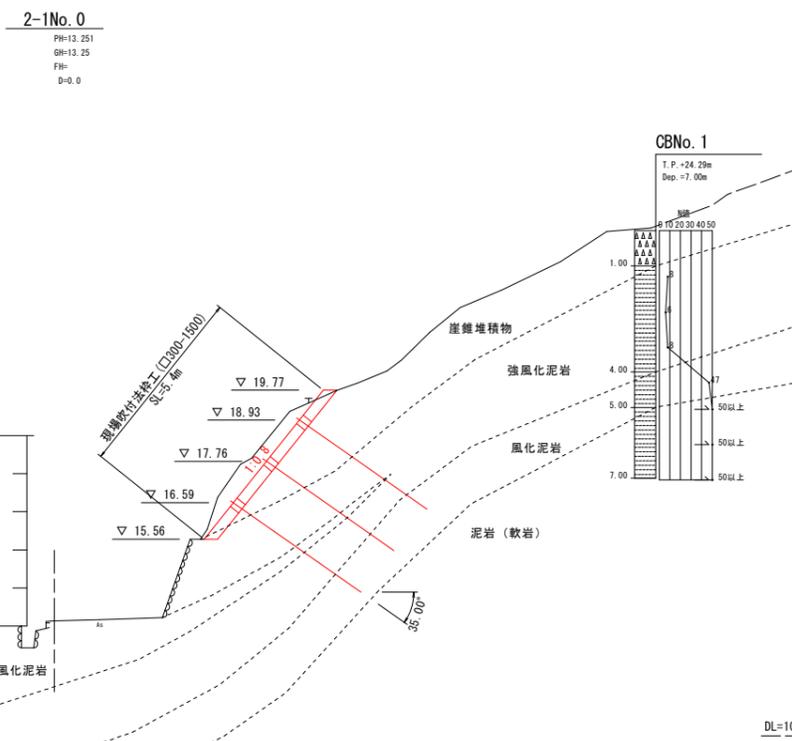
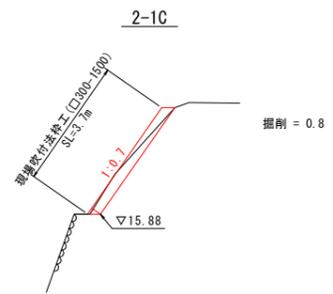
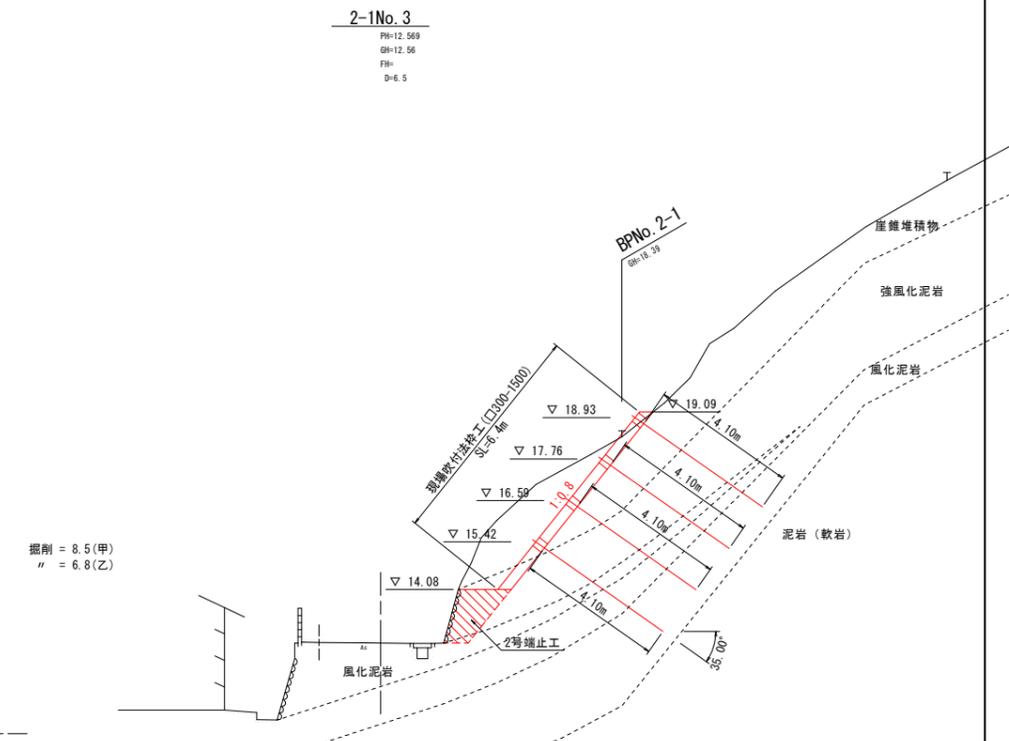
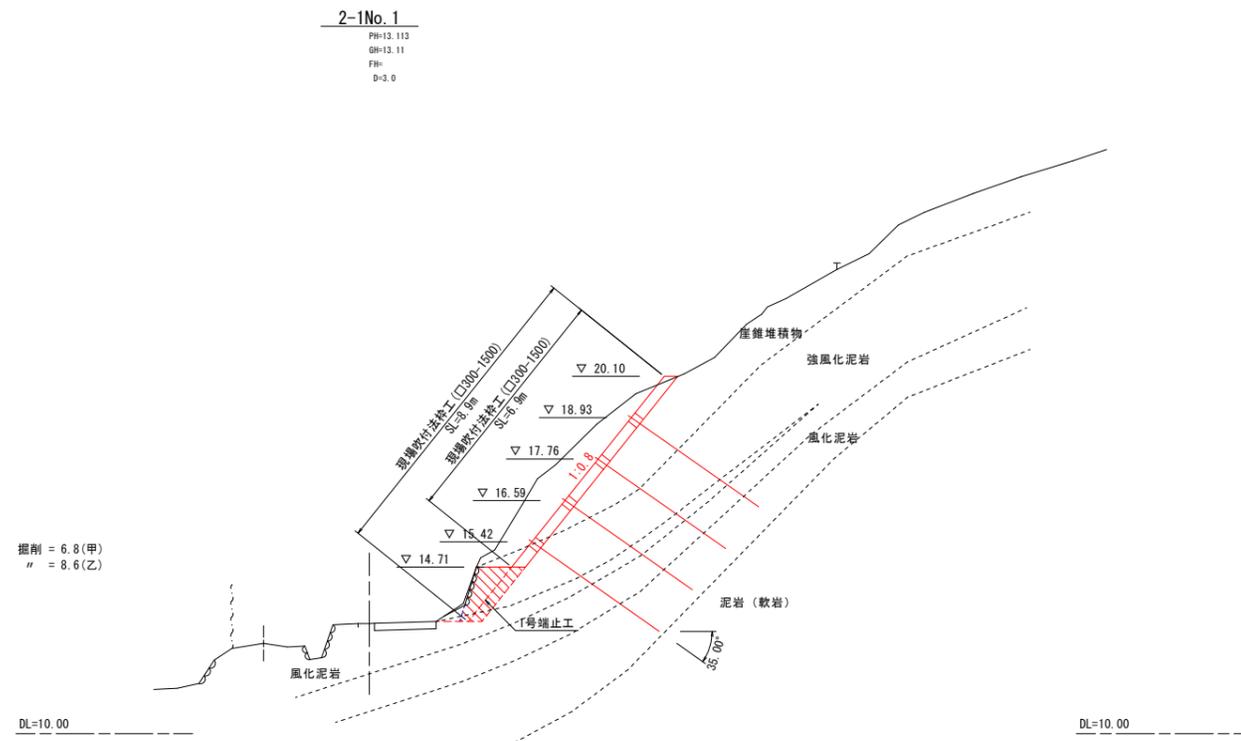
※上水道管、下水道管の位置は既存資料、聞き取り調査より図示している。詳細な埋設位置は不明である。





年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区) 外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳2ブロック 2-1測線横断面図(1)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査者 主任技師 技師
設計	設計者 主任技師 技師
図面番号	37 - 13

凡例
発注
計画



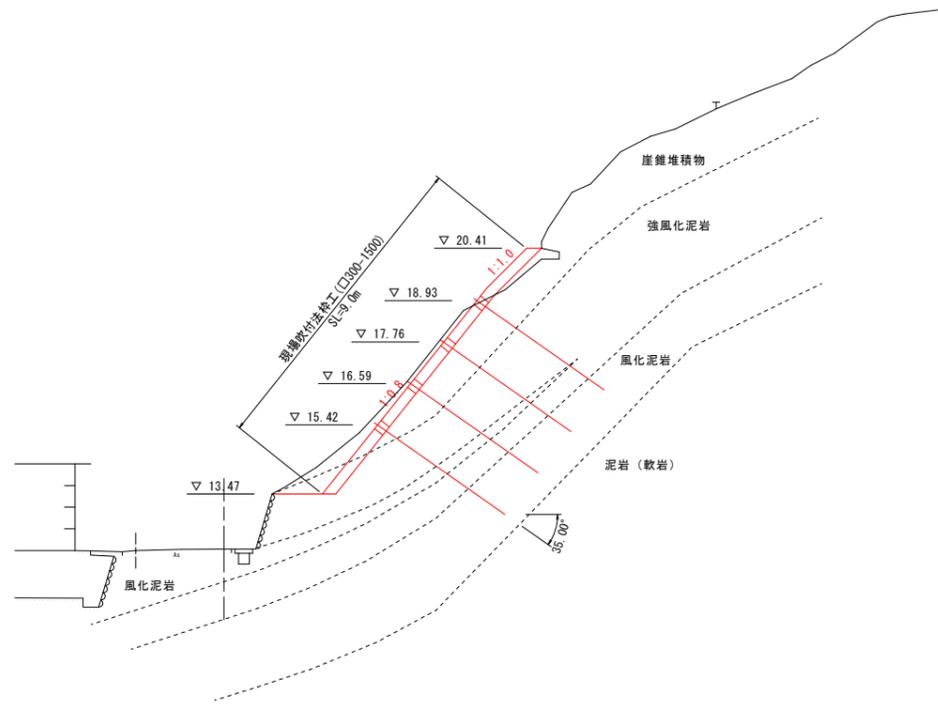
※2-1A~Cの断面はペーパーロケーションである。  
施工時は起工測量により、現況にすり合わせる事。

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳2ブロック 2-1測線横断面図(2)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
測量	調査 責任者 調査者
設計	責任者 設計者
図面番号	37 - 14

凡例
発注
計画

2-1No. 5

PH=11.919  
GH=11.91  
FH=  
D=4.0

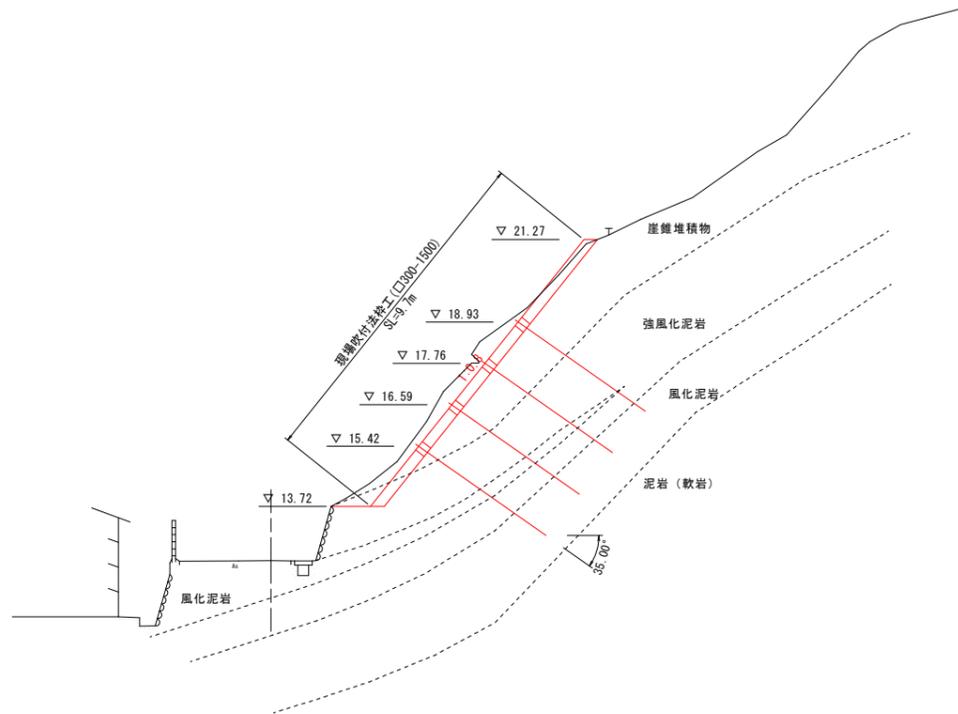


掘削 = 4.1  
充填 = 0.4

DL=10.00

2-1No. 4

PH=12.194  
GH=12.19  
FH=  
D=7.0

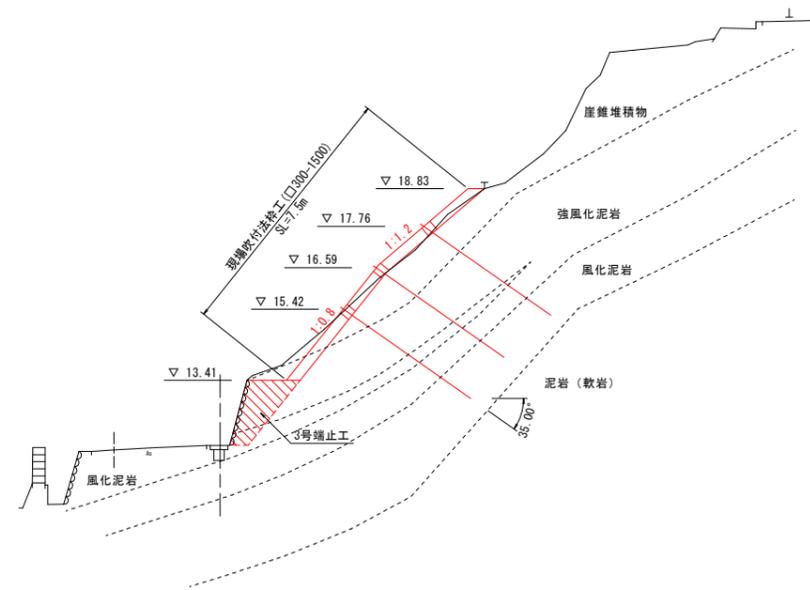


掘削 = 5.2

DL=10.00

2-1No. 6

PH=11.574  
GH=11.57(天) 11.15(底)  
FH=  
D=5.5



掘削 = 1.8(甲)  
" = 3.6(乙)

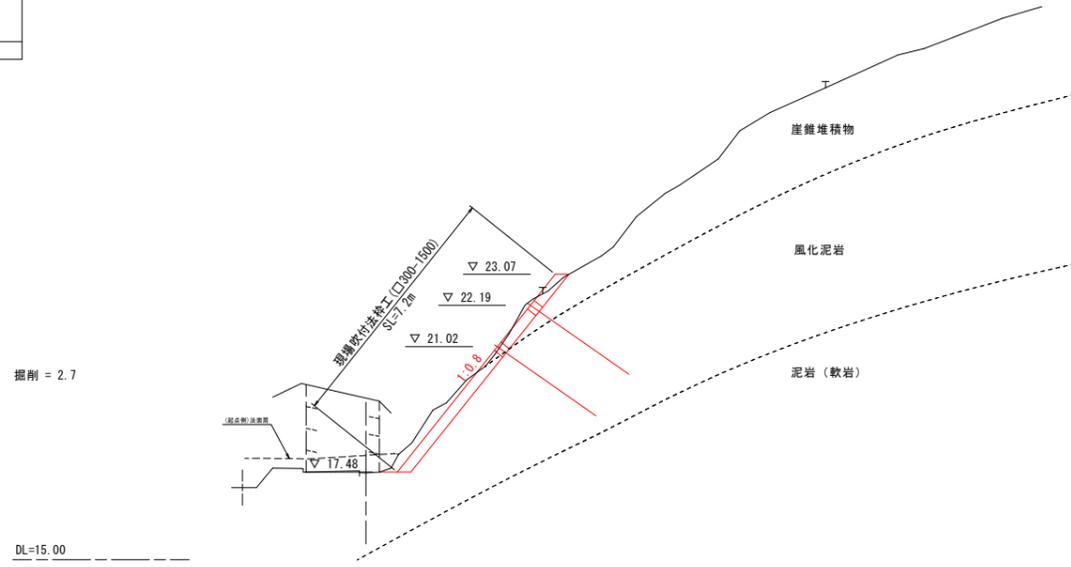
DL=10.00

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳2ブロック 2-2測線横断面図(1)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
測量	測量者
調査	調査者
設計	設計者
図面番号	37 - 15

凡例
発注
計画

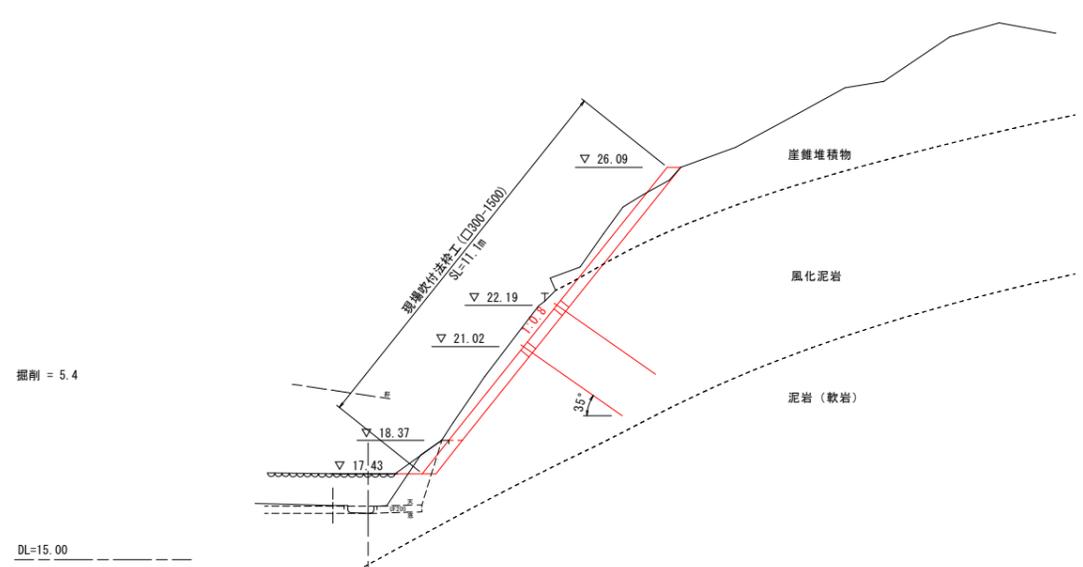
2-2No. 1

PH=17.451  
GH=17.45  
FH=  
D=3.0



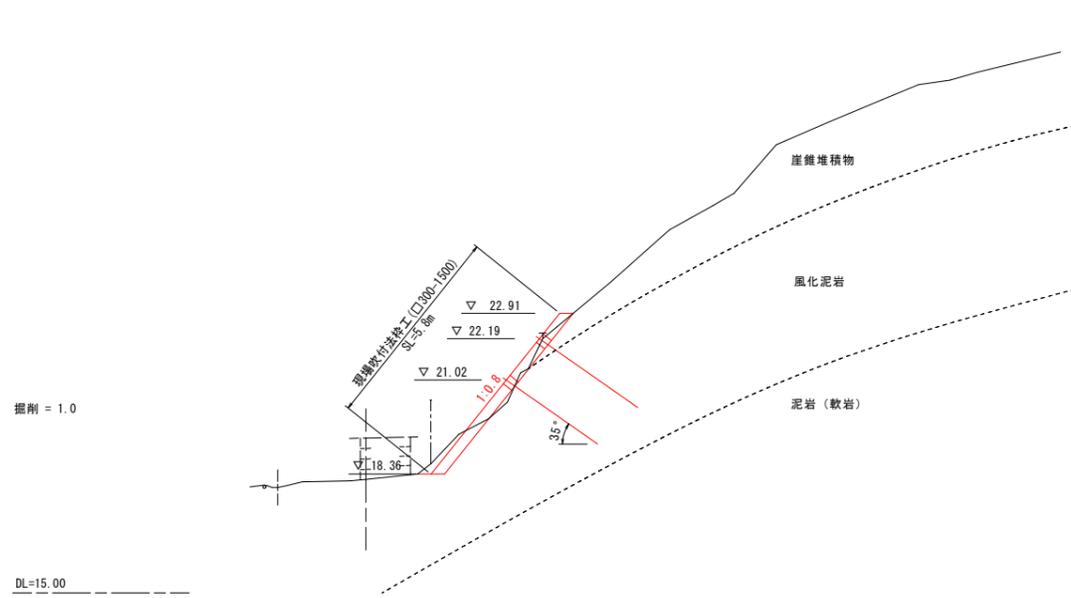
2-2No. 3

PH=  
GH=16.31  
FH=  
D=3.5



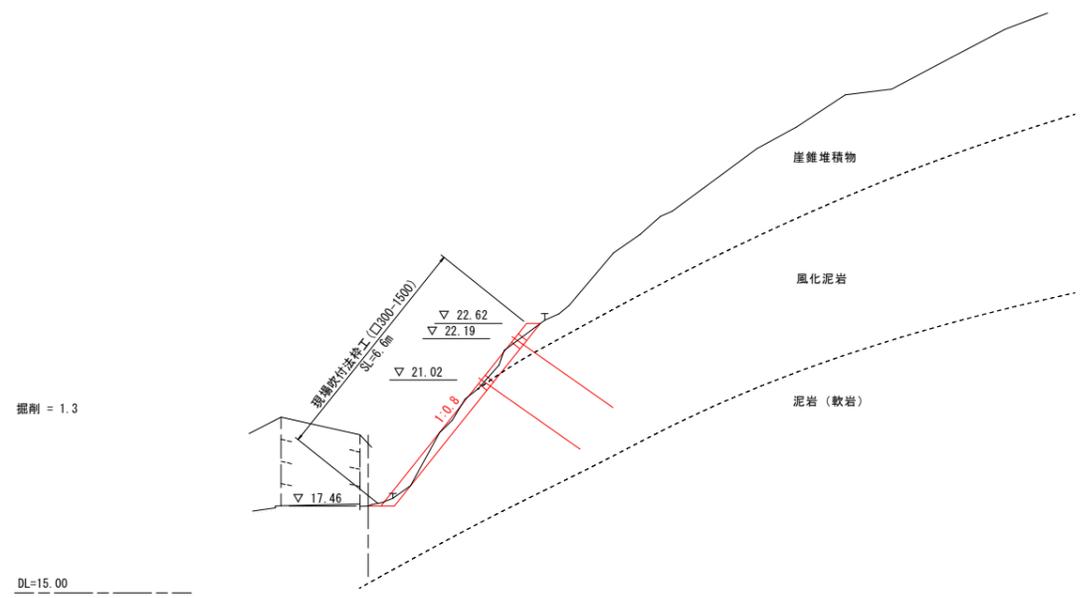
2-2No. 0

PH=  
GH=18.21  
FH=  
D=0.0



2-2No. 2

PH=13.749  
GH=13.46  
FH=  
D=3.5

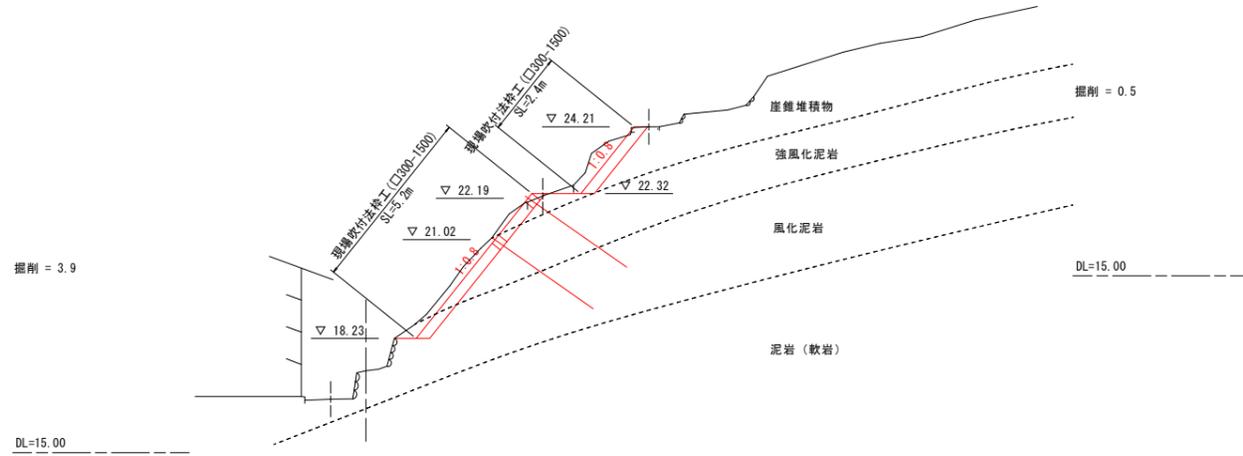


年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	2-2測線横断面(2)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査者
設計	設計者
図番	37 - 16

凡例
発注
計画

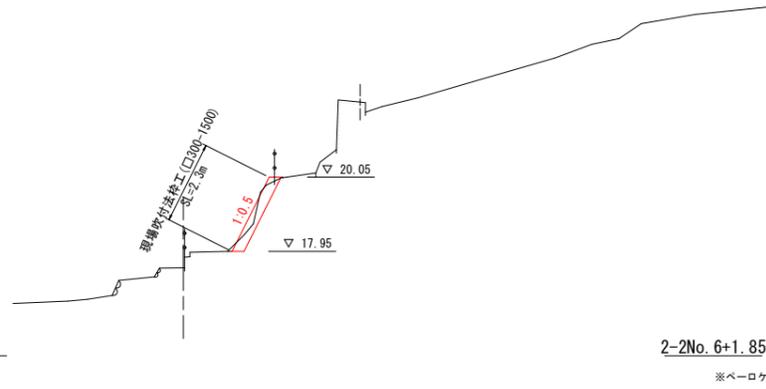
2-2No. 5

PH=17.328  
GH=17.32  
FH=  
D=4.0



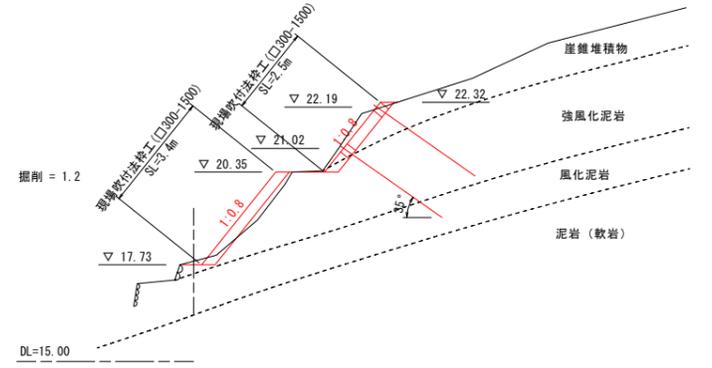
2-2No. 7

PH=17.713  
GH=17.49  
FH=  
D=3.0



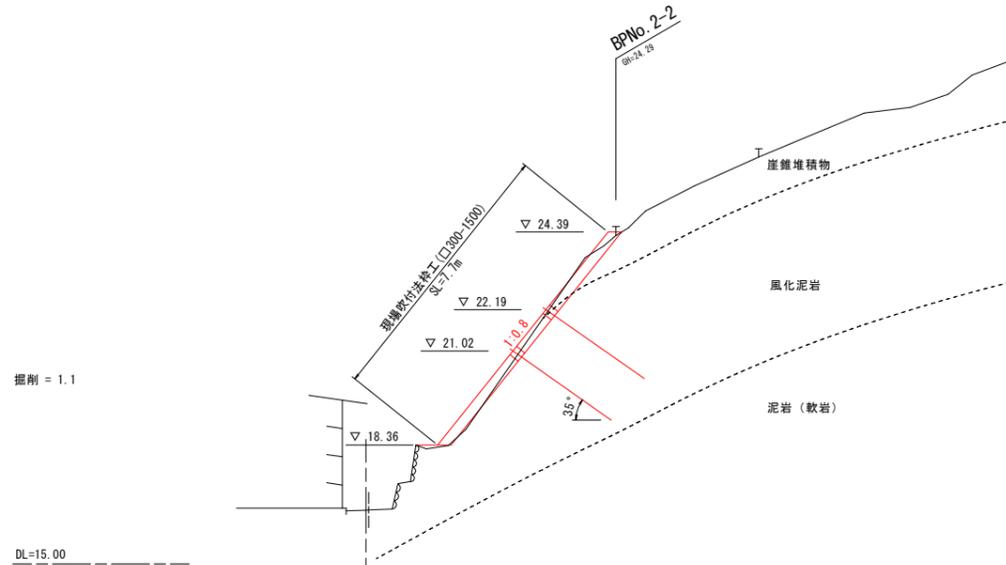
2-2No. 6+1.85

※ベロケ断面



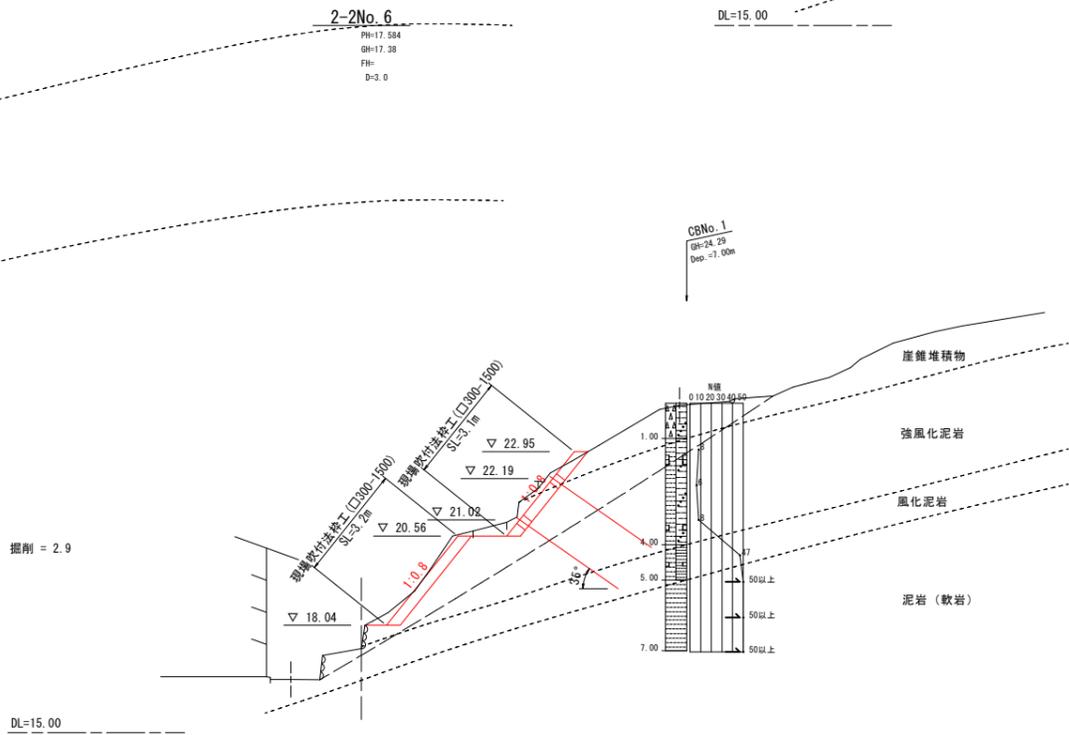
2-2No. 4

PH=16.522  
GH=16.52  
FH=  
D=2.5



2-2No. 6

PH=17.584  
GH=17.38  
FH=  
D=3.0



年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	鳥根県 出雲市 河下町 地内 報徳2ブロック (2-1測線)
図面名称	現場吹付法枠工構造図(1)
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
調査	調査責任者 設計責任者
設計	設計責任者 監理責任者
図面番号	37 - 17

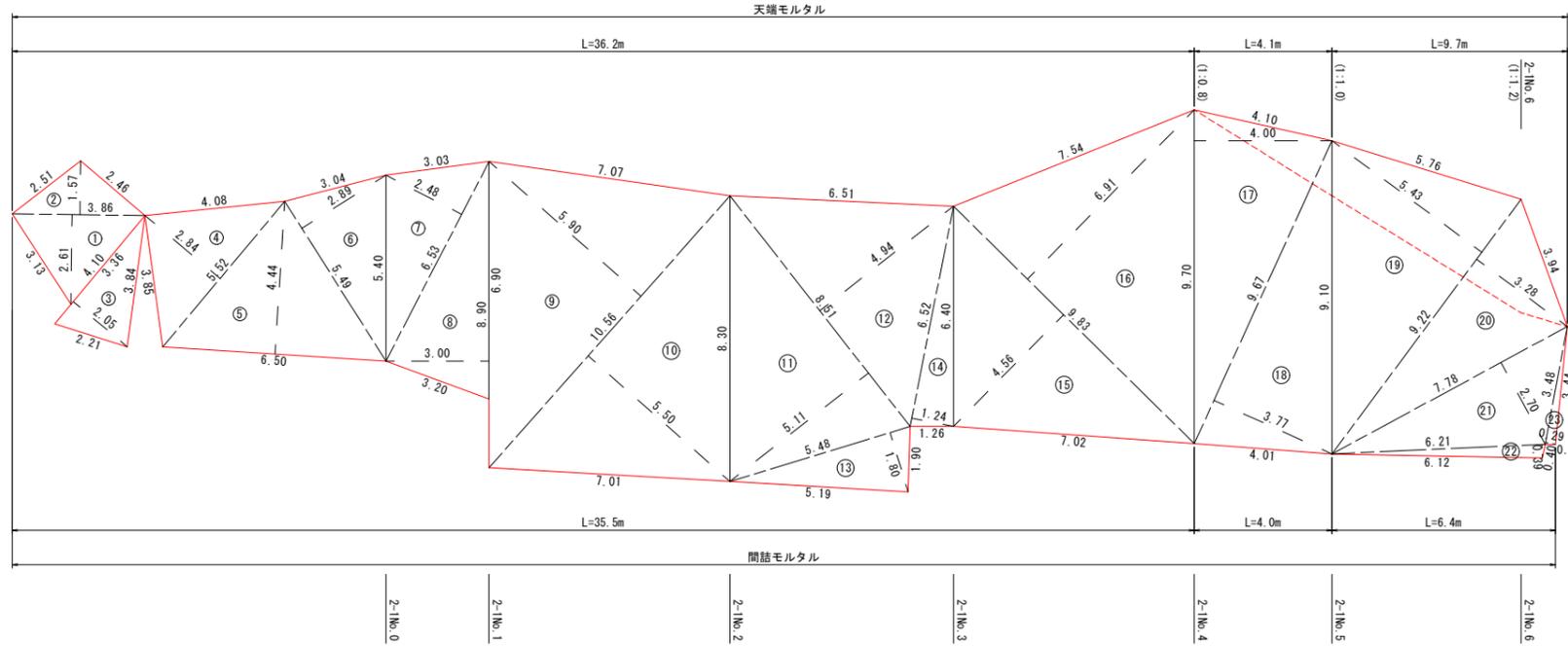
# 現場吹付法枠工構造図(1)

(□300-1500)

## 法枠工求積図

S=1:100 (A1)  
S=1:200 (A3)

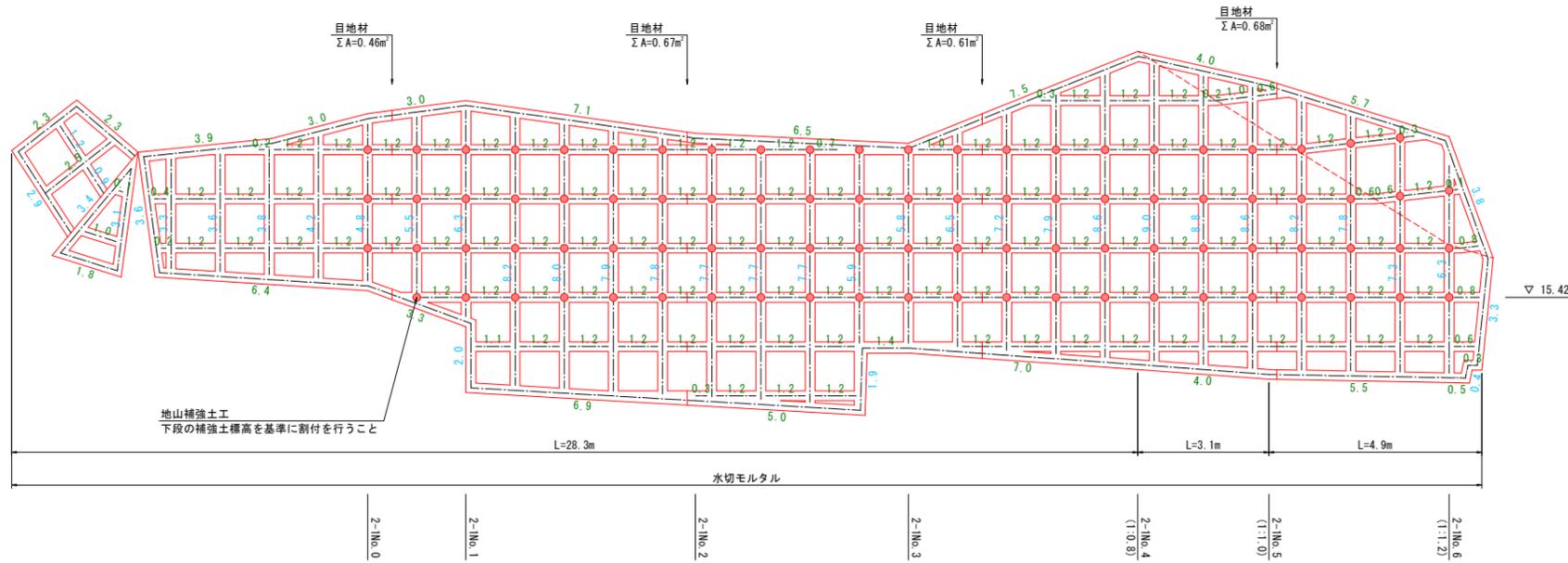
凡例
発注
計画



記号	底辺	高さ	倍面積 m <sup>2</sup>
1	3.86	2.61	10.07
2	3.86	1.57	6.06
3	4.10	2.05	8.41
4	5.52	2.84	15.68
5	6.50	4.44	28.86
6	5.49	2.89	15.87
7	6.53	2.48	16.19
8	6.90	3.00	20.70
9	10.56	5.90	62.30
10	10.56	5.50	58.08
11	8.51	5.11	43.49
12	8.51	4.94	42.04
13	5.48	1.80	9.86
14	6.52	1.24	8.08
15	9.83	4.56	44.82
16	9.83	6.91	67.93
17	9.70	4.00	38.80
18	9.67	3.77	36.46
19	9.22	5.43	50.06
20	9.22	3.28	30.24
21	7.78	2.70	21.01
22	6.21	0.39	2.42
23	3.48	0.29	1.01
倍面積 m <sup>2</sup>			638.44
面積 m <sup>2</sup>			319.22

## 法枠工展開図

S=1:100 (A1)  
S=1:200 (A3)



縦枠	枠長	本数	長さ
	0.4	1	0.4
	0.9	1	0.9
	1.2	1	1.2
	1.9	1	1.9
	2.0	1	2.0
	2.9	1	2.9
	3.1	1	3.1
	3.3	2	6.6
	3.4	1	3.4
	3.6	2	7.2
	3.8	2	7.6
	4.2	1	4.2
	4.8	1	4.8
	5.5	1	5.5
	5.8	1	5.8
	5.9	1	5.9
	6.3	2	12.6
	6.5	1	6.5
	7.2	1	7.2
	7.3	1	7.3
	7.7	3	23.1
	7.8	2	15.6
	7.9	2	15.8
	8.0	1	8.0
	8.2	2	16.4
	8.6	2	17.2
	8.8	1	8.8
	9.0	1	9.0
計		38	210.9

横枠	枠長	本数	長さ
	0.1	2	0.2
	0.2	3	0.6
	0.3	4	1.2
	0.4	1	0.4
	0.5	1	0.5
	0.6	4	2.4
	0.7	1	0.7
	0.8	2	1.6
	1.0	3	3.0
	1.1	1	1.1
	1.2	115	138.0
	1.4	1	1.4
	1.8	1	1.8
	2.3	2	4.6
	2.5	1	2.5
	3.0	2	6.0
	3.3	1	3.3
	3.9	1	3.9
	4.0	2	8.0
	5.0	1	5.0
	5.5	1	5.5
	5.7	1	5.7
	6.4	1	6.4
	6.5	1	6.5
	6.9	1	6.9
	7.0	1	7.0
	7.1	1	7.1
	7.5	1	7.5
計		157	238.8

### 一式当り数量

吹付法枠面積	= 319.2 m <sup>2</sup>
枠延長	= 449.7 m
枠用モルタル	= 40.5 m <sup>3</sup>
ラス張り	= 319.2 m <sup>2</sup>
養生基材吹付	= 184.3 m <sup>2</sup>
水切モルタル	= 1.39 m <sup>3</sup>
天端モルタル	= 1.95 m <sup>3</sup>
間詰モルタル	= 1.76 m <sup>3</sup>
目地材	= 2.42 m <sup>2</sup>

●は補強土工(鉄筋挿入)施工位置  
【2-1No.0~2-1No.6の区間】  
補強土工は、1.5m×1.5m間隔で配置すること。

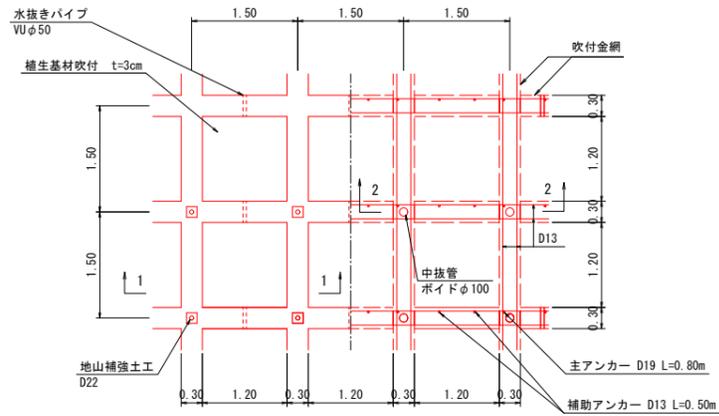
年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	鳥根県 出雲市 河下町 地内 報徳2ブロック (2-1測線)
図面名称	現場吹付法枠工構造図 (2)
縮尺 図示	
会社名	会社及び責任者
調査	調査責任者 調査員
設計	設計責任者 設計者
図面番号	37 - 18

## 現場吹付法枠工構造図 (2)

(□300-1500)

### 展開図

S=1: 50 (A1)  
S=1:100 (A3)

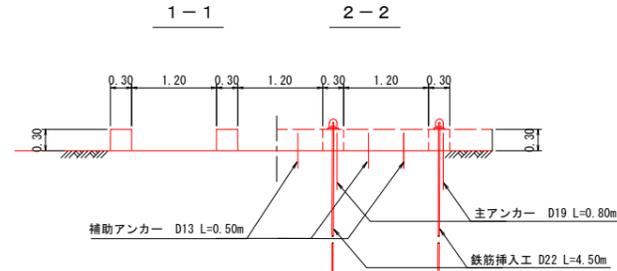


使用部材の強度及び材質

吹付モルタルの設計基準強度	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
鉄筋の材質	SD345

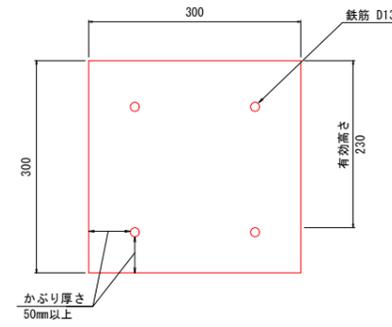
### 断面図

S=1: 50 (A1)  
S=1:100 (A3)



### 枠断面図

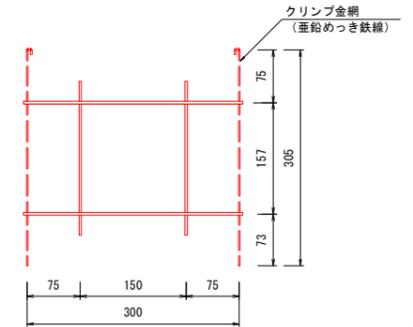
S=1: 5 (A1)  
S=1:10 (A3)



※F300-1500はD13の鉄筋を使用。  
※鉄筋の重ね継手長 F300-1500  $l_d=500mm$   
(計算の詳細については巻末資料の法枠工計算書参照)  
※鉄筋のかぶり厚さは50mm以上とすること  
(塩害地域区分C、対策区分Ⅲに対応)

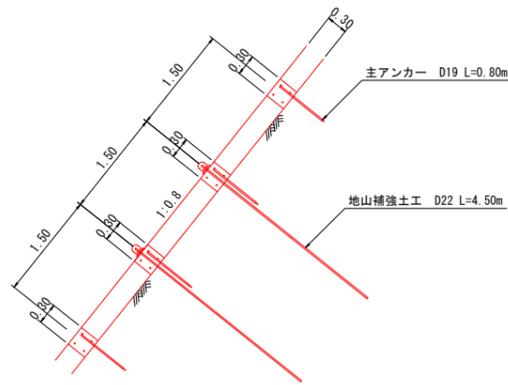
### 吹付金網組立図

S=1: 5 (A1)  
S=1:10 (A3)



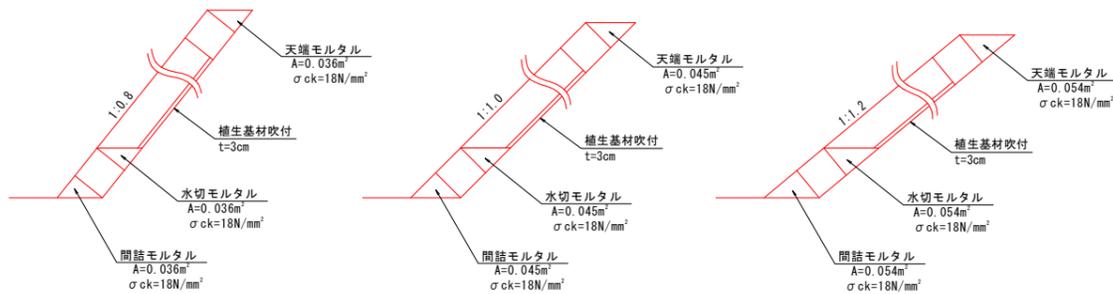
### 標準断面図

S=1: 50 (A1)  
S=1:100 (A3)



### 法枠端部詳細図

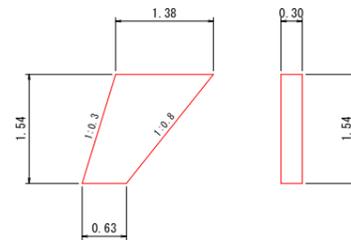
S=1:30 (A1)  
S=1:60 (A3)



### 端 止 工

S=1: 50 (A1)  
S=1:100 (A3)

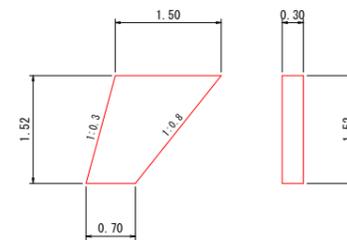
#### 1号 (2-1No. 1付近)



1号端止工数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.46
型 枠		m <sup>2</sup>	3.58

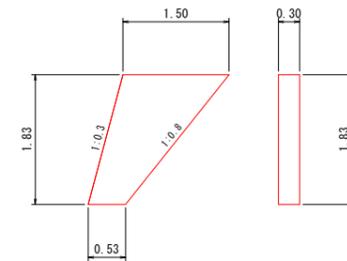
#### 2号 (2-1No. 3付近)



2号端止工数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.50
型 枠		m <sup>2</sup>	3.82

#### 3号 (2-1No. 6付近)



3号端止工数量表 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.56
型 枠		m <sup>2</sup>	4.29

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内 報徳2ブロック(2-2測線)
図面名称	現場吹付法枠工構造図(1)
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
調査	調査員 主任技師 技師
設計	設計者 主任技師 技師
図面番号	37 - 19

凡例
■ 免注
■ 計画

## 現場吹付法枠工構造図(1)

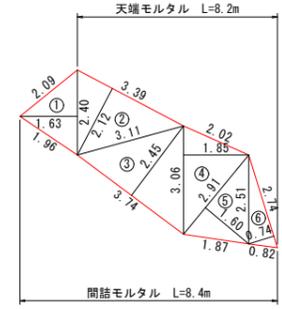
(□300-1500)

### 法枠工求積図

S=1:100 (A1)  
S=1:200 (A3)

記号	底辺	高さ	倍面積 m <sup>2</sup>
1	5.83	0.70	4.08
2	6.74	2.59	17.46
3	7.16	3.00	21.48
4	7.45	3.36	25.03
5	7.45	3.10	23.10
6	7.51	3.08	23.13
7	11.10	3.50	38.85
8	11.10	2.50	27.75
9	9.25	2.09	19.33
10	7.72	4.00	30.88
11	6.45	3.24	20.90
12	5.22	3.00	15.66
13	4.21	2.28	9.60
14	3.53	1.68	5.93
15	3.53	1.64	5.79
16	1.89	0.26	0.49
17	3.13	0.70	2.19
18	2.88	0.68	1.96
19	2.78	0.45	1.25
20	2.30	0.45	1.04
21	2.44	2.02	4.93
倍面積 m <sup>2</sup>			300.83
面積 m <sup>2</sup>			150.42

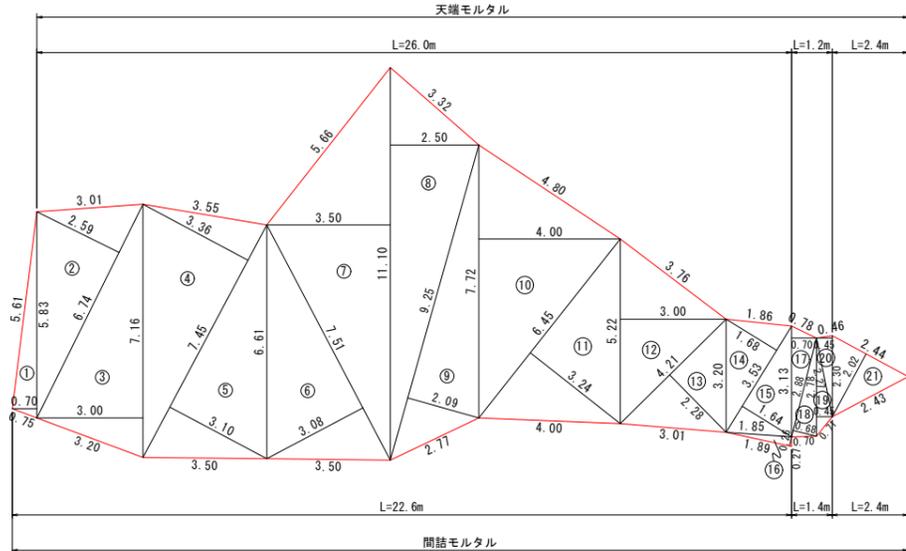
### 上段



記号	底辺	高さ	倍面積 m <sup>2</sup>
1	2.40	1.63	3.91
2	3.39	2.12	7.19
3	3.74	2.45	9.16
4	3.06	1.85	5.66
5	2.91	1.60	4.66
6	2.74	0.74	2.03
倍面積 m <sup>2</sup>			32.61
面積 m <sup>2</sup>			16.31

求積面積 = 150.42 + 16.31  
= 166.73

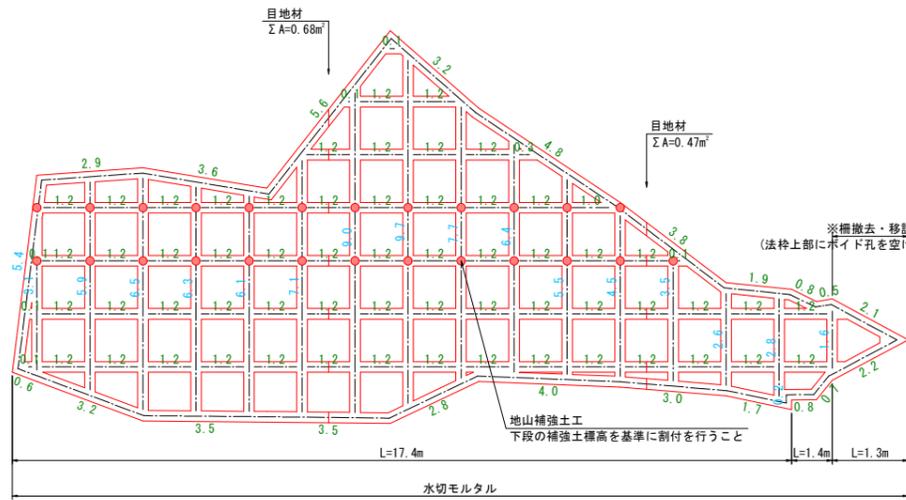
### 下段



### 法枠工展開図

S=1:100 (A1)  
S=1:200 (A3)

### 下段



### 上段



縦枠	枠長	本数	長さ
	1.7	1	1.7
	2.0	2	4.0
	2.4	2	4.8
計		5	10.5

横枠	枠長	本数	長さ
	0.1	1	0.1
	0.4	1	0.4
	0.6	2	1.2
	0.7	1	0.7
	1.2	4	4.8
	1.8	3	5.4
	2.0	1	2.0
	3.3	1	3.3
	3.7	1	3.7
計		15	21.6

縦枠	枠長	本数	長さ
	0.2	1	0.2
	1.6	1	1.6
	2.6	1	2.6
	2.8	1	2.8
	3.1	1	3.1
	3.5	1	3.5
	4.5	1	4.5
	5.4	1	5.4
	5.5	1	5.5
	5.9	1	5.9
	6.1	1	6.1
	6.3	1	6.3
	6.4	1	6.4
	6.5	1	6.5
	7.1	1	7.1
	7.7	1	7.7
	9.0	1	9.0
	9.7	1	9.7
計		18	93.9

横枠	枠長	本数	長さ
	0.1	6	0.6
	0.3	1	0.3
	0.5	1	0.5
	0.6	1	0.6
	0.7	1	0.7
	0.8	2	1.6
	1.0	1	1.0
	1.2	58	69.6
	1.7	1	1.7
	1.9	1	1.9
	2.1	1	2.1
	2.2	1	2.2
	2.8	1	2.8
	2.9	1	2.9
	3.0	1	3.0
	3.2	2	6.4
	3.5	2	7.0
	3.6	1	3.6
	3.8	1	3.8
	4.0	1	4.0
	4.8	1	4.8
	5.6	1	5.6
計		87	126.7

一式当り数量

吹付法枠面積	= 166.7 m <sup>2</sup>
枠延長	= 252.7 m
枠用モルタル	= 22.7 m <sup>3</sup>
ラス張り	= 363.8 m <sup>2</sup>
補生基材吹付	= 90.9 m <sup>2</sup>
水切モルタル	= 0.87 m <sup>3</sup>
天端モルタル	= 1.32 m <sup>3</sup>
間詰モルタル	= 1.21 m <sup>3</sup>
目地材	= 1.15 m <sup>2</sup>

●は補強土工(鉄筋挿入工)施工位置  
補強土工は、1.5m×1.5m間隔で配置すること。  
※ 2-2No.7付近から既設階段へ施工時に調整して摺り付けること。

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	現場吹付法枠工構造図(2)
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
調査	調査責任者 調査員
設計	設計責任者 設計員
図面番号	37 - 20

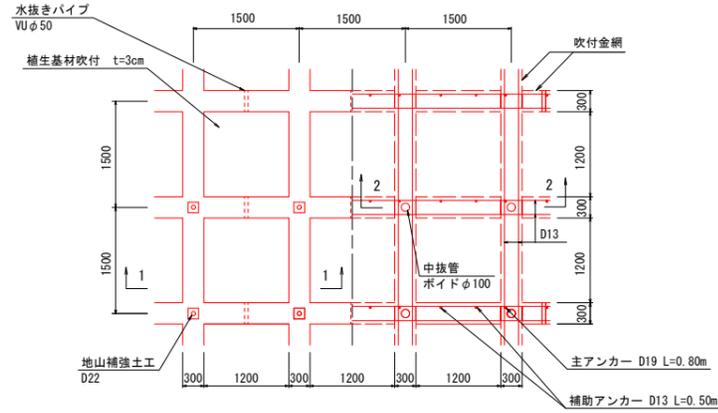
## 現場吹付法枠工構造図(2)

(□300-1500)

凡例
■ 発注
■ 計画

### 展開図

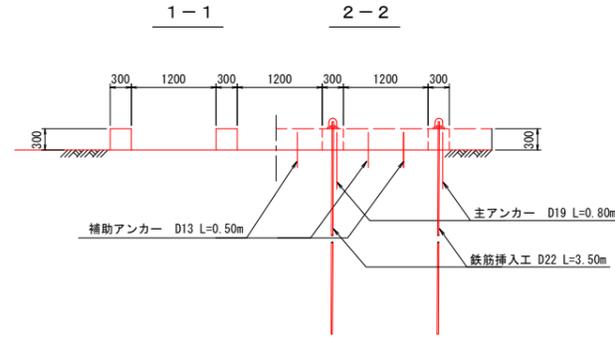
S=1:50(A1)  
S=1:100(A3)



使用部材の強度及び材質	
吹付モルタルの設計基準強度	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
鉄筋の材質	SD345

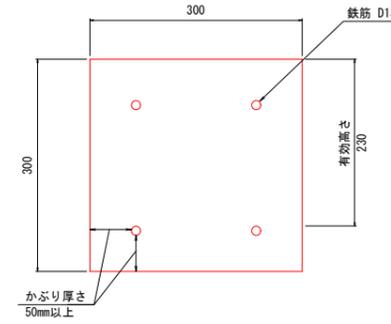
### 断面図

S=1:50(A1)  
S=1:100(A3)



### 枠断面図

S=1:5(A1)  
S=1:10(A3)



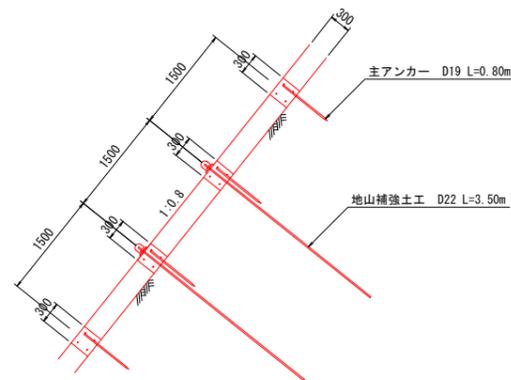
※F300-1500はD13の鉄筋を使用。

※鉄筋の重ね継手長  
F300-1500  $l_d=500mm$   
(計算の詳細については巻末資料の法枠工計算書参照)

※鉄筋のかぶり厚さは50mm以上とること  
(塩害地域区分C、対策区分Ⅲに対応)

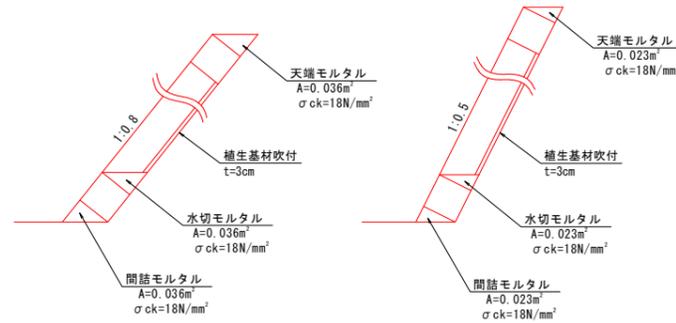
### 標準断面図

S=1:50(A1)  
S=1:100(A3)



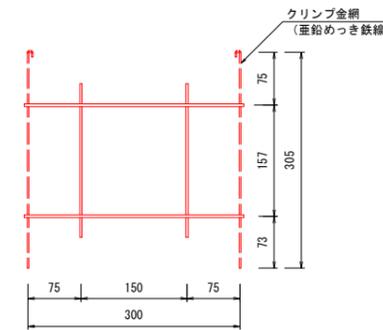
### 法枠端部詳細図

S=1:30(A1)  
S=1:60(A3)



### 吹付金網組立図

S=1:5(A1)  
S=1:10(A3)



年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	鳥取県 出雲市 河下町 地内 報徳2ブロック
図面名称	地山補強土工構造図
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
調査	調査責任者 調査責任者 調査責任者
設計	設計責任者 設計責任者 設計責任者
図面番号	37 - 21

# 地山補強土工構造図

S=1:2 (A1)  
S=1:4 (A3)

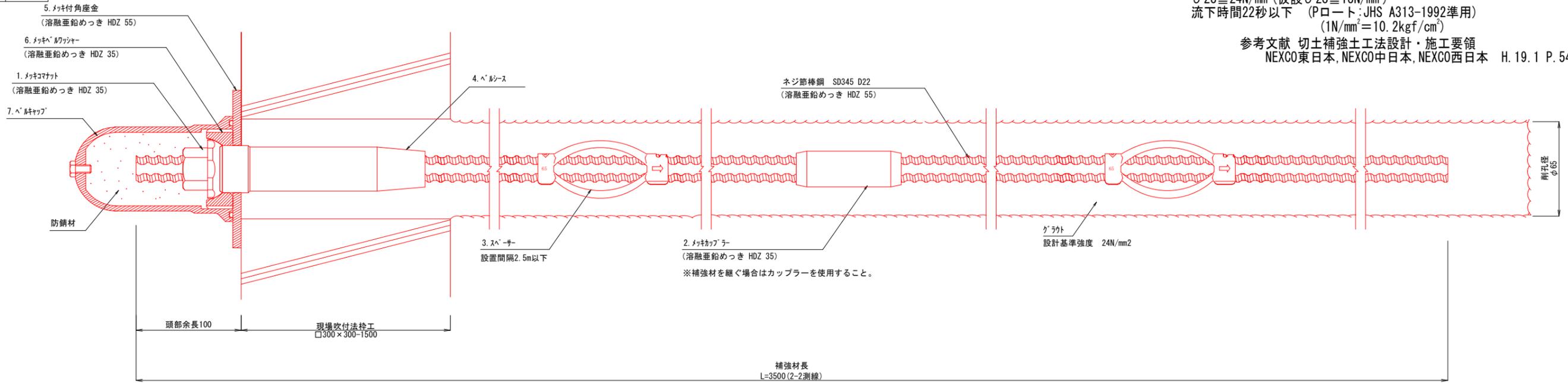
## 注入材の配合例

(重量比)	セメント	水	砂
セメントミルク	1 :	0.40 ~ 0.50	
モルタル	1 :	0.42 ~ 0.45	1

$\sigma_{28} \geq 24\text{N/mm}^2$  (仮設  $\sigma_{28} \geq 18\text{N/mm}^2$ )  
 流下時間22秒以下 (Pポート: JHS A313-1992準用)  
 ( $1\text{N/mm}^2 = 10.2\text{kgf/cm}^2$ )

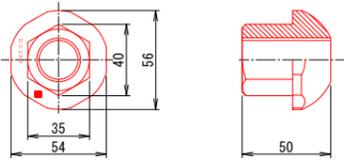
参考文献 切土補強土工法設計・施工要領  
 NEXCO東日本, NEXCO中日本, NEXCO西日本 H.19.1 P.54

### 鉄筋挿入工 ネジ筋棒鋼 SD345 D22 標準施工図

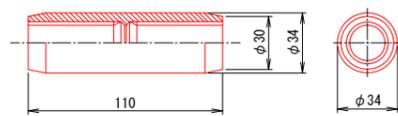


### 鉄筋挿入工 ネジ筋棒鋼 SD345 D22部品

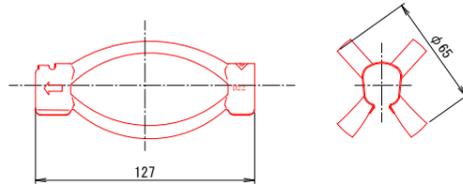
1. メッキコマナット D22NT  
(溶融亜鉛めっき HDZ 35)



2. メッキカップラー D22NT  
(溶融亜鉛めっき HDZ 35)



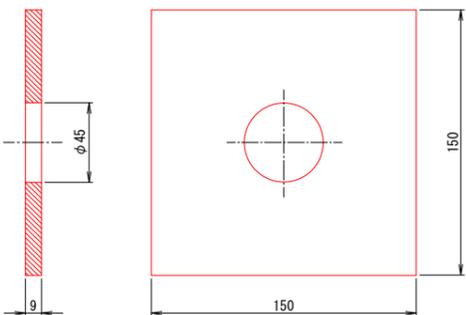
3. スペース D22-65 (電気めっき)



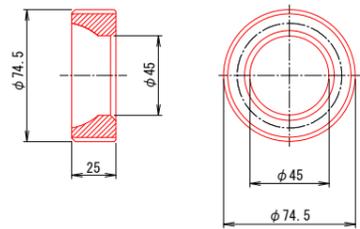
4. ベルシース



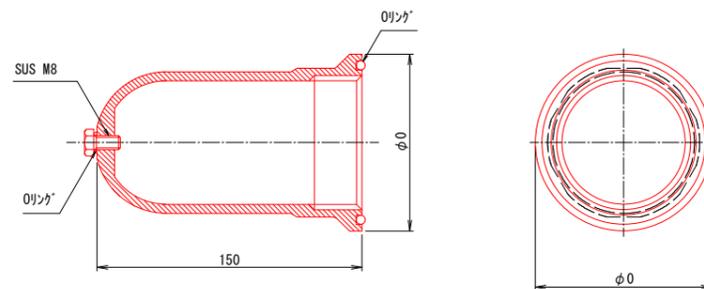
5. メッキ付角座金  
(溶融亜鉛めっき HDZ 55)



6. メッキベルワッシャー  
(溶融亜鉛めっき HDZ 35)



7. ベルキャップ

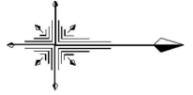


※ベルコート360g入り

### 数量表

(1箇所当り)

種別	仕様	単位	数量	備考
ネジ筋棒鋼	SD345 D22	m	4.5 (2-1測線)	溶融亜鉛めっき HDZ 55
			3.5 (2-2測線)	
メッキコマナット	D22NT	個	1	溶融亜鉛めっき HDZ 35
メッキカップラー	D22NT	個	1	溶融亜鉛めっき HDZ 35
スペース	D22-65	個	2	電気めっき 最大ピッチ2.5mで最低2箇所
ベルシース	φ45 × 200	個	1	
メッキ付角座金	150 × 150 × 9 (φ45)	枚	1	溶融亜鉛めっき HDZ 55
メッキベルワッシャー	φ74.5 × 25	個	1	溶融亜鉛めっき HDZ 35
ベルキャップ	φ100 × 150	個	1	ベルコート360g入り



S=1:300 (A1)  
S=1:600 (A3)

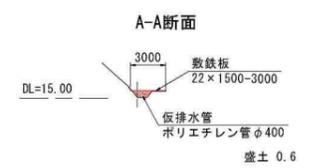
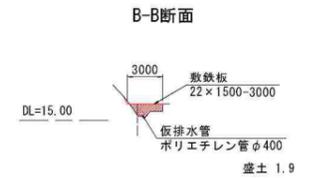
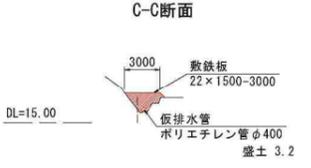
# 施工計画平面図

年度	令和5年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区)外
施工箇所	鳥根県 出雲市 河下町 地内 報徳2ブロック
図面名称	施工計画平面図 1:300 (A1) 縮尺 1:600 (A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査員 主任技術者 主任技術者
設計	設計者 主任技術者 主任技術者
図面番号	37-22

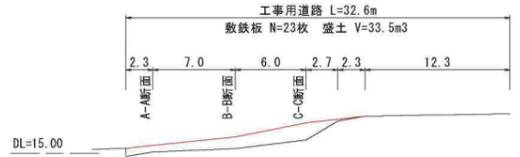
凡例	
<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	免注
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	計画

山腹面積 A=0.09ha

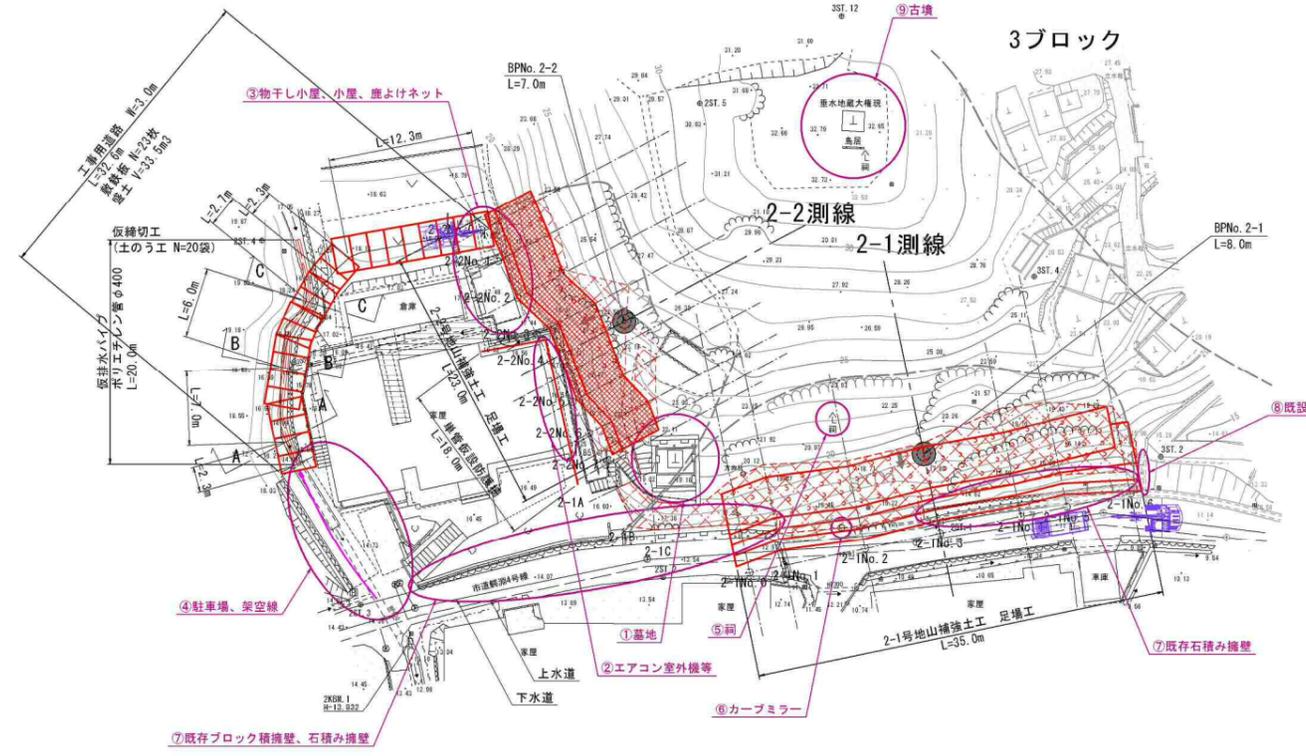
工事用道路横断面図(参考)



工事用道路縦断面図(参考)



※工事用道路横断面図、縦断面図はペーパーロケーション



- 【施工上の留意事項】**
- 民家への配慮
    - 施工時に発生する騒音・振動・粉塵等に留意し、必要に応じて対策を講じる。
    - 住民とのコミュニケーションをよくとり、トラブルが生じない様に注意する。
  - 道路の通行及び安全の確保
    - 市道鰐淵4号線を全面通行止めとするため、近隣住民への周知や関係機関との協議を行うこと。
    - 工事実施時は細心の注意を払って通行すること。
  - 安全の確保
    - 作業員と施工機械との接触防止措置等の安全対策を講じ、事故等がない様に安全な作業を行うこと。
  - 駐車場の確保
    - 人家の駐車スペースを確保する。
  - 斜面変状への注意
    - 斜面崩壊等に常に注意し、作業前・降雨後等には斜面の状況を点検すること。
  - 残土
    - 事前に残土処理場を確保しておくこと。
  - 埋設物への注意
    - 市道には水道管、下水道管が埋設されている。市道を掘削する場合は管理者と協議し、施工の際には埋設管の位置を確認し、破損しないように細心の注意を払うこと。

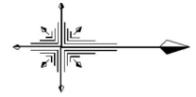
- 【地山補強工、現場吹付法砕工の留意事項】**
- 安全確保
    - 法面掘削時には、常に斜面状況に注意し、安全を確認しながら作業を行うこと。
    - 気象情報にも十分注意を払い、大雨の際には作業を中断し、再開時には安全を確認すること。
  - 施工時期
    - 切土を行うと、法面に軟質な土砂が露出するため、表層が浸食されやすくなる。また、地下水位が上昇すると斜面の安定性が悪化するため、施工時期としては降水期を避けて行うことが望ましい。
  - 逆巻施工、分割施工
    - 斜面全体を一度に掘削すると安全率が低下するため、逆巻施工、分割施工を行うこと。
  - 法面保護について
    - 切土工完了後は、速やかに現場吹付法砕工の施工を行うこと。法切後、現場吹付法砕工の施工に時間を要す場合や、法切中の降雨時にはシート保護等を行うこと。
  - 仮設足場
    - 地山補強工の仮設足場が家屋や軒に当たらないように注意して設置すること。
  - 中詰材について
    - 切土後の法面において土壌硬度および土壌酸度試験を実施し、吹付厚等を再検討すること。
  - 削孔水、グラウト材の管理について
    - 削孔水や、グラウト材が下方の民家へ流出しないように管理を徹底すること。
  - 仮設防護柵の構造
    - 現地状況を踏まえて、安全を確保できる構造となるよう、適宜変更・改良を行うこと。

- 【支障物件】**
- 基地、庭木等
    - 基地や庭木を破損しないように注意すること。残して欲しい庭木があるため特に注意すること。工事に支障となり伐採や一時の撤去が必要となる場合は、地権者と協議を行い承諾を得ること。
  - エアコン室外機等
    - エアコン室外機や家財が設置されている。工事施工の際は破損しないように注意すること。
  - 物干し小屋、小屋、鹿よけネット
    - 物干し小屋、小屋、鹿よけネットは撤去する。撤去・復旧について所有者に確認すること。
  - 駐車場、架空線
    - 工事用道路計画位置の入り口の駐車場の屋根を破損しないように注意すること。駐車場の上空には架空線があるため作業時は注意すること。
  - 祠
    - 2-1測線の施工範囲の直上に祠がある。細心の注意を払い、破損しないようにすること。
  - カーブミラー
    - 2-1測線の施工範囲内にカーブミラーがある。施工の際は撤去が必要となる。施工後の復旧位置等については所有者に確認すること。
  - 既存ブロック積擁壁、石積み擁壁
    - 既存のブロック積擁壁、石積み擁壁等がある。工事施工の際は細心の注意を払い、破損しないようにすること。
  - 既設水路
    - 2-1測線の施工範囲に隣接して既設水路がある。工事施工の際は細心の注意を払い、破損しないようにすること。
  - 古墳の存在
    - 2測線の尾根頂部には垂水地蔵大権現が存在する。当ブロックの土工は、主に斜面下部を対象となるが、周辺の掘削を行う場合には、出雲市役所文化財課等の関係機関との事前協議が必要となる。

※上水道管、下水道管の位置は既存資料、聞き取り調査より図示している。詳細な埋設位置は不明である。

凡例	
	誘導ブロック
	地すべり方向
	消通線・縮線
	押し出し
	魚鱗
	湧水
	調査ポイント
	解析測線

# 防止工法平面図



S=1:300 (A1)  
S=1:600 (A3)

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区) 外
事業所	鳥根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 防止工法平面図
縮尺	1:300 (A1) 縮尺 1:600 (A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査員 調査員
設計	設計者 設計者
図面番号	37 - 23

凡例	
■	免注
■	計画

第4-1号ボーリング暗渠工

孔番	掘進長	掘進方位 (磁北より)	孔口間隔	勾配	孔口標高
NO.1	12.0m	N 60.0° W	1.0m	+5°	14.00m
NO.2	12.0m	N 40.5° W	1.0m		
NO.3	12.0m	N 21.0° W	-		
NO.4	11.0m	N 54.5° W	-		
NO.5	16.0m	S 70.0° W	-		
NO.6	16.0m	S 84.5° W	1.0m		14.55m
NO.7	16.0m	N 80.5° W	1.0m		
NO.8	16.0m	N 66.0° W	1.0m		
NO.9	16.0m	N 51.5° W	1.0m		
NO.10	16.0m	N 37.0° W	1.0m		
NO.11	26.0m	N 71.5° W	-		
ΣL=169.0m					

第4-2号ボーリング暗渠工

孔番	掘進長	掘進方位 (磁北より)	孔口間隔	勾配	孔口標高
NO.1	17.0m	N 87.5° W	0.5m	+5°	21.30m
NO.2	19.0m	N 72.0° W	-		
NO.3	15.0m	S 49.0° W	1.0m		
NO.4	13.0m	S 67.5° W	1.0m		
NO.5	12.0m	S 88.0° W	0.8m		
NO.6	13.0m	S 58.5° W	-		
NO.7	13.0m	S 77.5° W	0.7m		
NO.8	26.0m	N 83.0° W	2.0m		
NO.9	26.0m	N 76.5° W	-		
NO.10	26.0m	N 80.0° W	-		
NO.11	10.0m	N 57.5° W	1.5m		
ΣL=190.0m					

第4-3号ボーリング暗渠工

孔番	掘進長	掘進方位 (磁北より)	孔口間隔	勾配	孔口標高
NO.1	20.0m	S 77.5° W	1.0m	+5°	24.50m
NO.2	20.0m	S 89.5° W	-		
NO.3	17.0m	N 86.0° W	-		
NO.4	7.0m	N 62.0° W	-		
ΣL=64.0m					

山腹面積 A=0.3ha

第4-1号法切工  
V=281.6m<sup>3</sup>  
植生マット工  
A=163.5m<sup>2</sup>

第4-1号排土工  
V=462.2m<sup>3</sup>  
植生マット工  
A=454.7m<sup>2</sup>  
転落防止柵(土中用)  
ΣL=15.0+13.0=28.0m

第4-1号ボーリング暗渠工  
L=11~26.0m×11孔  
ΣL=169.0m  
θ=+5°  
保護板 4箇所  
丸太筋工  
L=76.6m

階段 1箇所  
手すり L=6.4m

1号土留工  
H=2.0m、L=28.7m

第4-3号ボーリング暗渠工  
L=7.0~20.0m×4孔  
ΣL=64.0m  
θ=+5°  
孔口保護  
保護板 4箇所

第4-2号ボーリング暗渠工  
L=10~26.0m×11孔  
ΣL=190.0m  
θ=+5°  
孔口保護  
2号土留工  
H=2.3m、L=13.5m  
保護板 5箇所  
丸太筋工  
L=57.2m

簡易貫入試験  
KP. 4-4 L=0.58m

水路工  
BF300 L=98.1m  
明暗渠等 BF300、有孔管φ100 L=27.5m  
グレーチング蓋 ΣN=37+55+23=115枚  
ホリイレン管φ350 L=11.9m  
集水樹  
W5×5-D5型 7箇所  
固定コンクリート  
水路屈曲部 5箇所

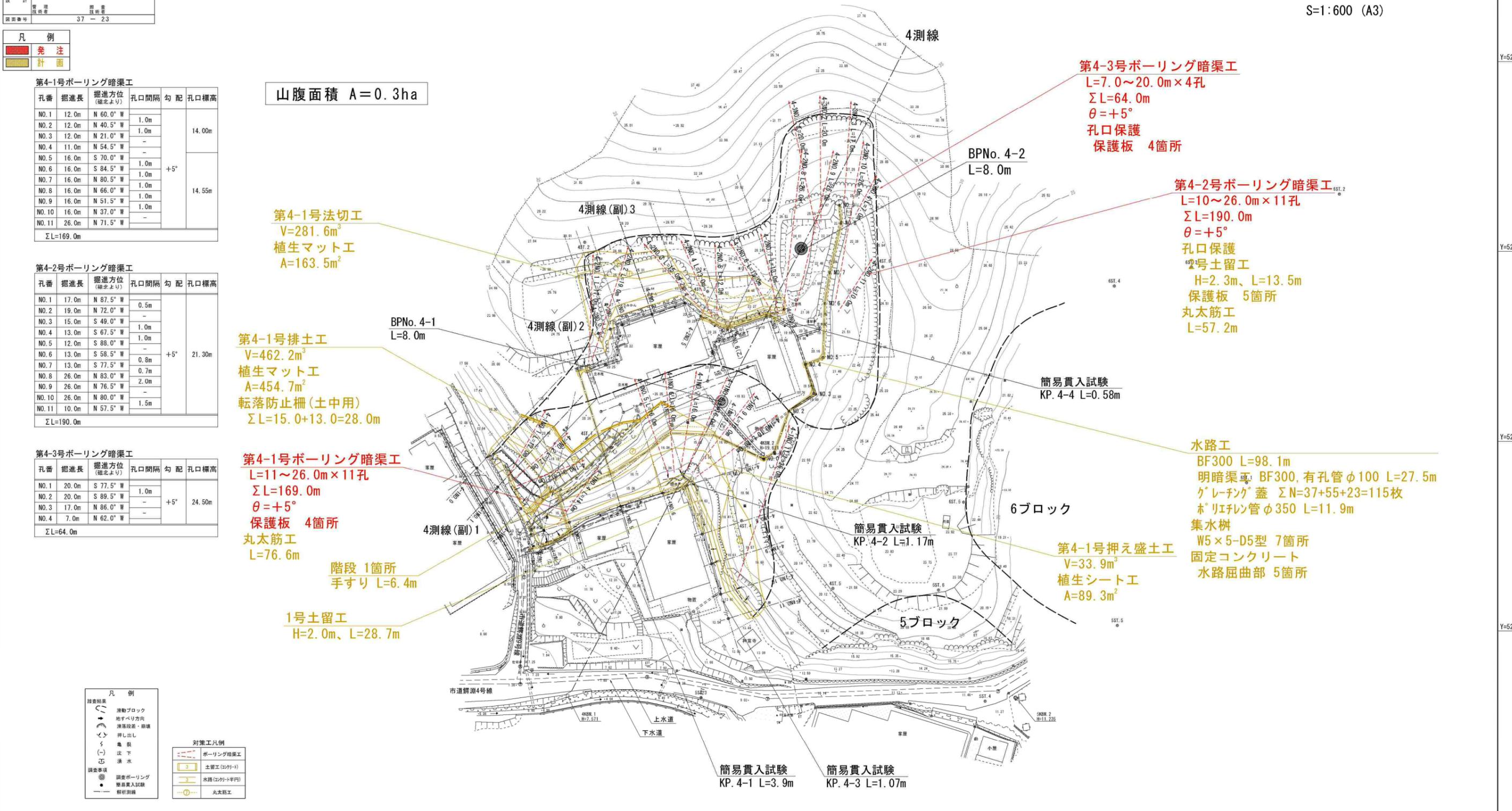
第4-1号押え盛土工  
V=33.9m<sup>3</sup>  
植生シート工  
A=89.3m<sup>2</sup>

簡易貫入試験  
KP. 4-1 L=3.9m

簡易貫入試験  
KP. 4-3 L=1.07m

※階段設置位置は、施工時に地権者と協議し決定すること。

※上水道管、下水道管の位置は既存資料、聞き取り調査より図示している。詳細な埋設位置は不明である。



凡例

○	調査結果
→	滑動ブロック
→	地すべり方向
→	滑降段差・崩壊
→	押し出し
→	亀裂
(-)	沈下
→	湧水
○	調査ボーリング
●	簡易貫入試験
—	観測測線

対策工凡例

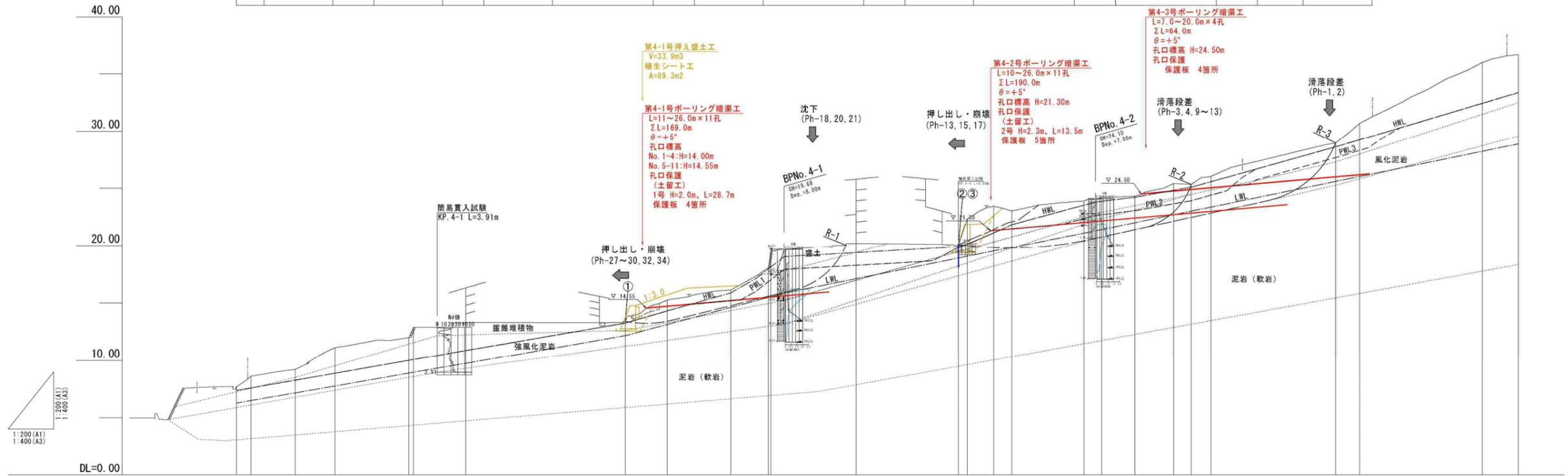
—	ボーリング暗渠工
—	土留工(コンクリート)
—	水路(コンクリート平円)
—	丸太筋工

年度	令和5年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 防止工法縦断面図
縮尺	1:200(A1) 1:400(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査員 設計者
設計	設計者 監理者
図面番号	37-24

# 防止工法縦断面図

4測線 安全率一覧表

円弧 No.	低水位		高水位		対策工事										計画 Fs	土質定数	
	LWL	Fs	HWL	Fs	PWL1	第4-1号 ホ-リング暗渠工	Fs	PWL2	第4-2号 ホ-リング暗渠工	Fs	PWL3	第4-3号 ホ-リング暗渠工	Fs	第4-1号 押え盛土工			Fs
R-1	BPN0.4-1 GL-3.82m	1.38	BPN0.4-1 GL-0.65m	1.00	BPN0.4-1 GL-1.75m	第4-1号ホ-リング暗渠工 L=11~26.0m×11孔 ΣL=169.0m θ=+5° 孔口保護 (土留工) 1号 H=2.0m, L=28.7m 保護板 4箇所	1.16	BPN0.4-1 GL-1.75m	第4-2号ホ-リング暗渠工 L=10~26.0m×11孔 ΣL=190.0m θ=+5° 孔口保護 (土留工) 2号 H=2.3m, L=13.5m 保護板 5箇所	1.41	BPN0.4-1 GL-1.75m	第4-3号ホ-リング暗渠工 L=7.0~20.0m×4孔 ΣL=64.0m θ=+5° 孔口保護 保護板 4箇所	-	第4-1号 押え盛土工 V=33.9m <sup>3</sup> 植生マット工 A=89.3m <sup>2</sup>	1.21	1.20	γt=18.00 kN/m <sup>3</sup> γsat=18.00 kN/m <sup>3</sup> C=5.00 kN/m <sup>2</sup> φ=15.00°
R-2	BPN0.4-2 GL-2.80m	1.72	BPN0.4-2 GL-0.29m	1.17	BPN0.4-2 GL-0.29m		1.17	BPN0.4-2 GL-1.46m		1.41	BPN0.4-2 GL-1.46m		-		1.17		
R-3		1.49		1.00			1.00			1.15			1.21		1.00		



※解析は危険側となる斜面谷部の地形を投影して行う。

測点	No.	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	26.0
水平距離	≡	0.00	1.24	3.89	3.45	6.45	0.42	4.58	13.92	3.68	5.55	3.27	0.23	7.46	8.93	0.79	2.30	1.57	6.32	1.55	2.90	3.40	1.52	1.73	10.88	2.12	10.71	3.14
追加水平距離	≡	0.00	1.24	5.13	8.58	15.03	15.45	20.03	33.95	37.63	43.18	46.45	46.68	54.14	63.07	63.86	66.16	67.73	74.05	75.60	78.50	81.90	83.42	85.15	96.03	98.15	108.86	112.00
地盤高	≡	7.73	8.63	9.22	11.15	12.01	12.90	13.32	13.42	15.27	16.14	18.06	19.56	20.19	20.09	22.37	23.45	23.04	23.91	24.23	24.33	25.42	25.35	26.05	28.97	30.70	36.00	36.66
計画高	≡																											
山腹勾配	%																											

凡例
発注
計画

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 防止工法縦断面図(副測線)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査者
設計	設計者
図面番号	37 - 25

凡例
免注
計画

## 防止工法縦断面図 副測線

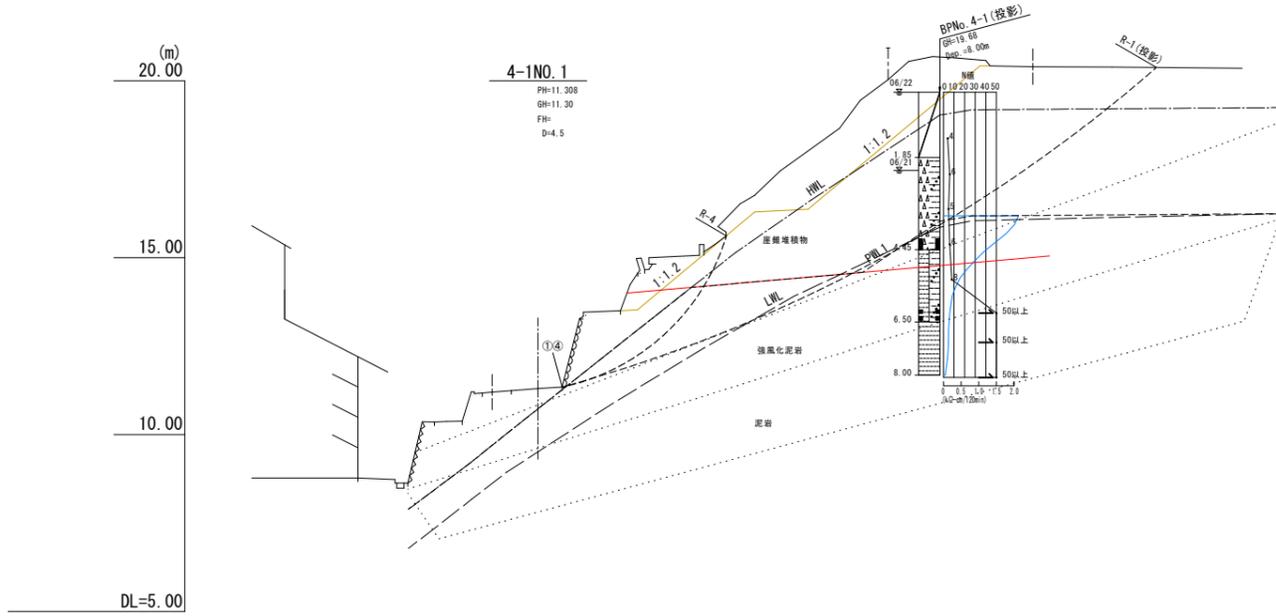
4測線(副)1 安全率一覧表

円弧 No.	低水位		高水位		対策工事				計画 Fs	土質定数	
	LWL	Fs	HWL	Fs	PWL1	4-1号ホ-リング暗渠工	Fs	4-1号排土工			Fs
R-1	BPNo. 4-1 GL-3.82m	1.20	BPNo. 4-1 GL-0.65m	1.00	BPNo. 4-1 GL-3.65m	4-1号ホ-リング暗渠工 L=11~26.0m×11孔 ΣL=169.0m θ=+5° 孔口保護(土留工) 1号 H=2.0m、L=28.7m 保護板 4箇所	1.16	排土工 V=462.2m <sup>3</sup> 植生マット工 A=454.7m <sup>2</sup> 丸太防工 L=76.6m	1.31	1.20	γt=18.00 kN/m <sup>3</sup> γsat=18.00 kN/m <sup>3</sup> C=15.18 kN/m <sup>2</sup> φ=15.00°
R-4		1.09		1.00						1.20	γt=18.00 kN/m <sup>3</sup> γsat=18.00 kN/m <sup>3</sup> C=8.28 kN/m <sup>2</sup> φ=15.00°

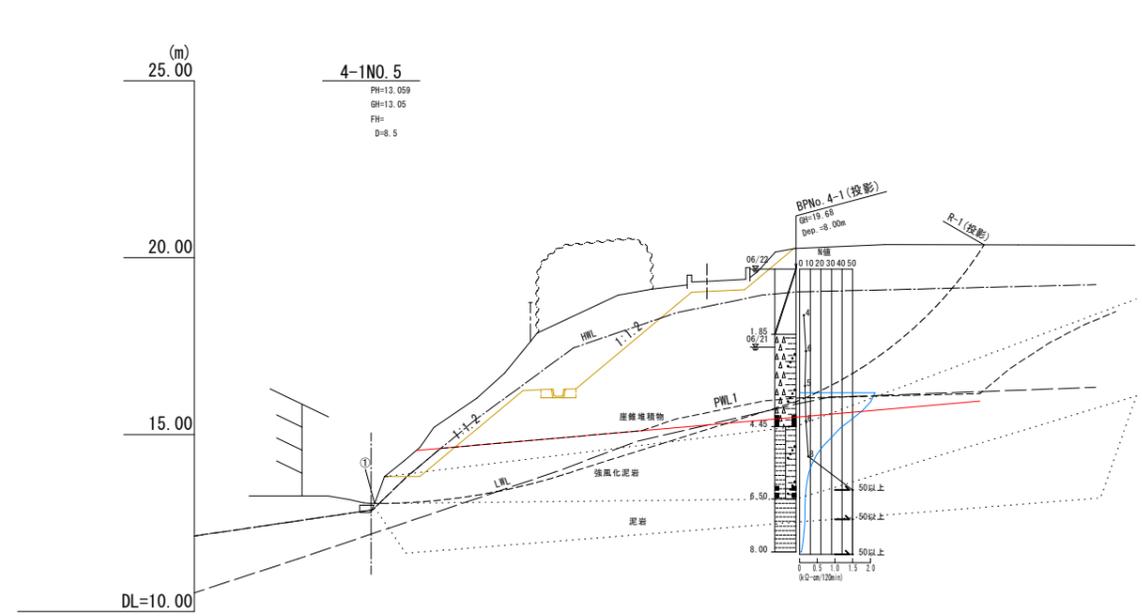
4測線(副)2 安全率一覧表

円弧 No.	低水位		高水位		対策工事				計画 Fs	土質定数	
	LWL	Fs	HWL	Fs	PWL1	4-1号ホ-リング暗渠工	Fs	4-1号排土工			Fs
R-1	BPNo. 4-1 GL-3.82m	1.34	BPNo. 4-1 GL-0.65m	1.00	BPNo. 4-1 GL-3.65m	4-1号ホ-リング暗渠工 L=11~26.0m×11孔 ΣL=169.0m θ=+5°	1.27	排土工 V=462.2m <sup>3</sup> 植生マット工 A=454.7m <sup>2</sup> 丸太防工 L=76.6m	1.30	1.20	γt=18.00 kN/m <sup>3</sup> γsat=18.00 kN/m <sup>3</sup> C=10.57 kN/m <sup>2</sup> φ=15.00°

4測線(副)1



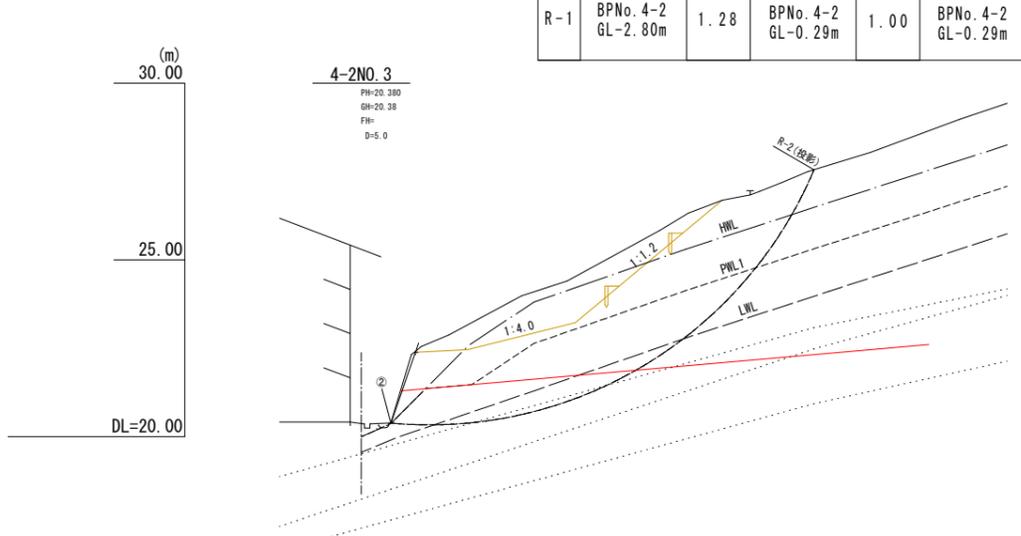
4測線(副)2



4測線(副)3 安全率一覧表

円弧 No.	低水位		高水位		対策工事				計画 Fs	土質定数	
	LWL	Fs	HWL	Fs	PWL1	4-2号ホ-リング暗渠工	Fs	4-1号法切工			Fs
R-1	BPNo. 4-2 GL-2.80m	1.28	BPNo. 4-2 GL-0.29m	1.00	BPNo. 4-2 GL-0.29m	4-2号ホ-リング暗渠工 L=10~26.0m×11孔 ΣL=190.0m θ=+5°	1.14	法切工 V=281.6m <sup>3</sup> 植生マット工 A=163.5m <sup>2</sup> 丸太防工 L=57.2m	1.22	1.20	γt=18.00 kN/m <sup>3</sup> γsat=18.00 kN/m <sup>3</sup> C=11.65 kN/m <sup>2</sup> φ=15.00°

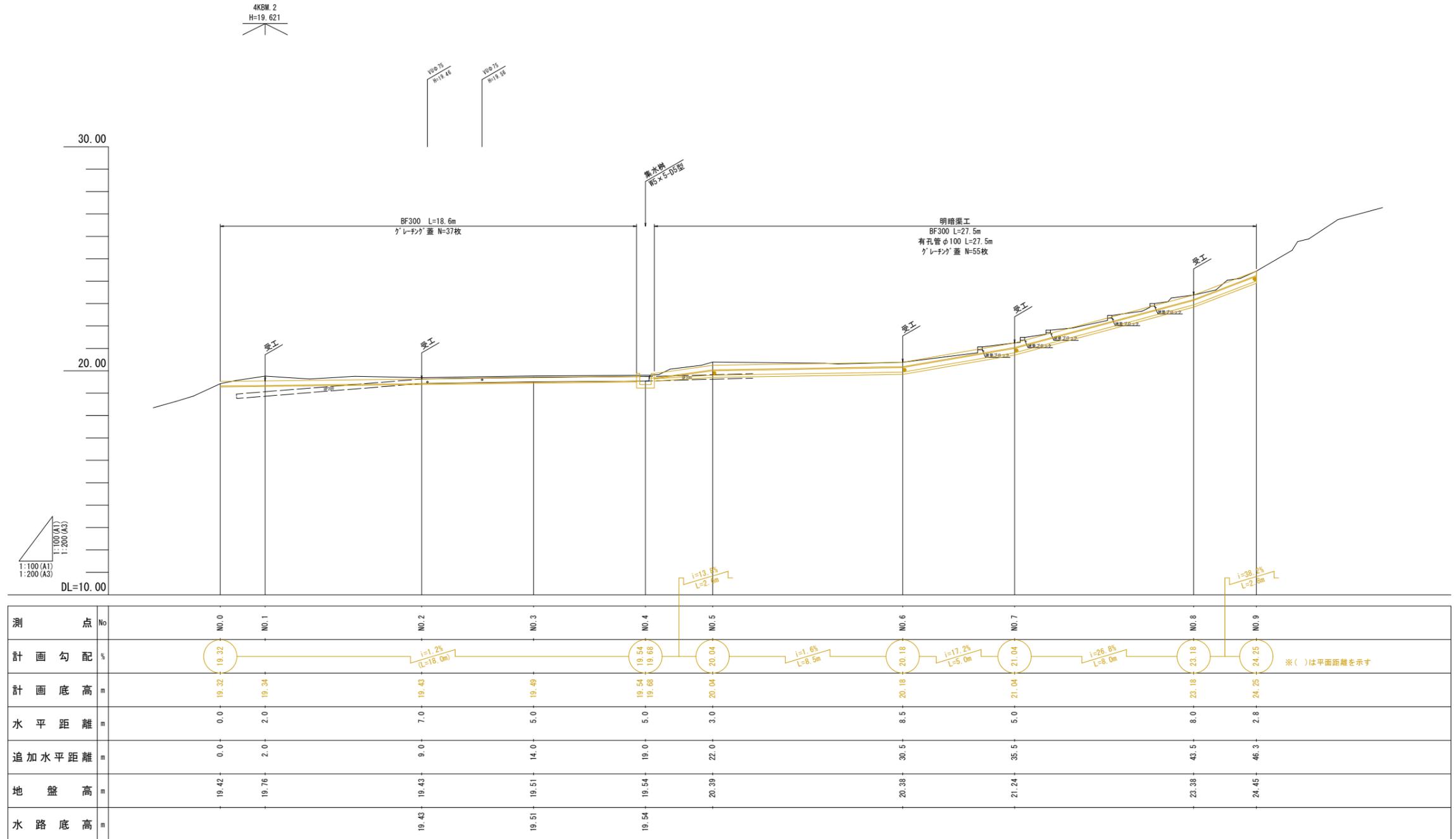
4測線(副)3



年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区) 外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 水路工縦断面図
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査者
設計	設計者
図面番号	37 - 26

## 水路工縦断面図 4 測線

凡例
発注
計画

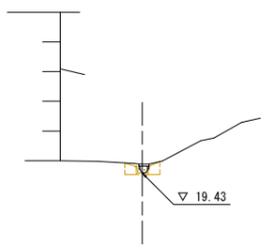


年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜裏4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 水路工横断面図
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
測量	測量者
調査	調査者
設計	設計者
図面番号	37 - 27

凡例
発注
計画

NO. 2

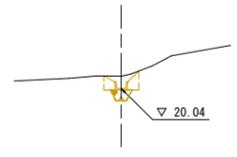
PH=19.433  
GH=19.43  
FH=19.43  
D=7.0



DL=15.00

NO. 5

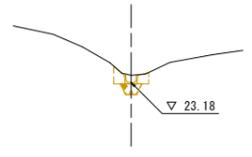
PH=20.565  
GH=20.39  
FH=20.39  
D=3.0



DL=15.00

NO. 8

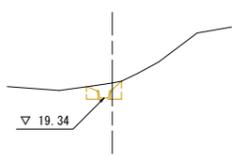
PH=23.386  
GH=23.38  
FH=23.38  
D=6.0



DL=15.00

NO. 1

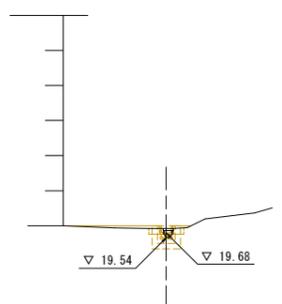
PH=19.956  
GH=19.76  
FH=19.76  
D=2.0



DL=15.00

NO. 4

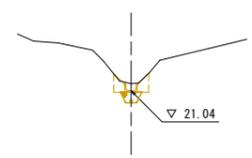
PH=19.723  
GH=19.54  
FH=19.54  
D=5.0



DL=15.00

NO. 7

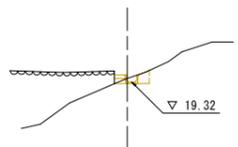
PH=21.241  
GH=21.24  
FH=21.24  
D=5.0



DL=15.00

NO. 0

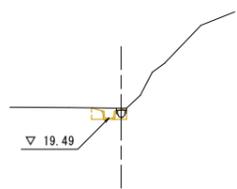
PH=19.624  
GH=19.42  
FH=19.42  
D=0.0



DL=15.00

NO. 3

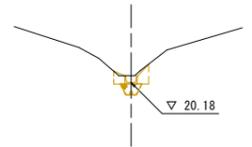
PH=19.705  
GH=19.51  
FH=19.51  
D=5.0



DL=15.00

NO. 6

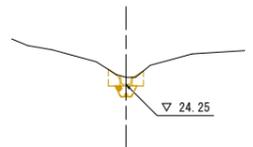
PH=20.380  
GH=20.38  
FH=20.38  
D=8.5



DL=15.00

NO. 9

PH=24.459  
GH=24.45  
FH=24.45  
D=2.8



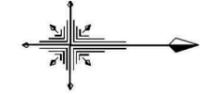
DL=20.00

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区)外
施工箇所	鳥根県 出雲市 河下町 地内 報徳4ブロック
図面名称	水路縦断平面図 1:200 (A1) 縮尺 1:400 (A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査員 調査員 調査員
設計	設計者 設計者 設計者
図面番号	37 - 28

凡 例	
<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	免 注
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	計 画

山腹面積 A=0.3ha

### 水路縦断平面図



S=1:200 (A1)  
S=1:400 (A3)



凡 例	
	滑動ブロック
	地すべり方向
	滑降段差・崩壊
	押し出し
	亀裂
	沈下
	湧水
	調査事項
	調査ボーリング
	調査実入試験
	観測測線

対策工凡例	
	ボーリング増築工
	土工(コンクリート)
	水路(コンクリート平円)
	杭基礎工

SST. 4

SST. 5

6ブロック

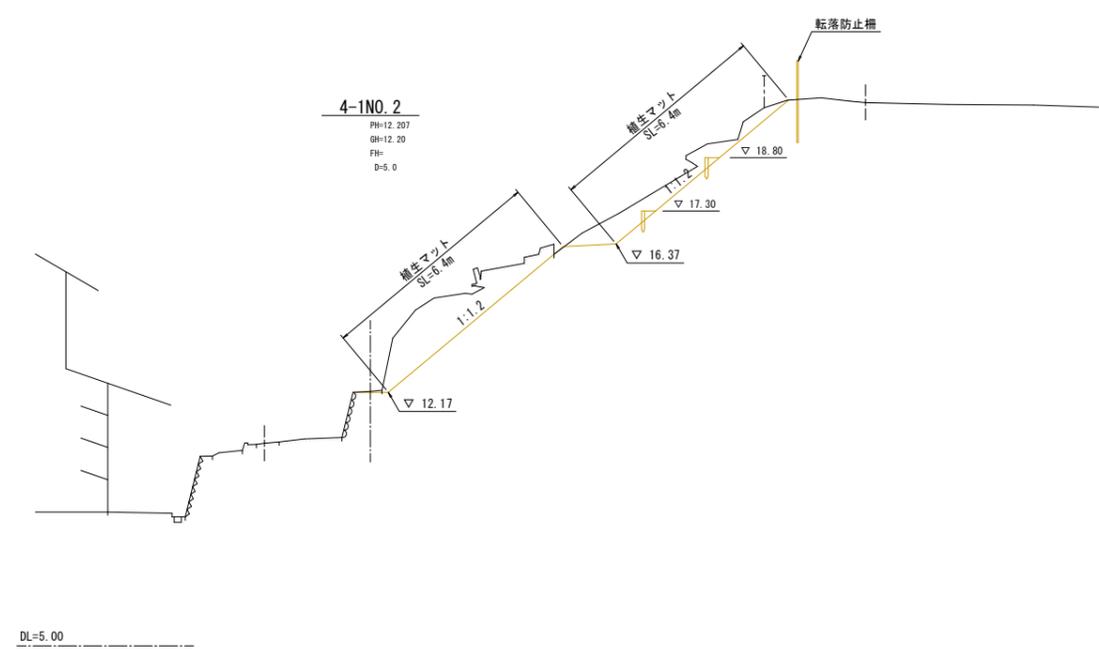
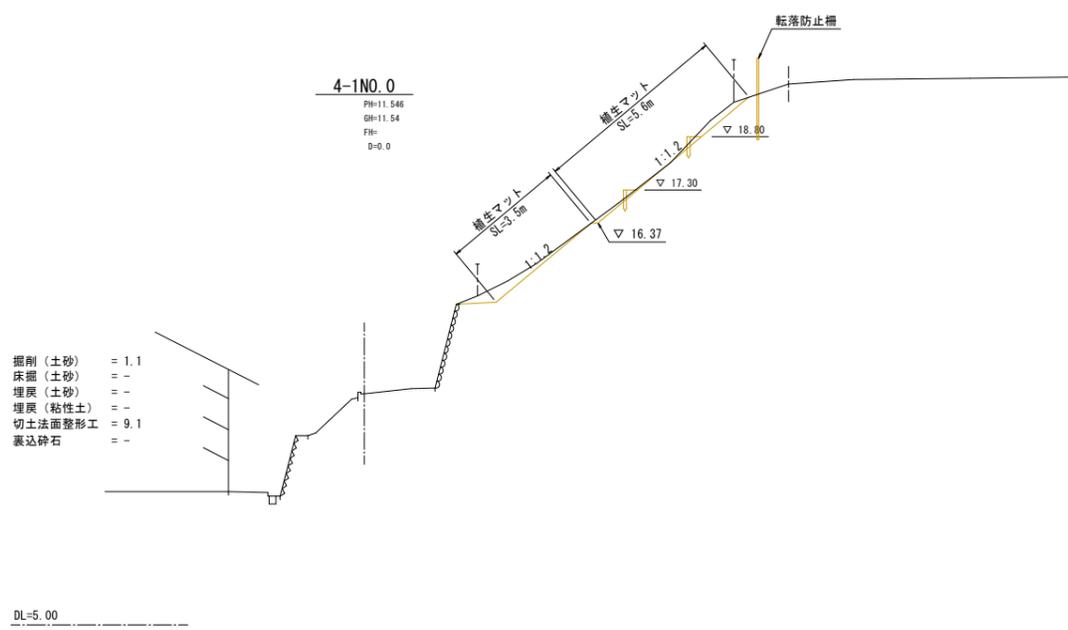
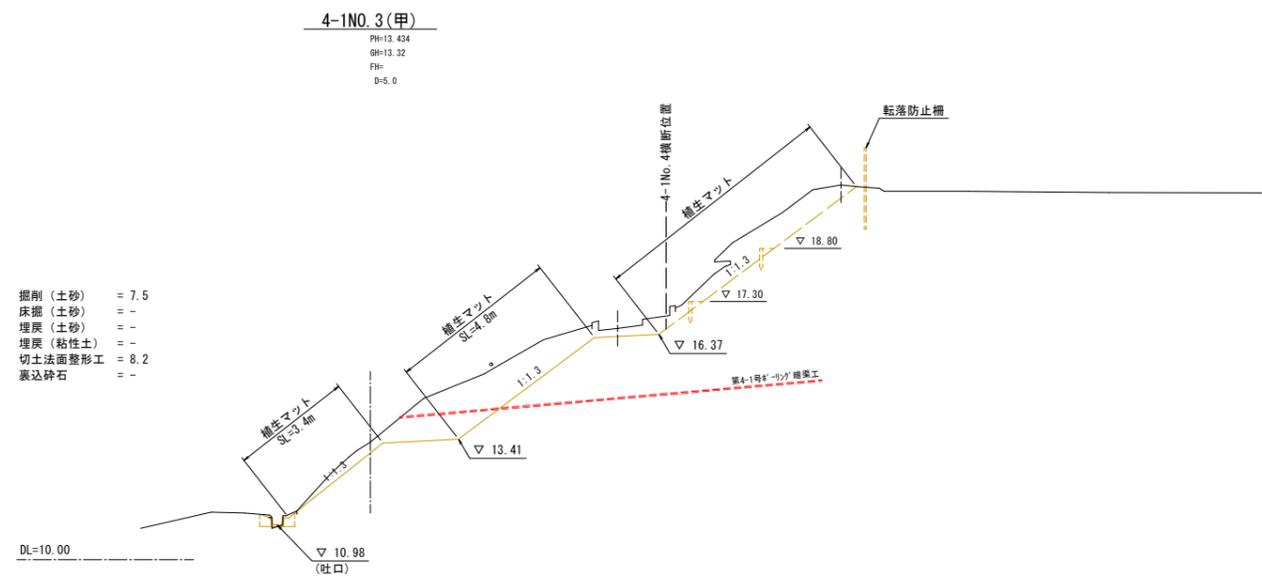
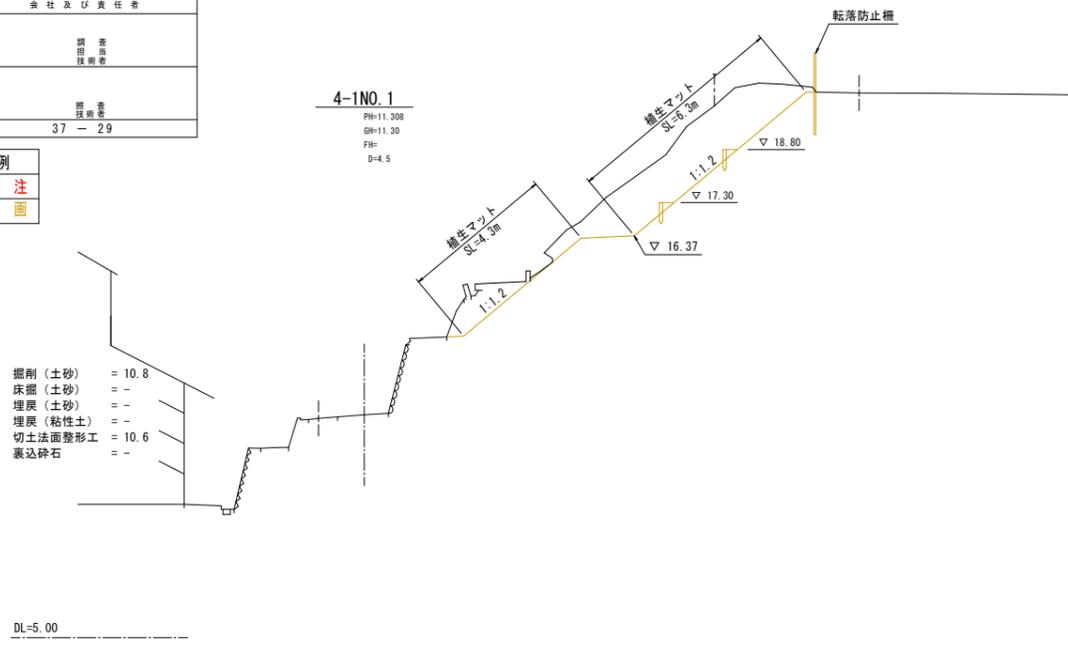
5ブロック

4898 1

5498 2

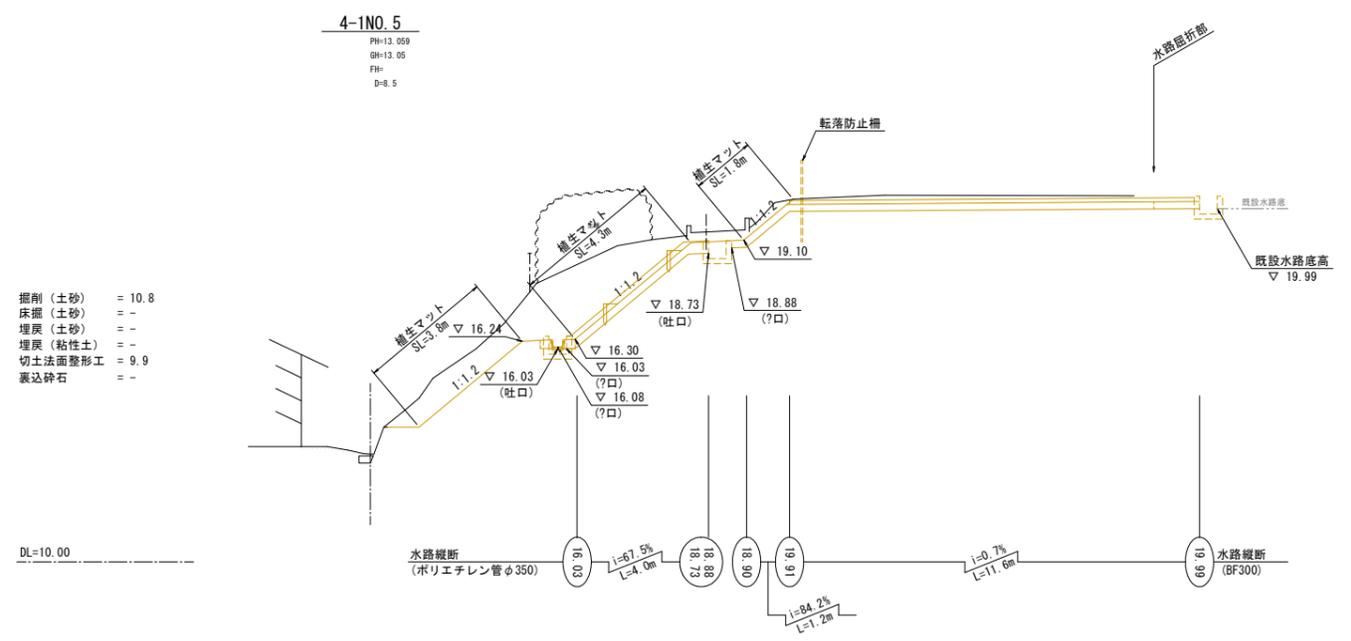
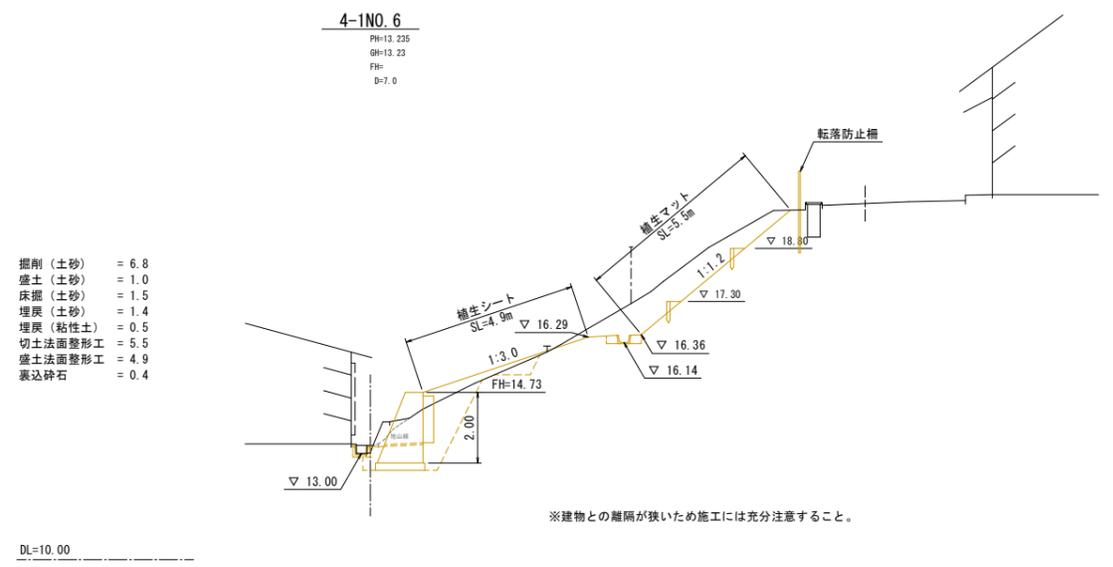
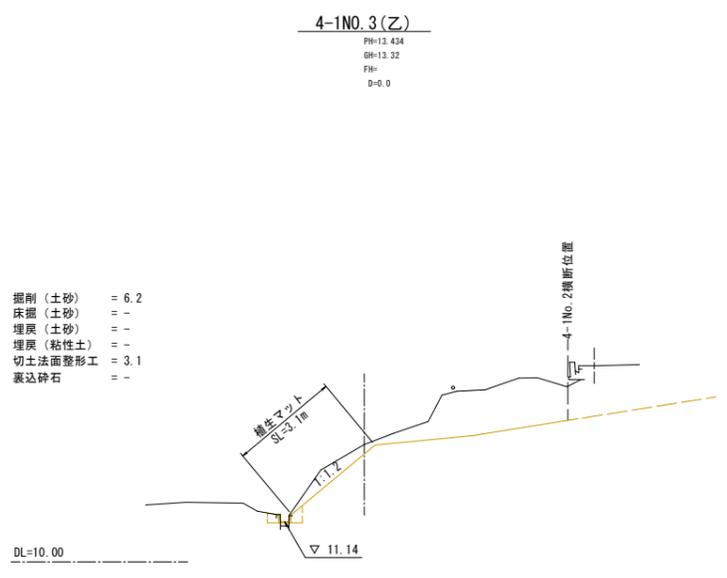
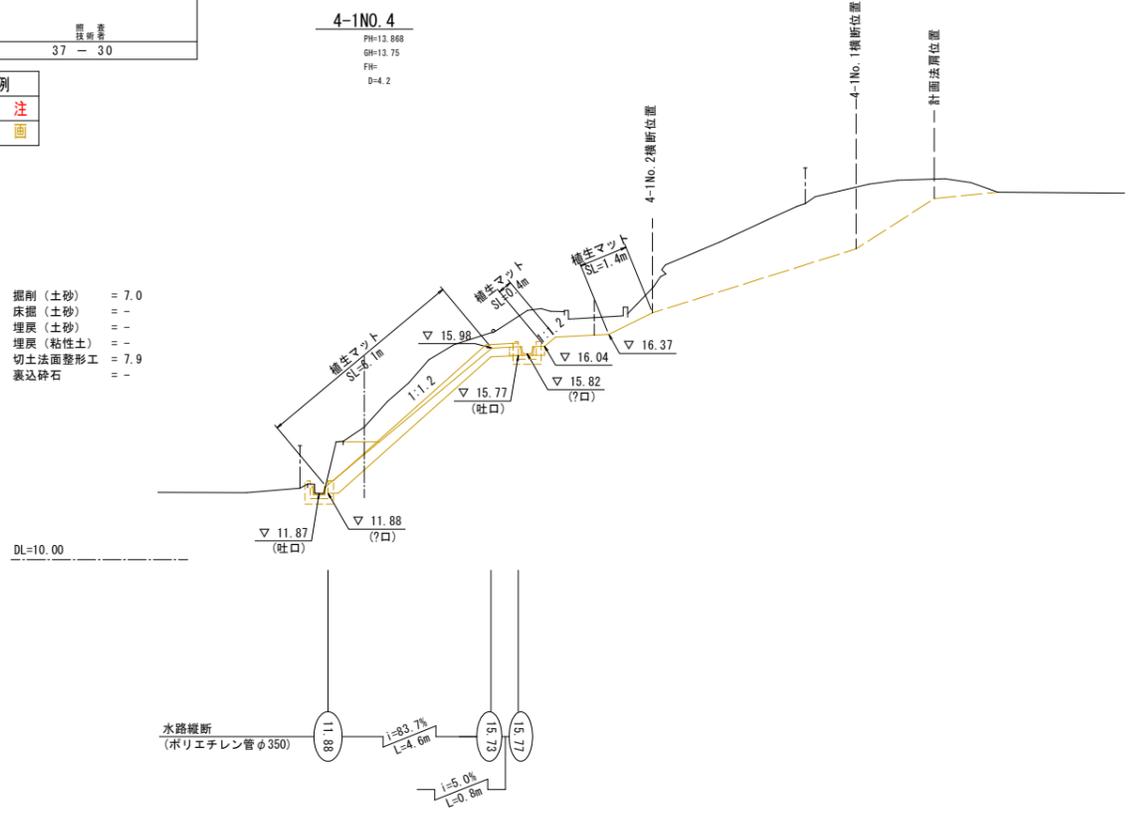
年度	令和5年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 1号土留工横断面図(1)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
測量	測量者
設計	設計者
図面番号	37-29

凡例
発注
計画



年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 1号土留工横断面図(2)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査者 設計者
設計	設計者 監理者
図面番号	37 - 30

凡例
発注
計画

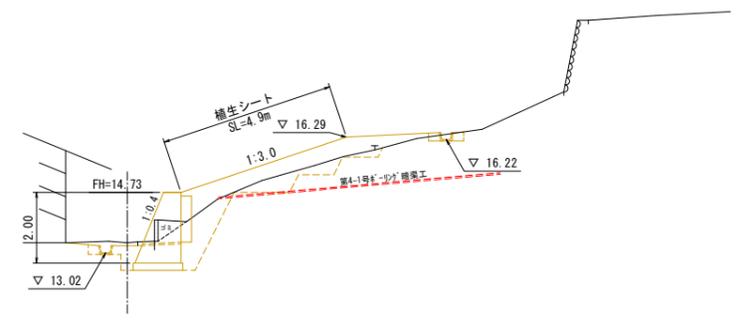


年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 1号土留工横断面図(3)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査責任者 調査技術者
設計	設計責任者 設計技術者
図面番号	37 - 31

凡例
発注
計画

- 掘削(土砂) = 2.9
- 盛土(土砂) = 4.1
- 床掘(土砂) = 1.8
- 埋戻(土砂) = 1.3
- 埋戻(粘性土) = 0.5
- 切土法面整形工 = -
- 盛土法面整形工 = 4.9
- 裏込碎石 = 0.4

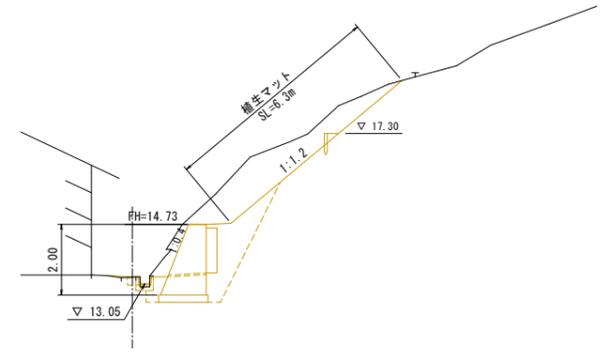
4-1NO.7(乙)  
PH=13.312  
GH=13.31  
FH=14.73  
D=0.0



DL=10.00

4-1NO.8  
PH=13.252  
GH=13.23  
FH=14.73  
D=8.0

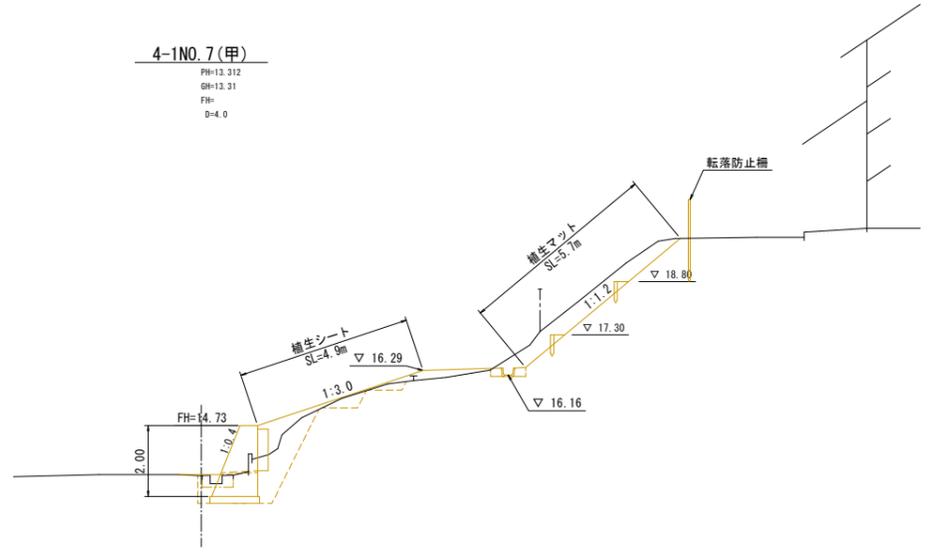
- 掘削(土砂) = 8.6
- 盛土(土砂) = -
- 床掘(土砂) = 1.6
- 埋戻(土砂) = 2.2
- 埋戻(粘性土) = 0.5
- 切土法面整形工 = 6.3
- 盛土法面整形工 = -
- 裏込碎石 = 0.4



DL=10.00

4-1NO.7(甲)  
PH=13.312  
GH=13.31  
FH=14.73  
D=4.0

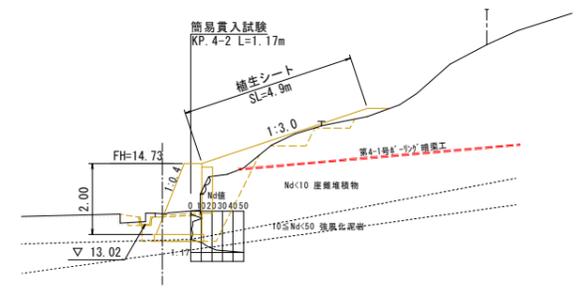
- 掘削(土砂) = 4.4
- 盛土(土砂) = 1.6
- 床掘(土砂) = 1.6
- 埋戻(土砂) = 1.4
- 埋戻(粘性土) = 0.6
- 切土法面整形工 = 5.7
- 盛土法面整形工 = 4.9
- 裏込碎石 = 0.4



DL=10.00

4-1NO.7(丙)  
PH=13.312  
GH=13.31  
FH=14.73  
D=0.0

- 掘削(土砂) = 2.0
- 盛土(土砂) = 1.5
- 床掘(土砂) = 1.6
- 埋戻(土砂) = 1.4
- 埋戻(粘性土) = 0.5
- 切土法面整形工 = -
- 盛土法面整形工 = 4.9
- 裏込碎石 = 0.4

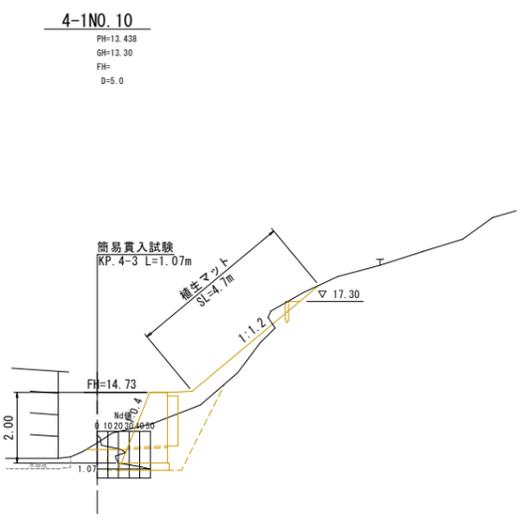


DL=10.00

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜裏4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 1号土留工横断面図(4)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
測量	測量士 測量士補 測量技師
設計	設計士 設計技師
図面番号	37 - 32

凡例
発注
計画

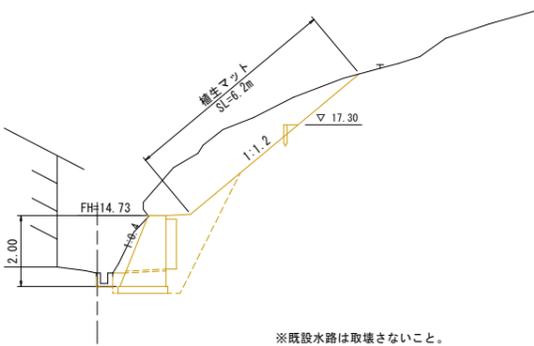
- 掘削(土砂) = 2.7
- 盛土(土砂) = -
- 床掘(土砂) = 1.3
- 埋戻(土砂) = 2.4
- 埋戻(粘性土) = 0.4
- 切土法面整形工 = 4.7
- 盛土法面整形工 = -
- 裏込砕石 = 0.4



DL=10.00

4-1NO.9  
PH=13.118  
GH=13.111  
FH= -  
D=5.0

- 掘削(土砂) = 10.2
- 盛土(土砂) = -
- 床掘(土砂) = 1.2
- 埋戻(土砂) = 1.9
- 埋戻(粘性土) = 0.4
- 切土法面整形工 = 6.2
- 盛土法面整形工 = -
- 裏込砕石 = 0.4

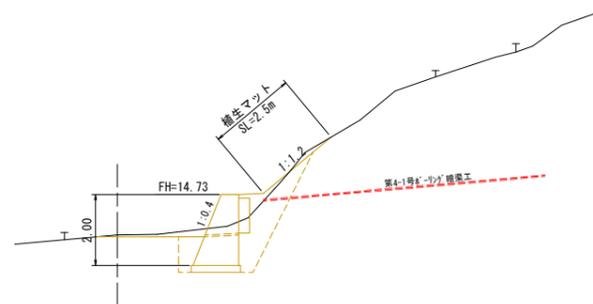


※既設水路は取壊さないこと。  
施工時に破損した場合は補修又は新設する事。

DL=10.00

4-1NO.11  
PH=13.764  
GH=13.59  
FH= -  
D=4.0

- 掘削(土砂) = 2.2
- 盛土(土砂) = -
- 床掘(土砂) = 2.4
- 埋戻(土砂) = 2.1
- 埋戻(粘性土) = 0.7
- 切土法面整形工 = 2.5
- 盛土法面整形工 = -
- 裏込砕石 = 0.3

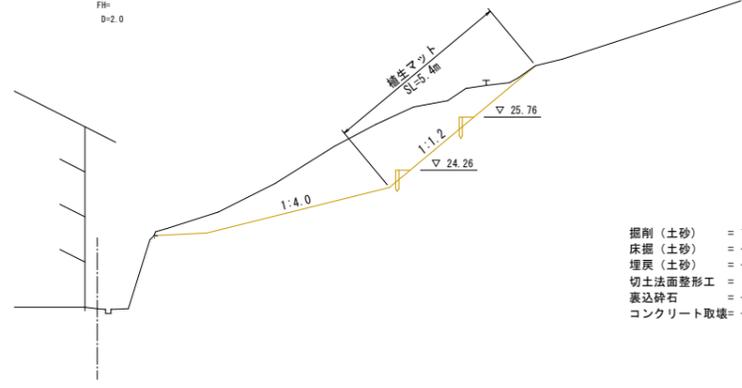


DL=10.00

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	鳥根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 2号土留工横断面図(1)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査者
設計	設計者
図面番号	37 - 33

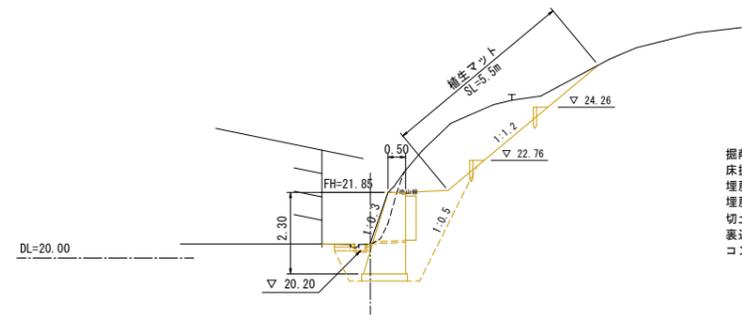
凡例
発注
計画

4-2NO.2  
PH=20.351  
GH=20.35  
FH= -  
D=2.0



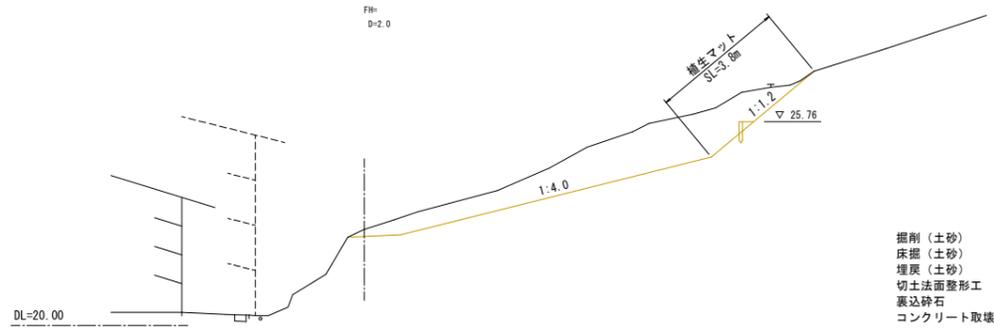
- 掘削(土砂) = 10.4
- 床掘(土砂) = -
- 埋戻(土砂) = -
- 切土法面整形工 = 5.4
- 裏込砕石 = -
- コンクリート取壊 = -

4-2NO.5  
PH=20.405  
GH=20.40  
FH= -  
D=3.359



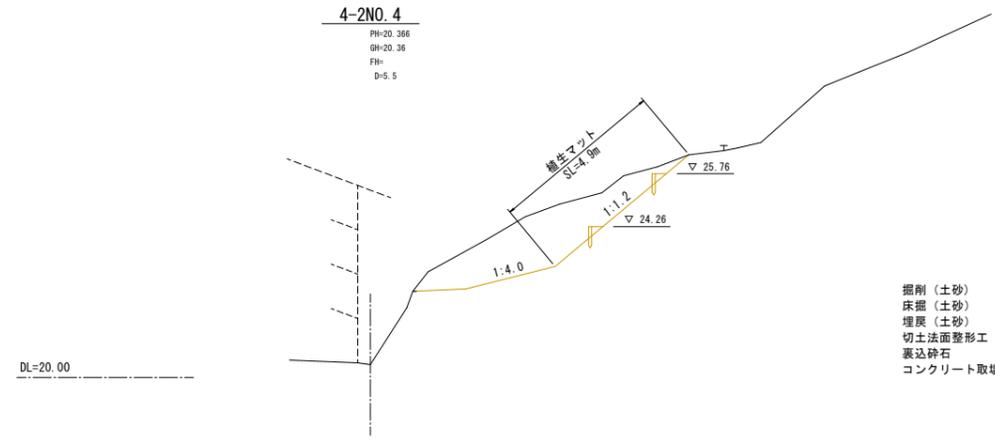
- 掘削(土砂) = 8.1
- 床掘(土砂) = 2.6
- 埋戻(土砂) = 2.2
- 埋戻(粘性土) = 0.8
- 切土法面整形工 = 5.5
- 裏込砕石 = 0.4
- コンクリート取壊 = -

4-2NO.1  
PH=22.902  
GH=22.71  
FH= -  
D=2.0



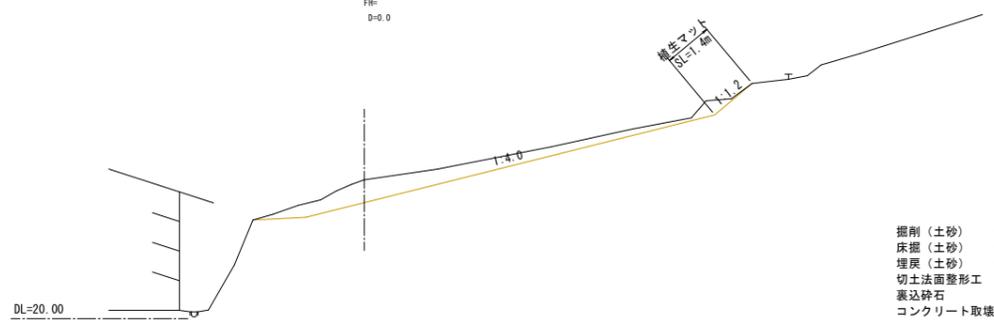
- 掘削(土砂) = 10.5
- 床掘(土砂) = -
- 埋戻(土砂) = -
- 切土法面整形工 = 3.8
- 裏込砕石 = -
- コンクリート取壊 = -

4-2NO.4  
PH=20.366  
GH=20.36  
FH= -  
D=5.5



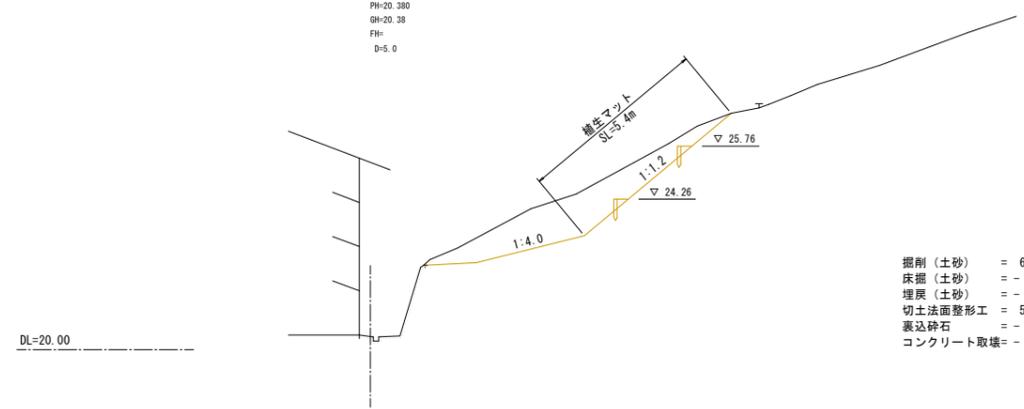
- 掘削(土砂) = 7.8
- 床掘(土砂) = -
- 埋戻(土砂) = -
- 切土法面整形工 = 4.9
- 裏込砕石 = -
- コンクリート取壊 = -

4-2NO.0  
PH=24.047  
GH=23.93  
FH= -  
D=0.0



- 掘削(土砂) = 4.4
- 床掘(土砂) = -
- 埋戻(土砂) = -
- 切土法面整形工 = 1.4
- 裏込砕石 = -
- コンクリート取壊 = -

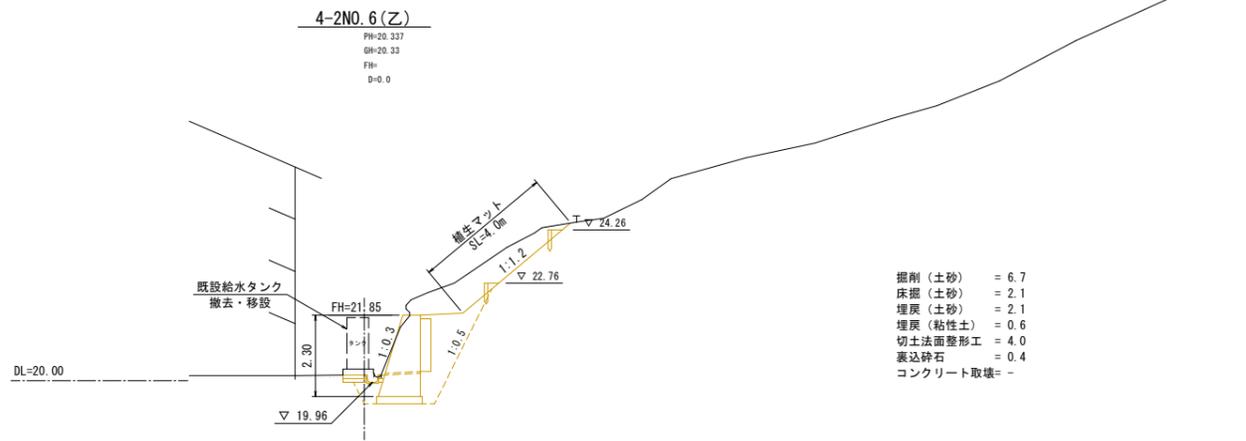
4-2NO.3  
PH=20.380  
GH=20.38  
FH= -  
D=5.0



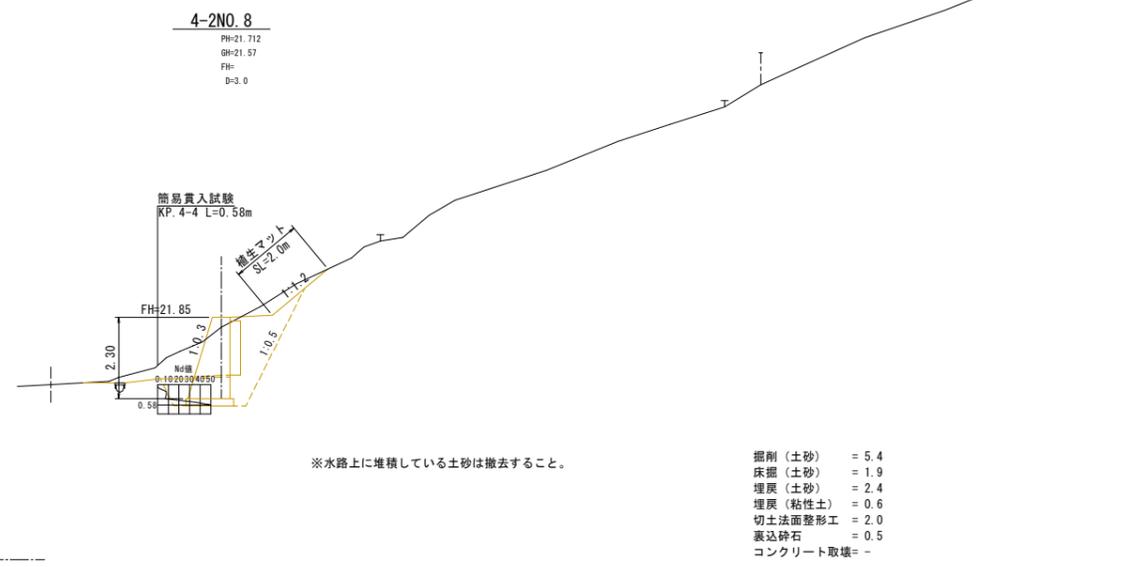
- 掘削(土砂) = 6.7
- 床掘(土砂) = -
- 埋戻(土砂) = -
- 切土法面整形工 = 5.4
- 裏込砕石 = -
- コンクリート取壊 = -

年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 2号土留工横断面図(2)
縮尺	1:100(A1) 縮尺 1:200(A3)
会社名	会社及び責任者
調査	調査者
設計	設計者
図面番号	37 - 34

凡例
発注
計画

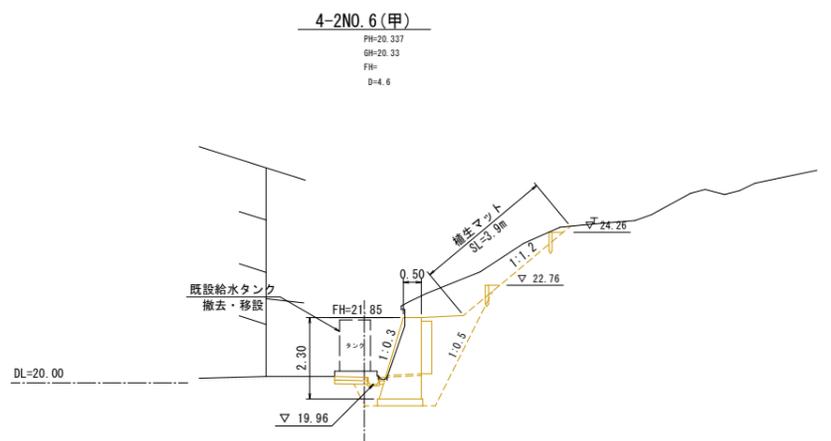


- 掘削(土砂) = 6.7
- 床掘(土砂) = 2.1
- 埋戻(土砂) = 2.1
- 埋戻(粘性土) = 0.6
- 切土法面整形工 = 4.0
- 裏込砕石 = 0.4
- コンクリート取壊 = -

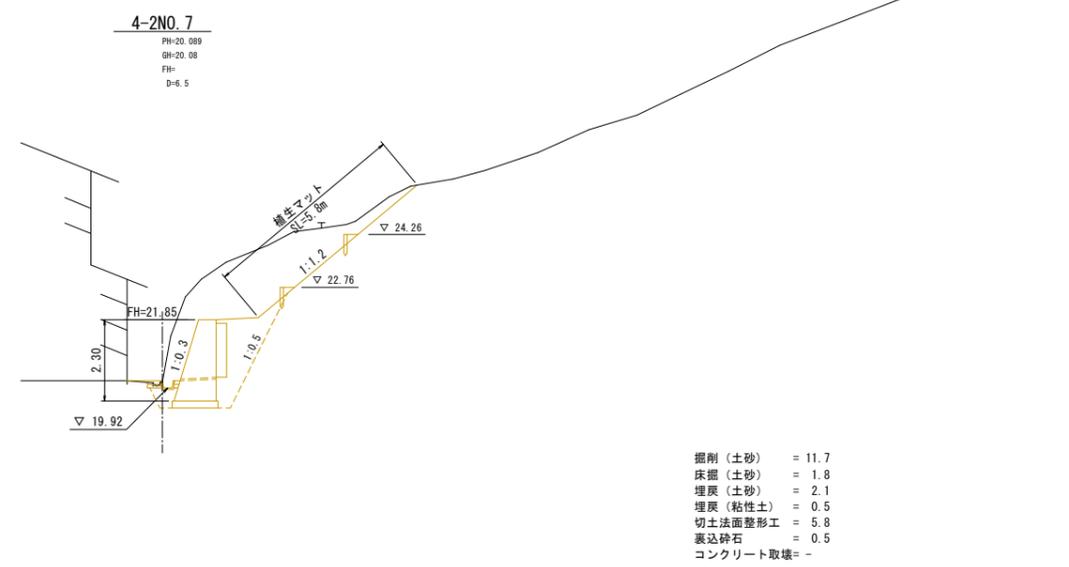


※水路上に堆積している土砂は撤去すること。

- 掘削(土砂) = 5.4
- 床掘(土砂) = 1.9
- 埋戻(土砂) = 2.4
- 埋戻(粘性土) = 0.6
- 切土法面整形工 = 2.0
- 裏込砕石 = 0.5
- コンクリート取壊 = -



- 掘削(土砂) = 6.5
- 床掘(土砂) = 2.2
- 埋戻(土砂) = 2.1
- 埋戻(粘性土) = 0.6
- 切土法面整形工 = 3.9
- 裏込砕石 = 0.4
- コンクリート取壊 = -



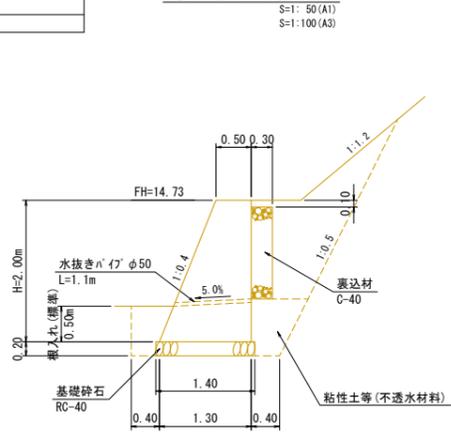
- 掘削(土砂) = 11.7
- 床掘(土砂) = 1.8
- 埋戻(土砂) = 2.1
- 埋戻(粘性土) = 0.5
- 切土法面整形工 = 5.8
- 裏込砕石 = 0.5
- コンクリート取壊 = -

年度	令和5年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県出雲市河下町地内
図面名称	報徳4ブロック 土留工構造図
縮尺	図示
会社名	会社及び責任者
調査	調査者 設計者
設計	設計者 監理者
図面番号	37-35

凡例
■ 免注
■ 計画

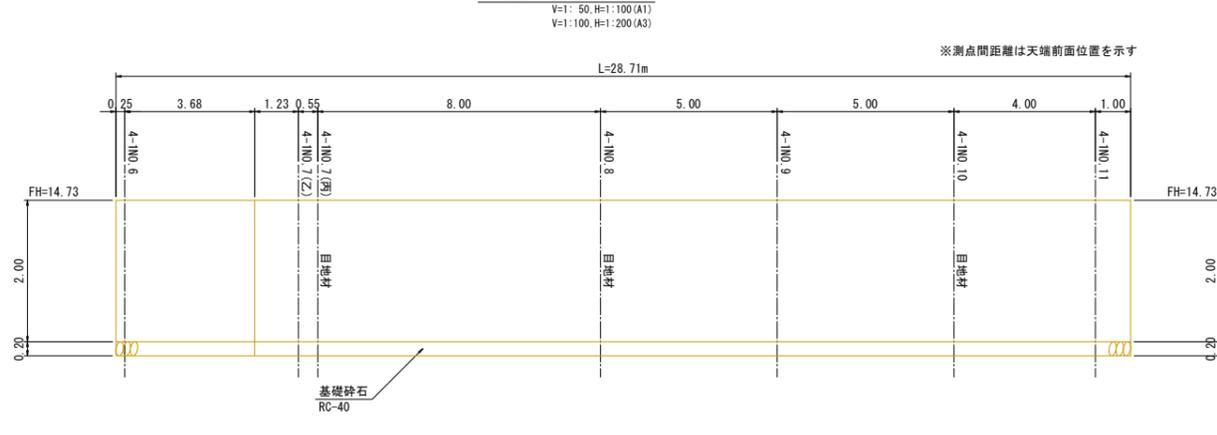
### 1号土留工

標準断面図

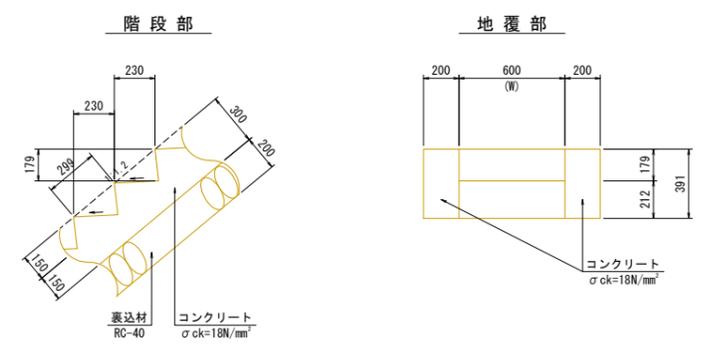


※水抜きパイプは2mに1ヶ所設置すること。  
水抜きパイプの設置箇所には、吸出防止材を設置すること。

正面図



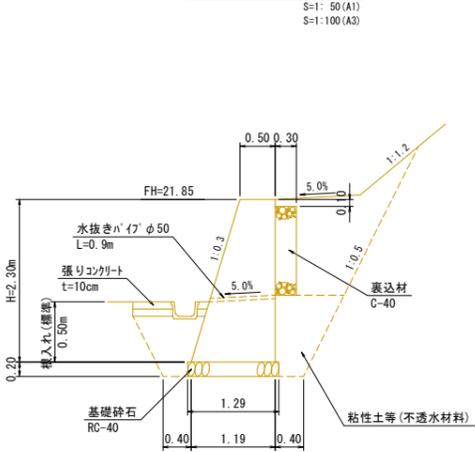
階段工



数量表		1箇所当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.92
型枠		m²	5.16
表込材	RC-40	m²	0.77
地覆部		m	12.80
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.77
型枠		m²	7.68

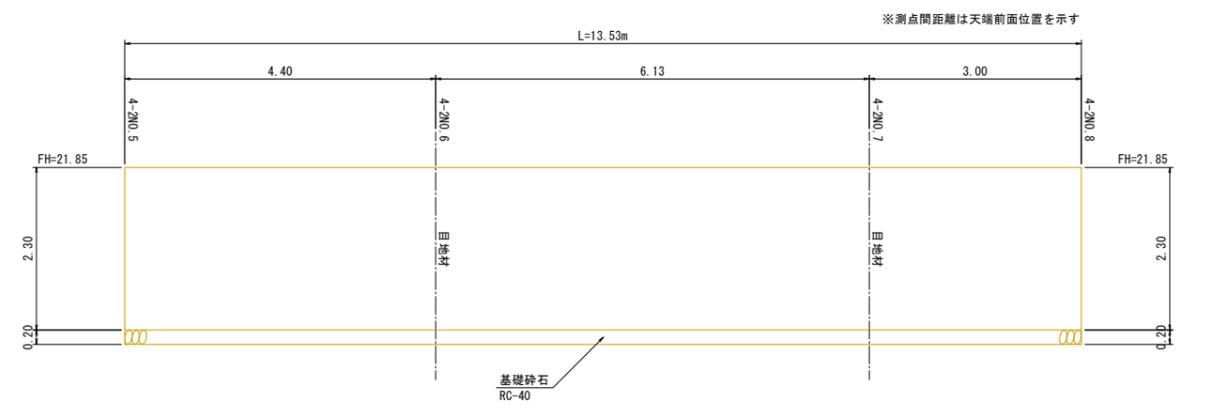
### 2号土留工

標準断面図

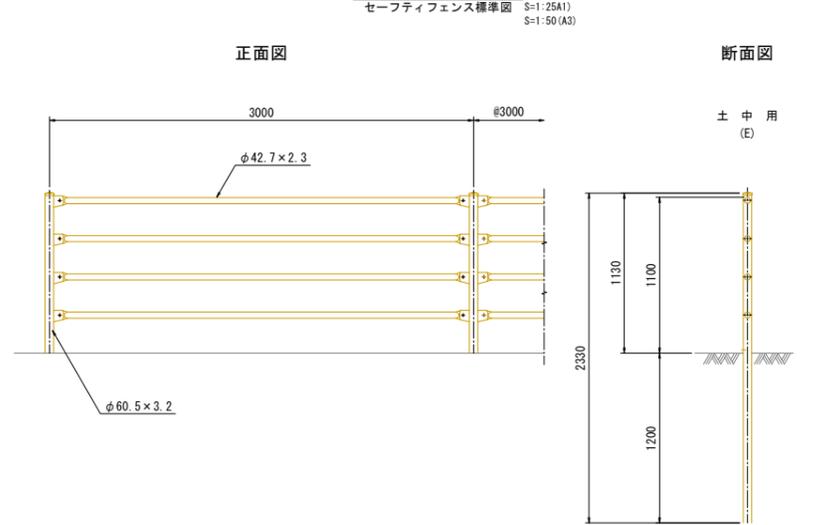


※水抜きパイプは2mに1ヶ所設置すること。  
水抜きパイプの設置箇所には、吸出防止材を設置すること。

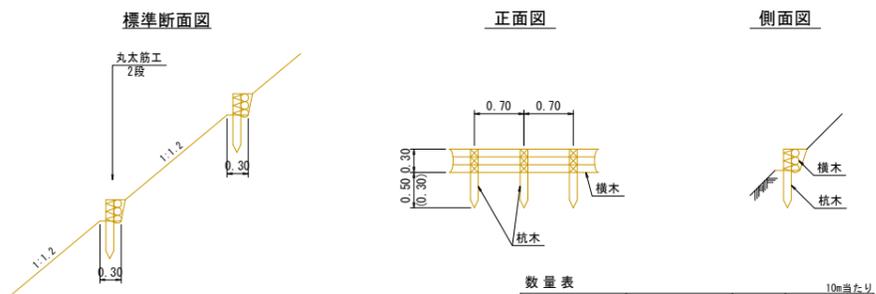
正面図



### 転落防止柵



### 丸太筋工

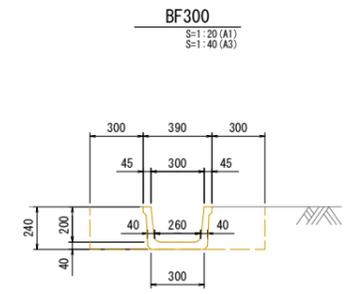


数量表		10m当たり	
名称	規格	単位	数量
杭木	末口径9cm以上 長さ90cm(90cm)	本	15.0
横木	末口径6cm以上	本	25.0
萱	1.0m幅	束	1.0

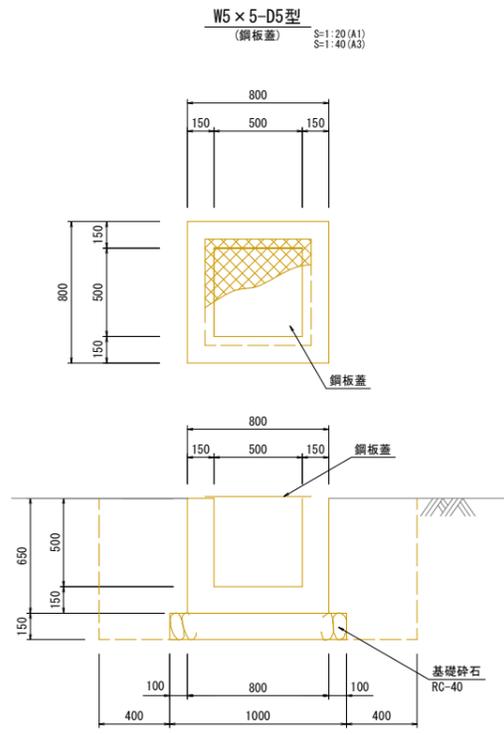
年度	令和 5 年度
事業名	復旧治山事業
箇所名	(北浜東4工区)外
施工箇所	島根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 水路工構造図
縮尺	縮尺 図示
会社名	会社及び責任者
調査	調査者
設計	設計者
図面番号	37 - 36

凡例
発注
計画

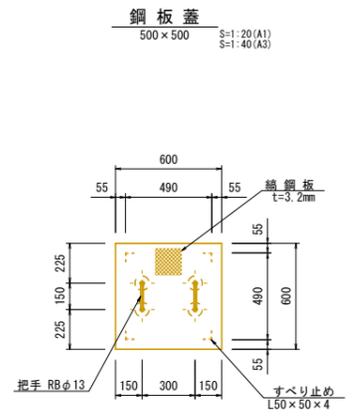
# 水路工構造図



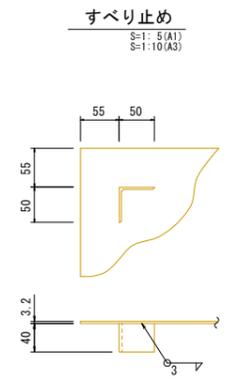
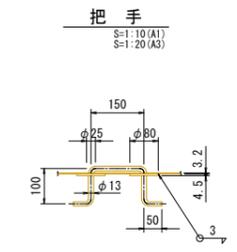
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m <sup>3</sup>	2.4
埋戻		m <sup>3</sup>	1.5
ベンチフリューム	BF300	m	10.0



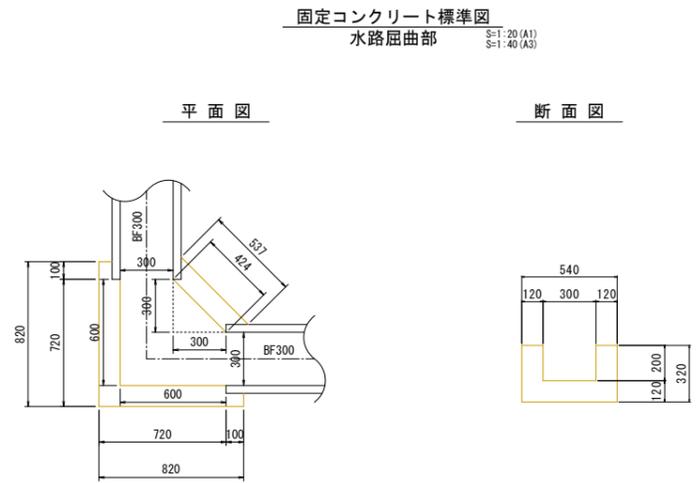
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m <sup>3</sup>	2.6
埋戻		m <sup>3</sup>	2.0
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	0.291
型枠		m <sup>2</sup>	3.38
基礎砕石	RC-40, t=150	m <sup>2</sup>	1.00
鋼板蓋	500x500用	枚	1



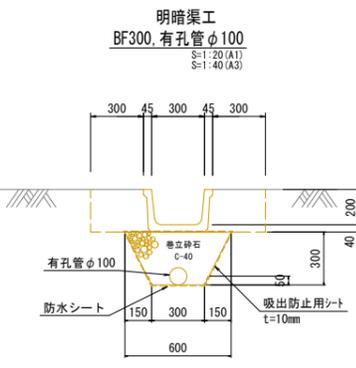
名称	寸法	規格	単位質量	数量	質量(kg)
鋼板蓋	ch 600x3.2x600	SS400	26.79kg/m <sup>2</sup>	1	9.6
すべり止め	L50x50x4x40	〃	3.06kg/m	4	0.5
把手	RBφ13x450	〃	1.04kg/m	2	0.9
補強板	φ80x4.5	〃	35.33kg/m <sup>2</sup>	4	0.7
合計					11.7



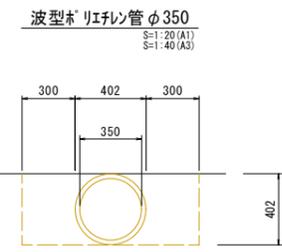
注) 鋼蓋(把手、すべり止め等含む)のさび止め塗装は、さび止めペイント(JIS K 5674)とする。



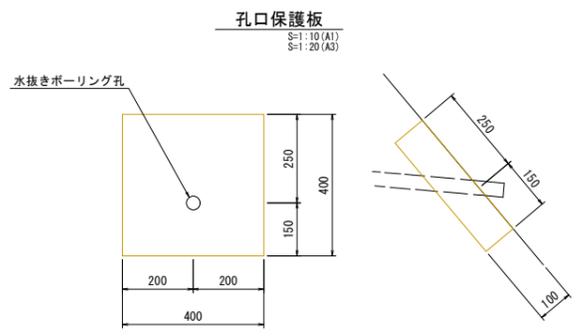
名称	規格	単位	数量
モルタル	1:2	m <sup>3</sup>	0.12
型枠		m <sup>2</sup>	1.26



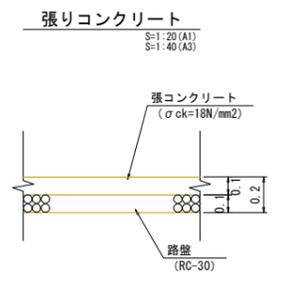
名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m <sup>3</sup>	3.7
埋戻		m <sup>3</sup>	1.5
ベンチフリューム	BF300	m	10.0
暗渠	有孔管φ100	m	10.0
巻立砕石	C-40	m <sup>3</sup>	1.3
吸出防止用シート	t=10mm	m <sup>2</sup>	12.7
防水シート		m <sup>2</sup>	4.1

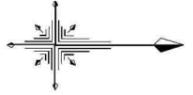


名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m <sup>3</sup>	4.0
埋戻		m <sup>3</sup>	2.8
波型*リフレ管	φ350	m	10.0



名称	規格	単位	数量
床掘	土砂	m <sup>3</sup>	0.02
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	0.02
型枠		m <sup>2</sup>	0.16





S=1:300 (A1)  
S=1:600 (A3)

# 施工計画平面図1 山腹面積 A=0.3ha

年度	令和5年度
事業名	復旧治山事業 (北浜東4工区)外
実施箇所	鳥根県 出雲市 河下町 地内
図面名称	報徳4ブロック 施工計画平面図(参考)1
縮尺	1:300 (A1) 縮尺 1:600 (A3)
会社名	会社及び責任者
設計者	設計者
監理者	監理者
図面番号	37 - 37

**凡例**

排水ブロック  
 地すべり方向  
 斜面改良・崩壊  
 押し出し  
 掘削  
 沈下  
 湧水

**対策工凡例**

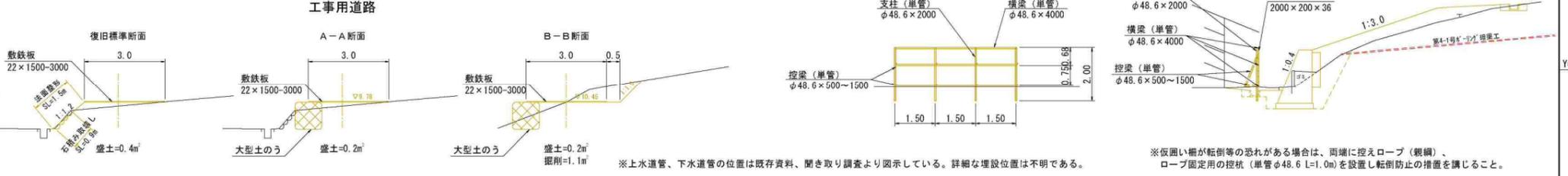
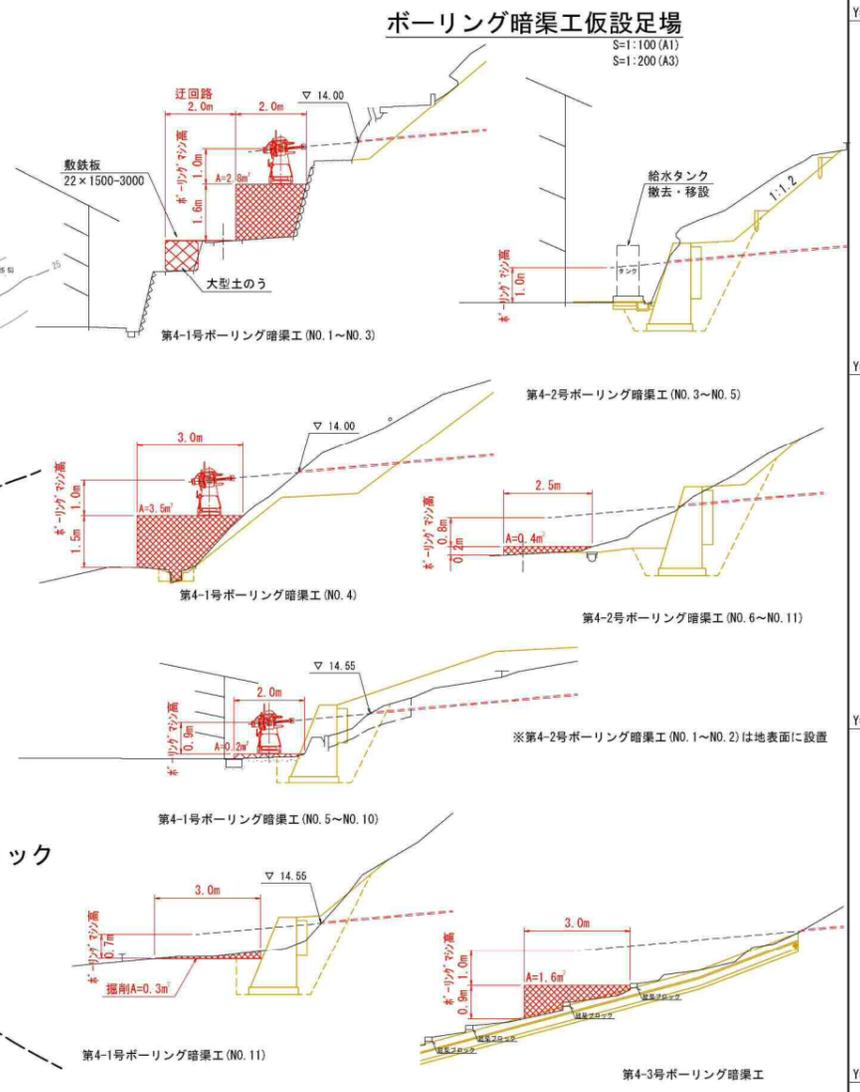
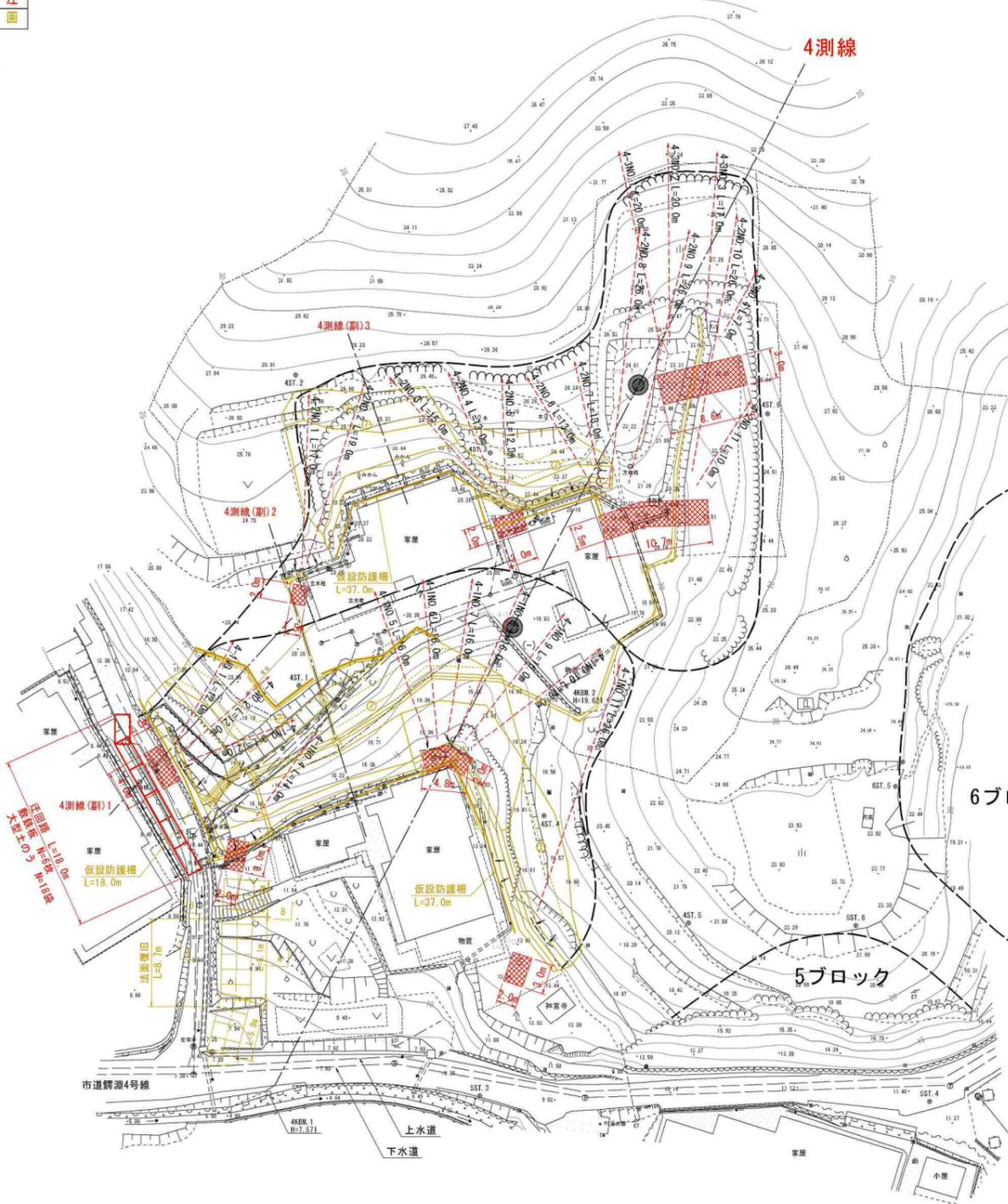
ボーリング暗渠工  
 土留工(コナクリト)

**凡例**

発注  
 計画

## 【施工上の留意事項】

- 民家への配慮**
    - 施工地は、民家が近接している。施工時に発生する騒音・振動・粉じん等に対して特に留意し、必要に応じて対策を取ること。安全対策には格別注意を払い、住民とコミュニケーションをとり、トラブル等が生じないよう注意すること。
    - 市道や工事用道路周辺に民家があるため、バリアードの設置や落下防止措置により第三者災害の防止に努めること。
    - 施工機械は低騒音・低振動型を使用すること。
  - 交通への配慮**
    - 4測線の【上部工事】は、市道野瀬9号線を工事用道路として利用する。迂回路が無い道路であるため、施工時に通行止めが必要な場合は、迂回路の設置等を計画すること。
    - 工事着手前には、近隣住民への周知や、消防や警察等関係機関との協議を行いトラブル等がないように注意すること。
    - 施工状況や工事の内容により、通行止めの期間が短くなるような工程計画に留意すること。
    - 資機材の搬入時や工事車両市道は、市道野瀬9号線の他に、市道野瀬4号線も通行する必要がある。道路幅が9号線が約2.0m、4号線が約3.0mと狭いため、道路通行時は、事故等がないように注意すること。
  - 安全の確保**
    - 対策工の施工は、斜面や狭い場所での作業となり、施工機械に近接しての作業となるため、作業員と施工機械との接触防止措置等の安全対策を講じ、安全な作業を行うこと。
  - 上水道、下水道の撤去・復旧**
    - 4測線の【下部工事】の排土工の対象斜面内には、上水道、下水道管が埋設されている。施工に際し、上水道、下水道管の仮移設、復旧が必要となる。
    - 上水路、下水道管の仮移設、復旧については、工事着手前に使用者及び出雲市上下水道局東部上下水道事務所と協議すること。
  - 斜面変状への注意**
    - 施工時においては、斜面崩壊等に常に注意し、労働災害防止を徹底しなければならない。作業前・降雨後等には斜面の状況を点検し、安全を確認した後に作業に着手すること。
  - 残土**
    - 約700m<sup>3</sup>の残土が発生する予定である。事前に残土処理場を確保しておく必要がある。
  - 埋設物への注意**
    - 家屋周辺には上水道管、下水道管が埋設されている。施工時には埋設管の位置を確認し、破損しないように細心の注意を払うこと。
  - 境界杭の復旧**
    - 斜面中の境界杭は対策工施工後に復旧すること。
- 【ボーリング暗渠工の留意事項】**
- 安全確保**
    - 作業時には周囲の安全を確認しながら作業を行うこと。
  - 資機材運搬**
    - 資機材の運搬時は、資器材の落下物や、転倒等に十分注意し、安全な作業を心掛けること。
  - 削孔土質の把握**
    - 削孔時、スライム・掘削水等から削孔土質の把握に努め、想定土質との整合を確認する。場合によってはコア採取を行い、状況を把握すること。
  - 削孔排水の管理**
    - ボーリング暗渠工の削孔水や泥水が宅地や川に流入しないように管理を徹底すること。
  - ボーリングマシンの設置について**
    - ボーリングマシンはできるだけ低床の機械を使用すること。
    - 第4-1号ボーリング暗渠NO.11は地表面を削りボーリングマシン高0.7m以上確保すること。
    - 第4-2号ボーリング暗渠NO.1~2は家屋・軒に接触しないよう十分に注意すること。
    - 第4-2号ボーリング暗渠NO.3~5は給水タンクを撤去し、必要に応じて張りコンクリートを削りマシンを設置すること。
- 【法切工、排土工、土留め工の留意事項】**
- 安全確保**
    - 法面掘削時には、常に斜面状況に注意し、安全を確認しながら作業を行うこと。大雨の際には作業を中断し、再開時には安全を確認すること。
  - 施工時期**
    - 施工時期としては降水期を避けて行うことが望ましい。
  - 法面保護について**
    - 切土工完了後は、速やかに植生工、丸太筋工の施工を行うこと。速やかな施工ができない場合は、シート保護等の養生が必要である。施工中にも、降雨時にはシート保護を行うこと。
  - 仮設防護柵の構造**
    - 現地状況をふまえて、安全を確保できる構造となるよう、適宜変更・改良を行うこと。
  - 土留工の埋戻土**
    - 埋戻土は、現地発生土の中の良質土を使用すること。
- 【水路工施工時の留意事項】**
- 安全確保**
    - 水路工の施工位置は、非常に狭く施工スペースが限られている。作業時には周囲の確認等により安全を確保し事故等がないよう特に留意して作業すること。
  - 支障物件等について**
    - 水路工の施工位置は、家屋や水道栓、下水道管が近接する。これらの物件を破損しないように細心の注意を払い施工すること。また、水路工は、市道内にある道路側溝の柵に接続させる計画である。施工に際し、管理者(出雲市)と協議すること。
- 【階段工設置の留意事項】**
- 階段は水路を管理するためのものであるため、排土後に位置を調整すること。また、手すりを設けること。**



※階段設置位置は、施工時に地権者と協議し決定すること。

※仮囲い柵が転倒等の恐れがある場合は、両端に控えロープ(親柵)、ロープ固定用の控杭(単管φ48.6 L=1.0m)を設置し転倒防止の措置を講じること。